INTEC
COMPONENT WORLD

スーパーオーディオCD&
DVDオーディオ/ビデオプレーヤー

DV-SP205

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

ONKYO®

目次

使ってみよう

始めに

接続する

基本操作

その他

INTEC205シリーズとの接続

R-805TX/ED-205との接続

R-805TX/ED-205とのシステム接続

いろいろな機能

いろいろな再生

いろいろな機能

その他

各種設定

特長

■ DVDビデオ、DVDオーディオ、DVD-RW、スーパーオーディオCD、MP3 CD、音楽CD/CD-R/CD-RW、ビデオCD対応

■ DVDビデオのハイクオリティサウンドを引き出す192kHz/24ビット D/Aコンバーター搭載

■ ドルビー*デジタル/DTS(ディーティーエス)**/PCM デジタル音声出力端子（光：3）装備

■ 高画質映像を再現するD2/D1映像出力端子装備

■ 高精細映像を実現する54MHz/10ビット ビデオD/Aコンバーター搭載

■ 対話形式で簡単に初期設定できるセットアップナビゲーター

■ 96kHz/48kHz PCMデジタル出力切り換え可能

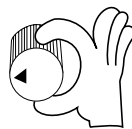
■ 最大24ステップまで記憶するプログラム再生、最大24枚までのDVDビデオのプログラムを記憶するプログラムメモリー機能

■ 停止後に続きから再生できるリジューム機能

■ SRS TruSurround(サラウンド)方式***により、5.1チャンネルのデジタル音声データをダイレクトに処理するバーチャルサラウンド機能

* ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
** 本機はデジタル・シアター・システムズ社からのライセンスに基づき製造されています。"DTS"、"DTS Digital Surround"は、デジタル・シアター・システムズ社の商標です。
*** SRS TruSurroundとSRS（●）記号は、SRS Labs. Incの商標です。SRS TruSurround技術はSRS Labs. Incからのライセンスに基づき製造されています。

音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

カタログ及び包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表わす記号です。色は異なっても操作方法は同じです。

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
  煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

分解禁止

- 本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。
  内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
- 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

- 本機を使用できるのは日本国内のみです。
- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

- 本機の通風孔をふさがないでください。 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次の点に気を付けてご使用ください。

- 本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
- 本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。
- 本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。

■ 水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

- 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

⚠警告

■ 中に物を入れない

● 本機の通風孔、ディスクトレイなどから金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに本機の電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますので、ご注意ください。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 電源コンセントにはオーディオ機器以外接続しない

● 本機の電源コンセントはオーディオ機器専用です。表示された定格以内でご使用ください。表示された定格以上の機器やヘヤードライヤー、電気こたつなどの発熱器具、オーブン、・レンジなどの調理器具は絶対に接続しないでください。火災・感電の原因になります。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

接触禁止

● 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 乾電池を充電しない

● 乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより火災・けがの原因となります。

⚠注意

■ 設置上の注意

- 強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
- 本機の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

- 本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

- お子様がディスクトレイに手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクが機械内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず、プラグを持って抜いてください。
- 電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

⚠注意

■ 電源コード、電源プラグの注意

電源プラグをコンセントから抜いてください

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 電池について

- 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■ 点検・工事について

電源プラグをコンセントから抜いてください

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

- 使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
  本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。
- 電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
  化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

ディスクについての予備知識

■ 再生できるディスクについて

- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
  ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクを使用してください。
- 下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

*1 **DVD-Rディスクの再生について**
本機はDVDビデオフォーマット(ビデオモード)で記録されたDVD-Rディスクを再生することができます。

*2 **DVD-RWディスクの再生について**
- 本機はDVDビデオフォーマット（ビデオモード)、またはビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録されたDVD-RWディスクを再生することができます。
- 本機は再生専用機です。DVD-RWディスクに録画することはできません。
- ファイナライズしていないDVD-RWディスクを再生することはできません。
  ※詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。また、DVDビデオフォーマット（ビデオモード）記録、およびDVDビデオレコーディングフォーマット（VRモード）記録についてはDVDビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

*3 **複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの再生について**
複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽CDの中には正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

*4 **CD-R/CD-RWディスクの再生について**
- 本機は音楽CDフォーマット、ビデオCDフォーマット、またはMP3などの音楽データが記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。ただし、ディスクよっては「再生できない」、「ノイズが出る」または「音が歪む」などが起きることがあります。
- 本機は再生専用機です。CD-R/CD-RWディスクに録音することはできません。
- ファイナライズしていないCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。ただし、一部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。
  ※詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

本機で再生できないディスクの種類

- リージョンが「2」「ALL」以外のDVDビデオ
- DVD-ROM・DVD-RAM・DVD+R・DVD+RW
- フォトCD・CD-Gなど

■ DVDに表示されているマークについて

DVDのディスクレーベル、またはパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク	意味
②	記録されている音声の数
2	記録されている字幕言語の数
3	記録されているアングル数
16 : 9 LB	記録されている映像のアスペクト比（☞102ページ）
2 ALL	リージョン番号（地域番号）を表わします。本機はリージョン番号「2」、または「ALL」と表示されたディスクを再生することができます。

DVDビデオによって、リージョン番号が指定されているものがあります。リージョン番号は地域を限定するもので、日本はリージョン番号「2」が指定されています。
これ以外のリージョン番号マークのついたディスクを再生しようとすると、再生できない旨の表示（「Wrong Region No」）が画面にでます。

■ DVDの操作制限について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、操作方法を変更したり、特定の操作を禁止しているものがあります。このためディスクによって操作方法が異なったり、特定の操作ができないことがあります。本機ではディスクによって禁止されている操作をしたときは画面に「ディスクによる禁止」マーク( )を表示します。また、メニューや再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、リピートやプログラムなどの一部の操作ができないことがあります。このような場合、本機では画面に「プレーヤーによる禁止」マーク( )を表示します。

■ ビデオCDについて

本機はPBC（ピービーシー）付きビデオCD（バージョン 2.0）に対応しています。（PBC（ピービーシー）は、Playback Control（プレーバック コントロール）の略です。）
ディスクによって、2種類の再生を楽しめます。

ディスクの種類	楽しみかた
PBC（ピービーシー）なしビデオCD（バージョン 1.1）	音楽用CDと同じように操作して、音声と映像（画像）を再生できます。
PBC（ピービーシー）付きビデオCD（バージョン 2.0）	PBC（ピービーシー）なしのビデオCDの楽しみかたに加えて、テレビ画面のあるソフトを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます（メニュー再生)。この取扱説明書で、説明されている機能が働かない場合があります。

ディスクについての予備知識

■ MP3の再生について

- ISO9660レベル2のCD-ROMファイルシステムに従って記録したディスクを使用してください。
- MPEG1オーディオレイヤー3のサンプリング周波数44.1kHz、または48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは［このフォーマットは再生できません］と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート（VBR: Variable Bit Rate）では、表示部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- マルチセッションに対応しています。ただし、セッションをクローズしてください。
- フォルダー/トラックの名前を表示することができます（半角英数字で入力された文字のみ）。半角英数字以外で入力されているフォルダー/トラックの名前は［F_001］/［T_001］のように表示されることがあります。
- フォルダー/総トラック数はそれぞれ250まで対応しています。251以降のフォルダー/トラックを再生することはできません。
- 音質的には、記録ビットレート128kbpsを推奨します。

ご注意

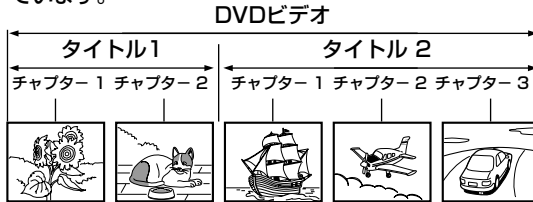
- レコーダー、またはパソコンで記録したDVD-R/DVD-RWディスク、CD-R/CD-RWディスクを再生できないことがあります（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください）。
- 本機はファイナライズしていない音楽CDフォーマットのCD-R/CD-RWディスクに対応しています。ただし、一部の時間情報が表示されないことがあります。音楽CDフォーマット以外のファイナライズしていないCD-R/CD-RWディスクを再生することはできません。ノイズが発生することがあります。
- 詳しいCD-R/CD-RWディスクの取扱いについては、ディスクについてのご注意をご覧ください。
- ファイナライズしていないDVD-R/DVD-RWディスクを再生することはできません。

■ ディスクに関する用語について

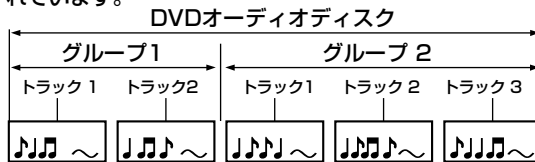
- **DVDビデオは、「タイトル」という大きな区切りと、「チャプター」という小さな区切りに分かれています。**

DVDビデオ

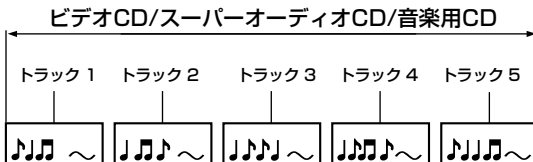
タイトル1 ／ タイトル 2

チャプター 1 チャプター 2 ／ チャプター 1 チャプター 2 チャプター 3

タイトル：DVDビデオの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。短編集の第1話、第2話の「話」に相当します。

チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。上記「話」を分割する第1章、第2章の「章」に相当します。

- **DVDオーディオは、「グループ」という大きな区切りと、「トラック」という小さな区切りに分かれています。**

グループ：ディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。

トラック：グループの内容を、曲ごとにさらに小さく区切ったものです。

- **ビデオCD/スーパーオーディオCD/音楽用CDは、「トラック」で区切られています。**

トラック：ビデオCD/スーパーオーディオCD/音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

- **MP3を記録したディスクは、「フォルダー」という大きな区切りと、「トラック」という小さな区切りに分かれています。**

フォルダー：ディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。

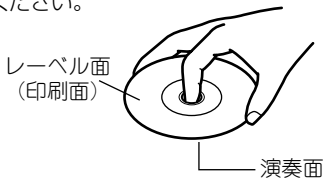
トラック：フォルダーの内容を、曲ごとにさらに小さく区切ったものです。

それぞれのタイトルやグループ、チャプター、トラック、フォルダーには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」、「グループ番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」、「フォルダー番号」といいます。（ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。）

ディスクについての予備知識

■ ディスクについてのご注意

異形ディスクについて
ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機械の故障の原因となることがあります。

取り扱いについて
演奏面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

演奏面はもちろんレーベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。またきずなどをつけないようにしてください。

保管上の注意について
直射日光のあたる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなるところや、極端に温度の低い場所はさけ、必ず専用ケースに入れて保管してください。

レンタルディスクの注意について
ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるものはお使いにならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

お手入れについて
汚れにより信号読み取りが低減し、音とびや画像の乱れが生じる場合があります。汚れている場合は、演奏面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。
アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は絶対に使用しないでください。

■ コピー防止について

本機はアナログコピー防止システムに対応しています。
コピー禁止信号がはいっているディスクを本機で再生してビデオデッキで録画しても、コピー防止システムが働いて正常に録画されません。

■ 著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。

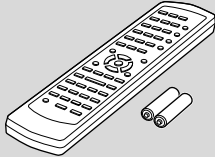
本機は、合衆国特許権と知的所有権上保障されたマクロビジョンコーポレーションの許可が必要な著作権保護技術を搭載しており、改造または分解は禁止されています。

結露について
本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露と言います。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。結露している場合は、電源を入れて1～2時間放置してからご使用ください。また、本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。

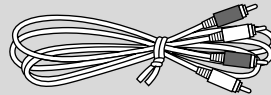
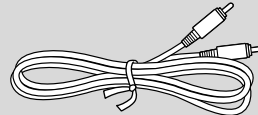
箱を開けたら、まず

■ 付属品を確認する

本機には以下の付属品が同梱されています。お確かめください。
［　］内の数字は数量を表わしています。

●リモコン(RC-530DV) [1]
●単3乾電池 [2]

●Sビデオコード(1.5m) [1]
Sビデオ映像を送るコードです。

●RIケーブル(0.6m) [1]
RI端子付きオンキヨー製品とのシステム接続をするケーブルです。
（RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。）

●オーディオ用ピンコード(1.5m) [1]
アナログ音声を送るコードです。

●ビデオ用ピンコード (1.5m)[1]
映像を送るコードです。

●取扱説明書 （本書）[1]
●保証書 [1]

オンキヨー製プロセッサーED-205と本機を接続する場合は、別途5.1チャンネル接続のための接続コードが必要です。

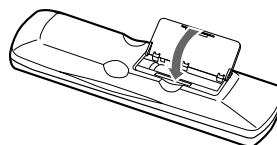
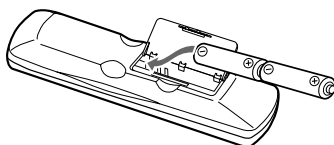
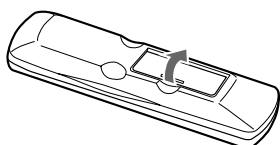
箱を開けたら、まず

■ リモコンを準備する

乾電池を入れる

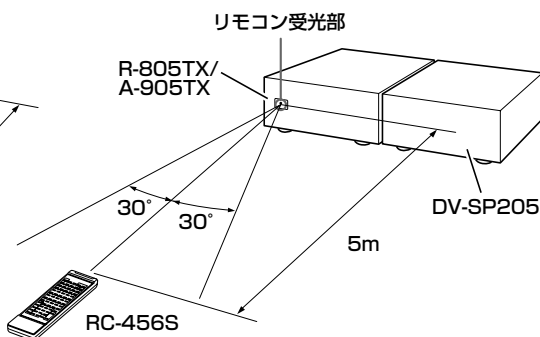
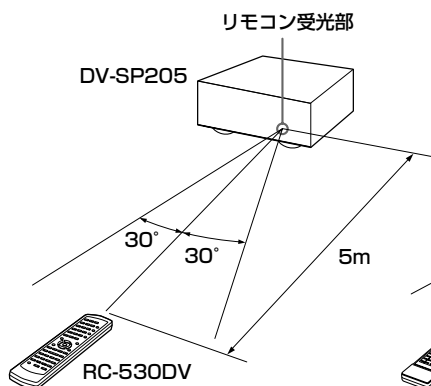
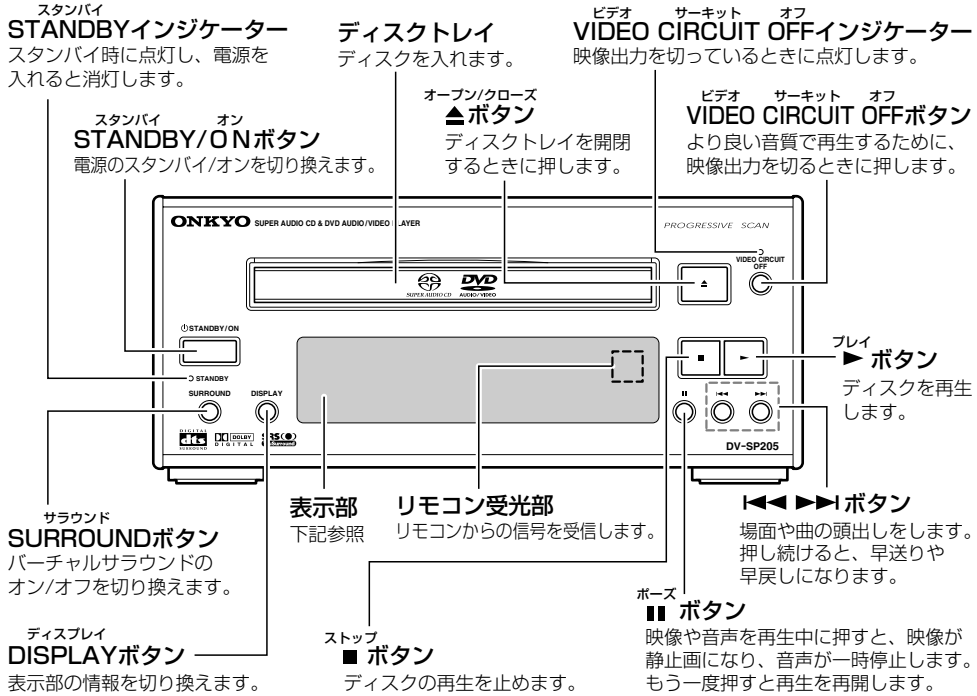
① ツメを矢印方向に押して持ち上げ、カバーをはずす。

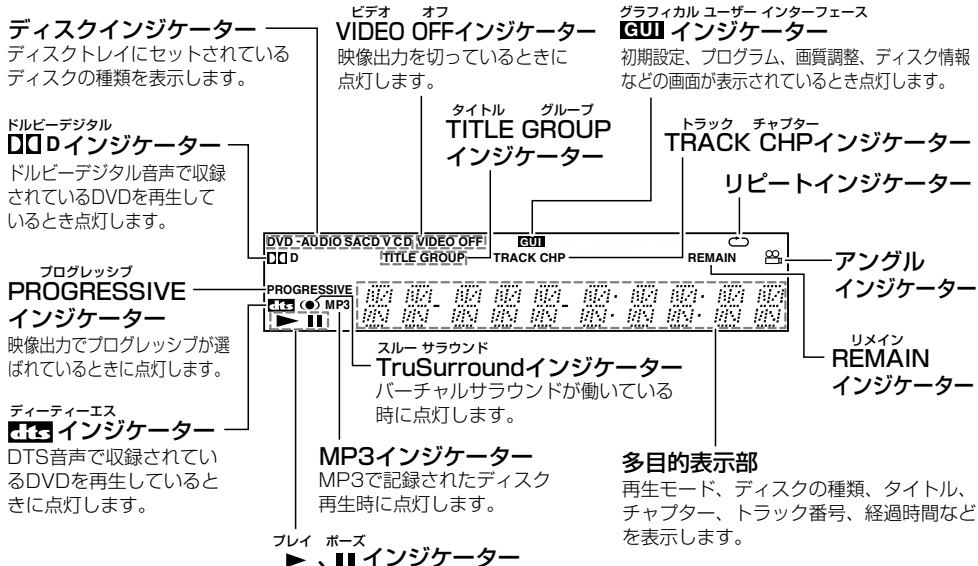
② 中の極性表示にしたがって、付属の電池2個をプラス⊕、マイナス⊖を間違えないように入れる。

③ カバーを閉める。

リモコン操作の反応が悪くなったら、2本とも新しい乾電池(単3形)と交換してください。
- 電池の極性(⊕、⊖)は、表示通り正しく入れてください。
- 種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用は避けてください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐため、電池を取り出しておいてください。

リモコンの使いかた

本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

R-805TXまたはA-905TXに付属のリモコン(RC-456S)で本機を操作するときは、リモコンをR-805TXまたはA-905TXのリモコン受光部に向けてください。

リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコン受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。
- 赤外線を発射する機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、操作できません。
- リモコンの上に本などの物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

■ 前面パネルの名前と働き

■ 表示部

箱を開けたら、まず

■ 後面パネルの名前と働き

チャンネル　アナログ　アウトプット
2CH ANALOG OUTPUT端子

2チャンネルのアナログ音声が出力される端子です。付属のオーディオ用ピンコードを使って接続します。

デジタル　アウトプット　オプティカル
DIGITAL OUTPUT(OPTICAL)端子

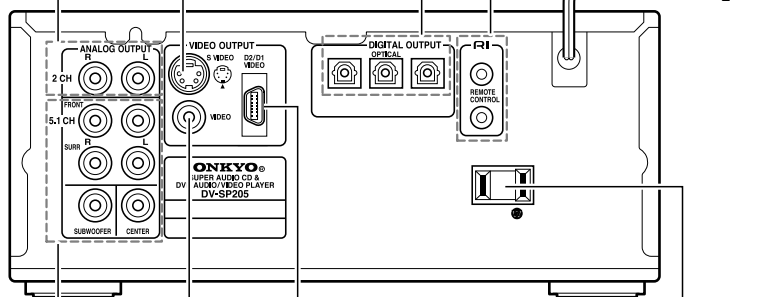
デジタル入力端子付きのAVアンプ、MDレコーダー、CDレコーダーなどと接続する端子です。
市販のオーディオ用光デジタルケーブルを使って接続します。

ビデオ　アウトプット
S VIDEO OUTPUT端子

Sビデオ映像が出力される端子です。Sビデオ端子のあるテレビと接続するときに、付属のSビデオコードを使って接続します。

RI 端子

RI 端子付きのオンキヨー製アンプなどと接続し、連動させるための端子です。
RI ケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

電源コード

ビデオ　アウトプット
D2/D1 VIDEO OUTPUT端子

D映像が出力される端子です。D入力端子のあるテレビなどと接続するときに、市販のD映像ケーブルを使って接続します。

ビデオ　アウトプット
VIDEO OUTPUT端子

映像が出力される端子です。
テレビと接続するときに、付属のビデオ用ピンコードを使って接続します。

チャンネル　アナログ　アウトプット
5.1CH ANALOG OUTPUT端子

5.1チャンネル音声入力端子のあるアンプなどと接続するための端子です。
別売の6色に色分けされた5.1チャンネル接続専用のコードまたは市販のオーディオ用ピンコード(3組)を使って接続します。

電源コンセント

他のオーディオ機器の電源コードを接続することができます。本機の電源コードを壁の電源コードにつないでいれば、本機がスタンバイ状態のときでも本機の電源コンセントは通電しています。

ご注意

電源コンセントに接続する機器の消費電力が100Wを超えないようにしてくだい。

■ リモコン（RC-530DV）ボタンの名前と働き

STANDBYボタン
電源をスタンバイ状態にします。

ONボタン
電源をオンにします。

PROGRAMボタン
プログラム再生の設定をします。

REPEATボタン
くり返し再生を始めます。

数字ボタン
場面や音声、字幕、項目、暗証番号などを選びます。

ENTERボタン
設定した内容を決定します。
• 2つのENTERボタンの働きは同じですので、操作しやすい方をお使いください。

TOP MENUボタン
トップメニュー画面を表示します。

▲/▼/◄/► ボタン
カーソルを上下左右に移動します。

RETURNボタン
メニュー画面を1つ前の項目に戻します。

AUDIOボタン
言語または音声を切り換えます。

ANGLEボタン
アングルを切り換えます。

SURROUNDボタン
バーチャルサラウンドのオン/オフを切り換えます。

PRGSVボタン
映像出力をプログレッシブモードに切り換えます。

VIDEO OFFボタン
より良い音質で再生するために、映像出力を切るときに押します。
本体のVIDEO CIRCUIT OFFボタンと同じ働きをします。

OPEN/CLOSEボタン
ディスクトレイを開閉します。

A-Bボタン
A-Bくり返し再生を始めます。

RANDOMボタン
ランダム再生を始めます。

PLAY MODEボタン
プレイモード画面を表示します。

DISPLAYボタン
表示情報を切り換えます。

DIMMERボタン
表示部の明るさを切り換えます。

CLEARボタン
決定した内容を取り消します。

MENUボタン
メニュー画面を表示します。

SETUPボタン
初期設定画面を表示します。

ZOOMボタン
画面をズーム（拡大）します。

SUBTITLEボタン
字幕言語を切り換えます。

■ ボタン：再生を停止します。
► ボタン：再生を始めます。
❚❚ ボタン：再生を一時停止します。

《〈 SPEED 〉》
◄◄ ►► ボタン：
再生中に押すと、映像や音声の早送り／早戻しをします。一時停止中に押すと、コマ送り／コマ戻しまた、押し続けるとスロー再生をします。

I◄◄ ►►I ボタン：
場面や曲の頭出しをします。

■ リモコン（RC-530DV）ボタンの名前と働き

下記のボタンでED-205（デジタルサラウンドプロセッサー）を操作することができます。

EFFECTボタン
サラウンドモードとステレオモードを切り換えます。

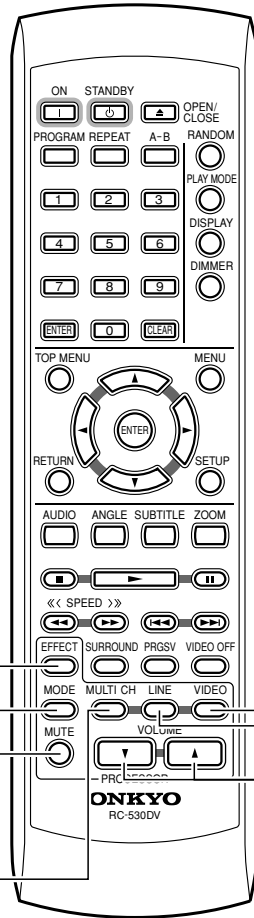
MODEボタン
サラウンドモードを切り換えます。

MUTEボタン
音を一時的に小さくします。ED-205に付属のリモコンの「MUTINGボタン」と同じ働きをします。

MULTI CHボタン
マルチチャンネル入力に切り換えます。

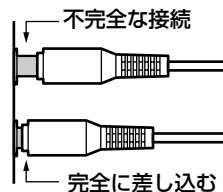
VIDEOボタン
ビデオ入力に切り換えます。

LINEボタン
ライン入力に切り換えます。

VOLUME▼▲ボタン
音量を調整します。

接続する

■ テレビと接続する（接続 A）

映像接続と音声接続が必要です。

- 映像接続にはD端子接続、Sビデオ端子接続、ビデオ接続の3種類あります。テレビに応じていずれか1種類の接続を行ってください。
- 音声接続はテレビの音声入力端子と本機の2CH ANALOG OUTPUT端子を接続します。
- 接続するテレビの取扱説明書も参照してください。
- 接続するときは、テレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。本機の電源コードはまだ接続しないでください。
- 本機はテレビと直接接続してください。ビデオデッキなどを経由してテレビと接続した場合、再生すると画像が歪むことがあります。
- プラグは奥までしっかり接続してください。

テレビにD入力端子があるとき

D2/D1接続をすると、Sビデオ端子接続よりさらによい映像を得ることができます。テレビにコンポーネント端子があるときは、市販のD端子－コンポーネント端子変換コードが使用できます。

本機のD2/D1 VIDEO端子は、接続するテレビのD1、D2、D3、またはD4のいずれの入力端子にも接続することができます。

テレビにSビデオ端子があるとき

テレビにSビデオ端子があるときは、付属のSビデオコードでSビデオ端子接続をしてください。通常のビデオ接続よりもよい映像が得られます。

テレビにD入力端子もSビデオ端子もないとき

付属の黄色のビデオ用ピンコードでビデオ接続します。

■ 映像の出力方式を切り換えるには

本機とD端子/コンポーネント映像ケーブルで接続したテレビがプログレッシブ入力対応テレビのとき、映像の出力方式（プログレッシブまたはインターレース）をリモコンのPRGSVボタンで切り換えることができます。

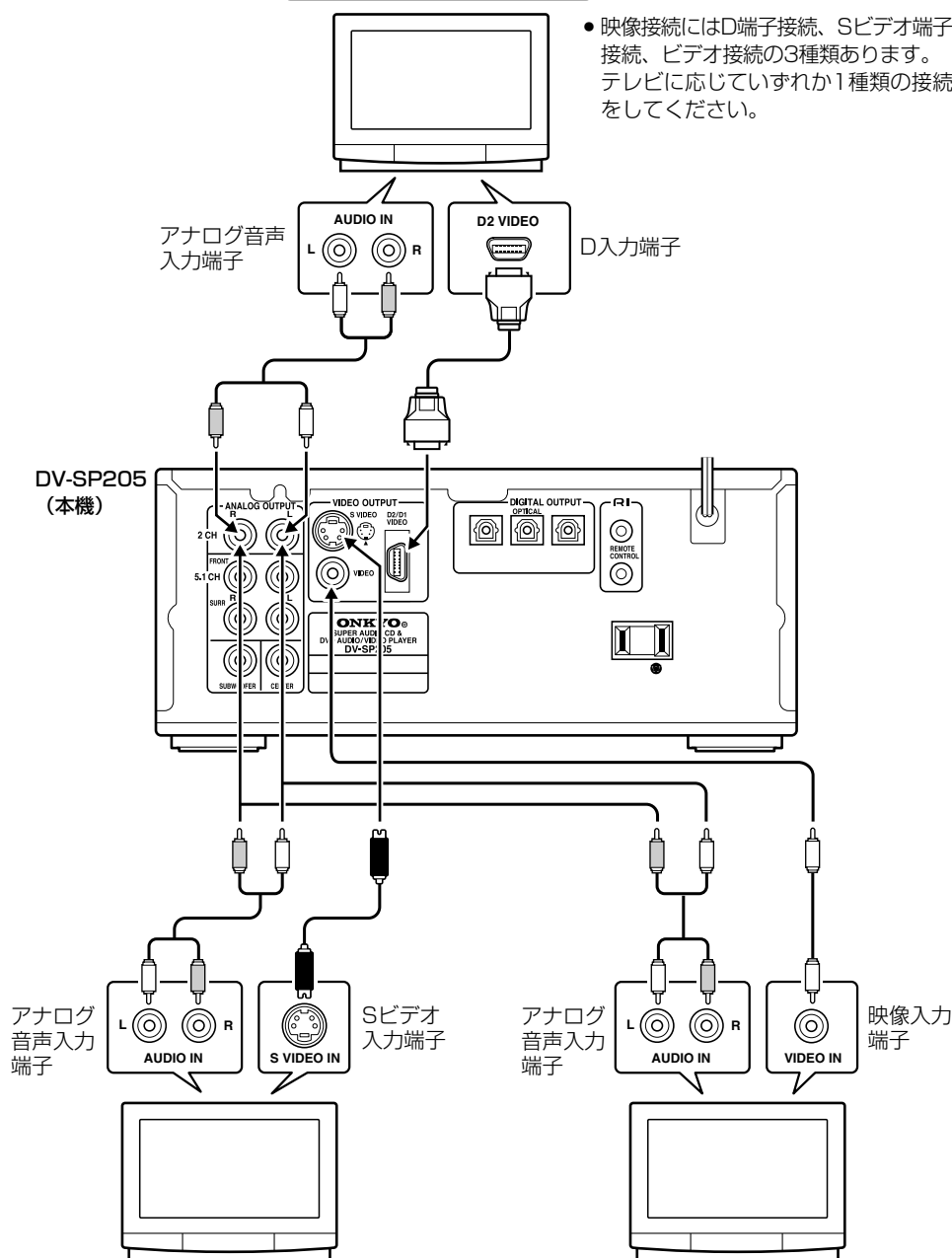
プログレッシブ：
きめ細かな映像が得られる高画質モードです。プログレッシブ入力に対応しているテレビやプロジェクターと接続しているときに選択します。表示部の「PROGRESSIVE」が点灯します。

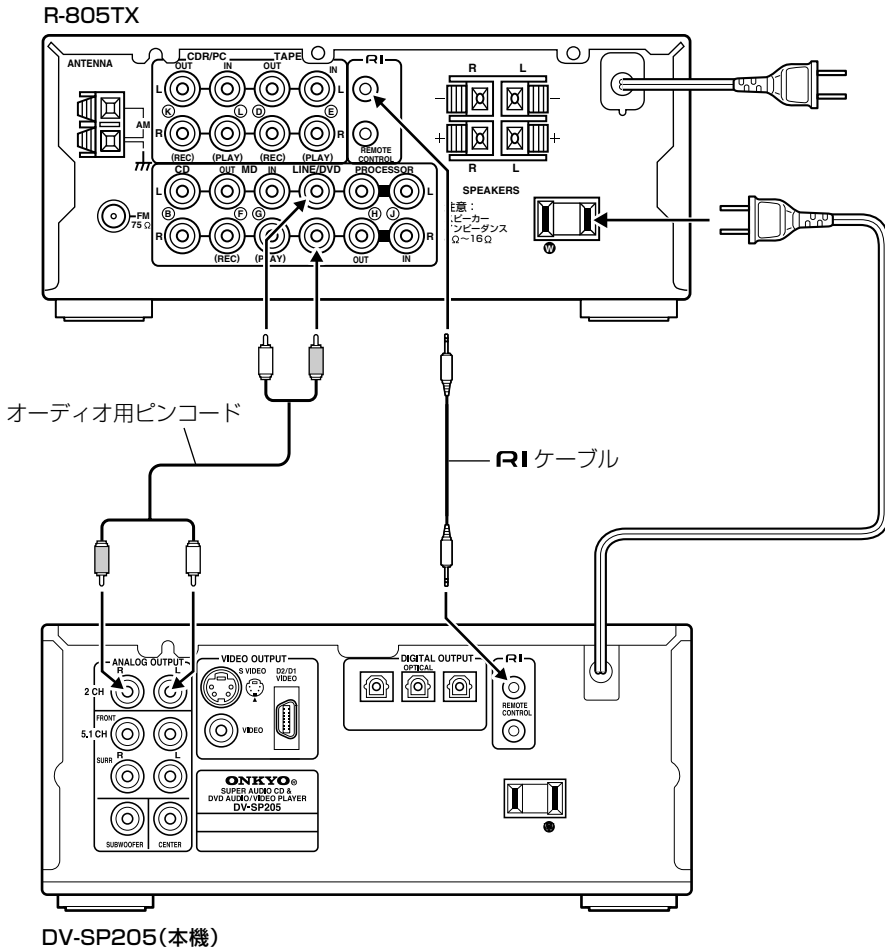
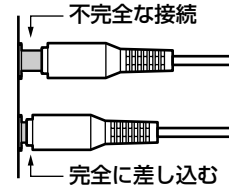
インターレース（お買い上げ時の設定）：
プログレッシブ入力に対応していないテレビやプロジェクターと接続しているときに選択します。表示部の「PROGRESSIVE」が消灯します。

ご注意

- D端子/コンポーネント映像ケーブルでプログレッシブ入力に対応していないテレビと接続しているときにプログレッシブを選択すると映像が出力されません。再度リモコンのPRGSVボタンでプログレッシブを解除してください。
- プログレッシブとインターレースを切り換えるとき映像が乱れることがあります。

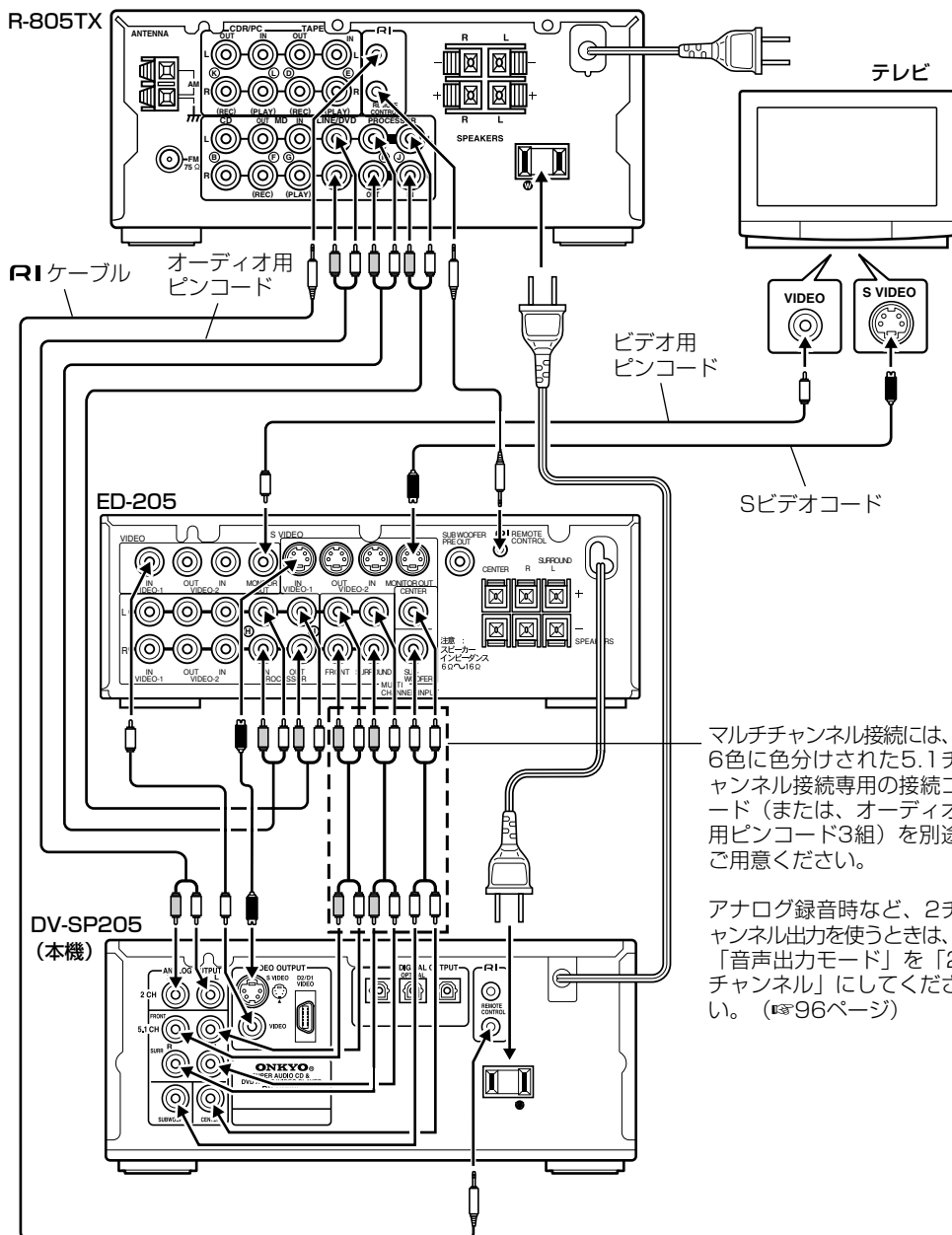
本機とプログレッシブ対応テレビとの互換性について
現在一部のプログレッシブ対応テレビは本機と完全な互換が取れていないため、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は本機のプログレッシブを解除し、テレビ側のプログレッシブ機能をお使いください。

テレビにD入力端子があるとき（接続 A ）
映像接続にはD端子接続、Sビデオ端子接続、ビデオ接続の3種類あります。テレビに応じていずれか1種類の接続をしてください。
アナログ音声入力端子
AUDIO IN
L
R
D2 VIDEO
D入力端子
DV-SP205
（本機）
ANALOG OUTPUT
2 CH
FRONT
5.1 CH
SURR
SUBWOOFER
CENTER
VIDEO OUTPUT
S VIDEO
D2/D1 VIDEO
VIDEO
DIGITAL OUTPUT
OPTICAL
REMOTE CONTROL
ONKYO
SUPER AUDIO CD & DVD AUDIO/VIDEO PLAYER
DV-SP205
アナログ音声入力端子
AUDIO IN
S VIDEO IN
Sビデオ入力端子
アナログ音声入力端子
AUDIO IN
VIDEO IN
映像入力端子
テレビにSビデオ端子があるとき（接続 A ）
テレビにD入力端子もSビデオ端子もないとき（接続 A ）

■ INTEC205シリーズ　R-805TX（チューナーアンプ）との接続（接続 C ）

- INTEC205シリーズA-905TX（アンプ）と接続するときは、R-805TXの接続と同様に本機の2CH ANALOG OUTPUT端子とA-905TXのLINE/DVD端子を接続してください。
- 接続する機器の取扱説明書も参照してください。
- 接続するときは、接続するすべての機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
  本機の電源コードはまだ接続しないでください。
- プラグは奥までしっかり接続してください。

■ INTEC205シリーズ R-805TX（チューナーアンプ）、ED-205（プロセッサー）との接続（接続 B）

ED-205とテレビの映像接続をSビデオコードで行うときは、本機とED-205もSビデオコードで接続してください。ED-205とテレビの映像接続をビデオ用ピンコードで行うときは、本機とED-205もビデオ用ピンコードで接続してください。

マルチチャンネル接続には、6色に色分けされた5.1チャンネル接続専用の接続コード（または、オーディオ用ピンコード3組）を別途ご用意ください。

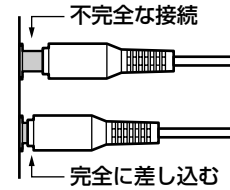
アナログ録音時など、2チャンネル出力を使うときは、「音声出力モード」を「2チャンネル」にしてください。（☞96ページ）

■ 市販のアンプと接続する

本機の音声は21ページの接続をすることで、テレビのスピーカーから出力できますが、本機を市販のアンプに接続することで、より高音質でダイナミックな音声を楽しむことができます。

アンプに映像入出力端子がない場合、映像端子はテレビと接続します。

音声接続はデジタル接続またはアナログ接続の2種類があります。アンプに応じて接続してください。

- アンプの取扱説明書も参照してください。
- 接続するときは、接続するすべての機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。本機の電源コードはまだ接続しないでください。
- ビデオ切り換え付きのアンプをご使用の場合は、映像信号はアンプを通してテレビに出力するようにしてください。
- プラグは奥までしっかり接続してください。

本機は熱に弱い部品を使用していますので、アンプなどの上には置かないでください。

5.1チャンネルアナログ入力端子のあるアンプと接続する （接続 D）

アンプの5.1チャンネルアナログ入力端子と本機の5.1CH ANALOG OUTPUT端子を接続してください。

- DVDオーディオやスーパーオーディオCDの5.1チャンネル音声は、デジタル端子に出力されませんのでこの接続が必要です。

アンプのアナログ入力端子と接続する （接続 E）

アンプのアナログ音声入力端子と本機の2CH ANALOG OUTPUT端子を接続してください。

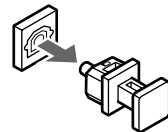
アンプがドルビープロロジックに対応していれば、ドルビープロロジックサラウンド音声を再生することができます。

- DVDオーディオやスーパーオーディオCDの5.1チャンネル音声は、デジタル端子に出力されませんのでこの接続が必要です。

デジタル端子のあるアンプと接続する

アンプがドルビーデジタル、DTSデコーダーを内蔵している場合（接続 F）
アンプがドルビーデジタル、DTSデコーダーを内蔵していない場合（接続 G）

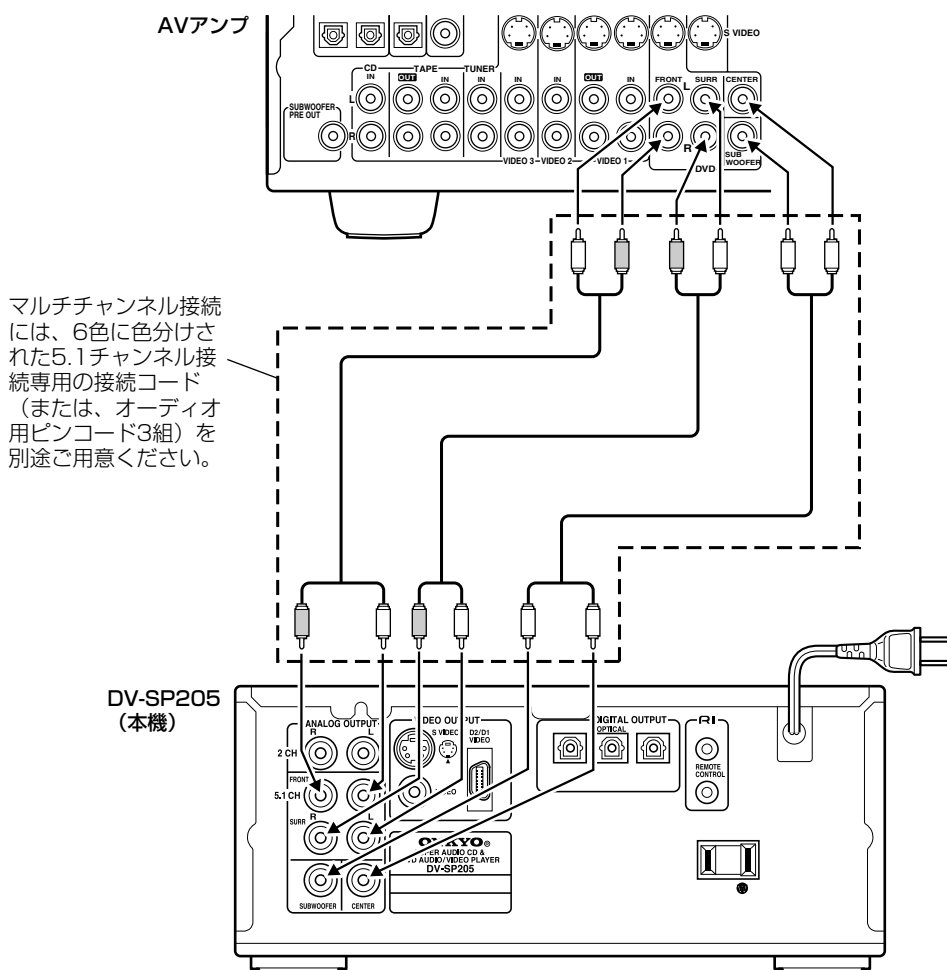
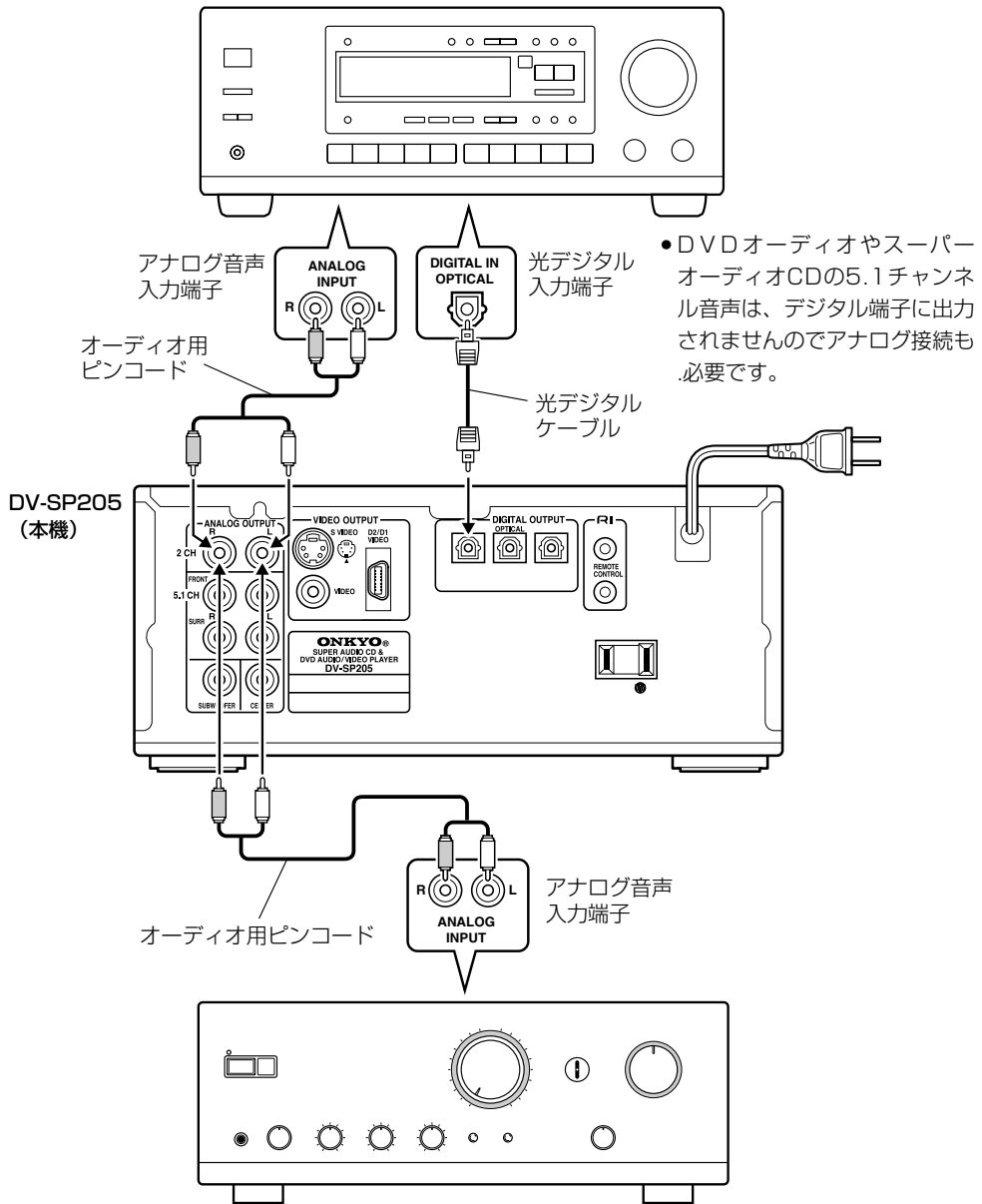
アンプのデジタル入力端子と本機のDIGITAL OUTPUT （OPTICAL）端子を接続してください。

- 光デジタル出力端子には、保護キャップが取り付けられています。接続のときは、このキャップを取り外してください。端子を使用しないときは、キャップを元どおりに取り付けてください。
- DVDオーディオやスーパーオーディオCDの5.1チャンネル音声は、デジタル端子に出力されませんのでアナログ接続も必要です。

5.1チャンネルアナログ入力端子のあるアンプと接続する （接続 D）

5.1CH(チャンネル) ANALOG(アナログ) OUTPUT(アウトプット)端子からDVDビデオ/オーディオ、スーパーオーディオCDのマルチチャンネル音声を出力します。オーディオ用ピンコードを使って、5.1CH ANALOG OUTPUT FRONT(フロント)、SURR(サラウンド)、CENTER(センター)、SUBWOOFER(サブウーファー)端子とAVアンプのマルチチャンネル音声入力端子を接続します。この接続をしたときは、セットアップナビゲーターの「音声出力を5.1ch端子に接続しているかどうかを選ぶ」の項目で「接続している」を選んでください。（☞34ページ）

アナログ録音時など、2チャンネル出力を使うときはオーディオ用ピンコードを使って、2CH ANALOG OUTPUT 端子とアンプの音声入力端子を接続し、「音声出力モード設定」で「2チャンネル」を選んでください。（☞96ページ）

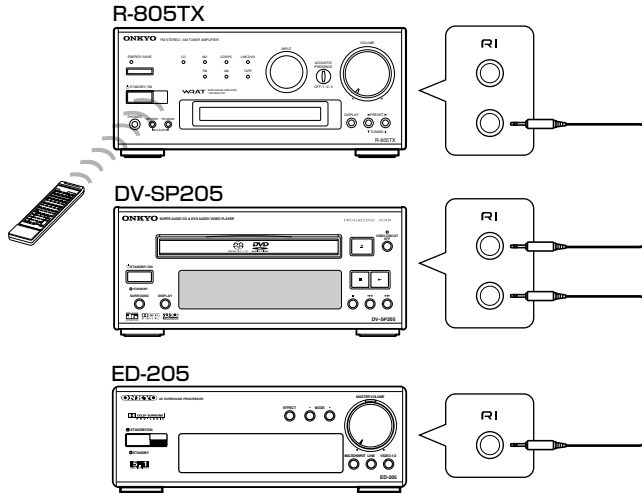
- 正しく再生できるように、本機と接続したチャンネルが同じかどうか確認してください。
- 接続する機器のPHONO(フォノ)端子またはTUNER(チューナー)端子には、本機を接続しないでください。

● ＤＶＤオーディオやスーパーオーディオCDの5.1チャンネル音声は、デジタル端子に出力されませんのでアナログ接続も.必要です。

接続する

■ RIケーブルの接続

RIケーブルを使ってR-805TXなどのRI端子の付いたオンキヨー製アンプまたはチューナーアンプを接続すると、アンプまたはチューナーアンプに付属のリモコンを使って本機を操作することができます。

• 使用できるシステム機能については、各機器の取扱説明書をご参照ください。

（例）

• RI端子はRI端子付き製品と組み合わせてご使用ください。
• RI端子が2つある場合、2つの端子の働きは同じです。どちらにでもつなげます。
• RI端子の接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

■INTEC205シリーズR-805TX（チューナーアンプ）、ED-205（デジタルサラウンドプロセッサー）と接続する場合のシステム接続の流れ

システム接続のしかた
(INTEC205 シリーズの接続)

本取扱説明書23〜24ページをご覧ください。

INTEC205シリーズの組み合わせでご使用になると、次のシステム機能を使うことができます。

オートパワーオン
本機の電源をオンにしたり再生を始めるとアンプの電源が自動的にオンになります。また本機を使用しないときは本機のみの電源をオフにすることができます。

ご注意

R-805TXのエナジーセーブ中は、オートパワーオン機能は動作しません。
R-８０5TXと接続して、R-８０5TXのエナジーセーブ機能を働かせている場合、本機のSTANDBY(スタンバイ)/ON(オン)ボタンを押しても電源は入りません。再度電源を入れるにはR-805TX側のSTANDBY/ONボタンを押してください。詳しくはR-805TXの取扱説明書をご覧ください。

ダイレクトチェンジ
本機の►(プレイ)ボタン押すとアンプの入力がLINE(ライン)/DVDに切り換わります。また、ED-205の入力がMULTI(マルチ) CH INPUT(チャンネルインプット)またはLINE(前回選択された入力)に切り換わります。

リモコン操作
A-905TX/R-805TXまたはED-205に付属のリモコンで本機を操作することができます。

詳しくはA-905TX/R-805TXまたはED-205の取扱説明書をご覧ください。

タイマー操作
タイマー演奏ができます。（CDのみ）

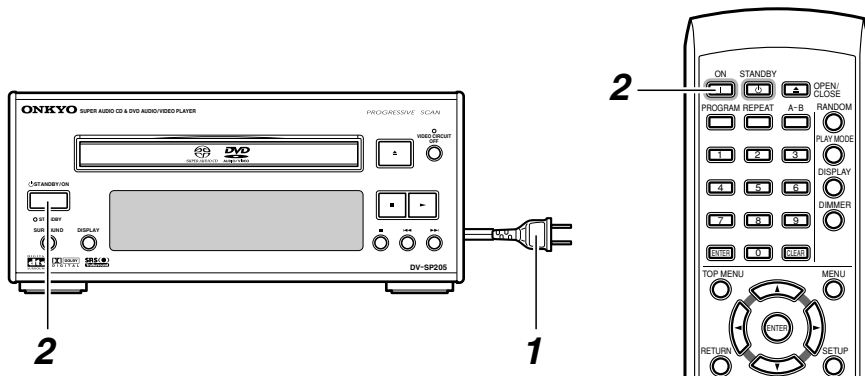
詳しくは本取扱説明書の70ページおよびT-405TX/R-805TXの取扱説明書をご覧ください。

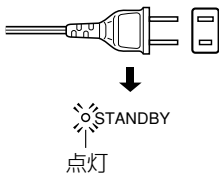
ご注意

- 本機からMD-105TX（MDレコーダー）やCDR-205TX（CDレコーダー）へのCDダビング、シンクロ録音はできません。MD-105TXやCDR-205TXに録音する場合は、シグナルシンクロ録音で行ってください。シグナルシンクロ録音のしかたについては、MD-105TXまたはCDR-205TXの取扱説明書をご覧ください。
- CD以外のディスクは正しく録音できません。
- A-905TX（アンプ）とT-405TX（チューナー）の組み合わせでも、上記と同じシステム機能は働きます。ただしA-905TXの主電源スイッチ（POWER）が切（OFF）になっていたり各機器の接続が正しくないとオートパワーオン機能は動作しません。オートパワーオン機能を働かせる場合は、A-905TXの主電源が入（ON）になっていることおよび各機器が正しく接続されていることを確認してください。

電源を入れる

接続する前に

- 21～28ページの接続がすべて終了しているか確認してください。
- 接続しているテレビの電源を入れ、テレビの入力を本機を接続している入力に切り換えます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

リモコンのボタンは　　　で表示しています。

1

電源コードを家庭用電源コンセントにつなぐ

STANDBY(スタンバイ)インジケーターが点灯します。

よりよい音で聞いていただくために

本機の電源コードは極性の管理がされています。電源コードの片側に目印線が入っている側を家庭用電源コンセントの溝の広い方に合わせて差し込んでください。

家庭用電源コンセントの溝の広さが同じ場合は、どちらを接続してもかまいません。

オンキヨー製品の背面にある電源コンセントに接続する場合、電源コードの目印線を電源コンセントの広い方（Ⓦマーク側）に合わせてください。

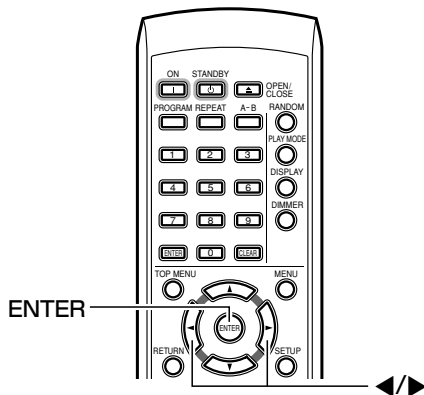
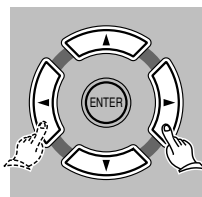
2

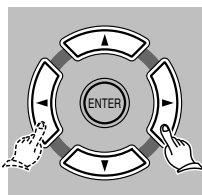
DV-SP205　　リモコン

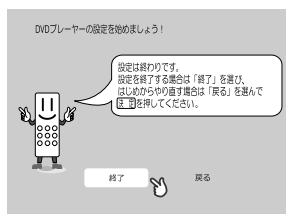
本体のSTANDBY(スタンバイ)/ON(オン)または、リモコンのON(オン)ボタンを押して、電源を入れる

表示部が点灯し、STANDBYインジケーターは消灯します。

テレビの種類を選ぶ

本機の電源を入れるとテレビに手順***1*** の画面が表示されます。
本機を接続しているテレビの種類を次の手順で選んでください。

1 **◀/▶ボタンでお使いのテレビが「ワイドテレビ（16:9）」か「普通のテレビ（4:3）」かを選び、ENTER（エンター）ボタンを押す**

選んだ項目は黄色で表示されます。

2 **◀/▶ボタンで「終了」を選び、ENTERボタンを押す**

- 「戻る」を選ぶと、最初の画面に戻ります。

スクリーンセーバー機能について

一時停止中など同じ画面が長時間表示されると画像の焼き付き（残像現象）を起こす場合があります。本機では約5分間同じ画像が表示されると焼き付きを防ぐために自動的にスクリーンセーバー機能が働きます。（この機能をオフにすることもできます。☞87ページ）

セットアップナビゲーターを使う

■セットアップナビゲーターを使って設定する（この機能を再生中に使うことはできません。）

セットアップナビゲーターは基本的な設定を行います。より細やかな設定は初期設定画面で行います。対話形式で本機の設定を行います。オンスクリーンディスプレイ上に表示される質問に答えていくと、本機の設定が自動的に完了します。セットアップナビゲーターを開始すると以下の順に質問されます。

言語（画面表示言語）→アンプとの接続→スピーカーとの接続→音声の選択

操作の前に

オンスクリーンディスプレイについて

本機は接続しているテレビの画面に各種再生操作、映像・音声などの各種設定操作を表示させ、テレビ画面上で簡単に操作ができるオンスクリーンディスプレイ機能を搭載しています。

セットアップナビゲーター画面などの画面表示について

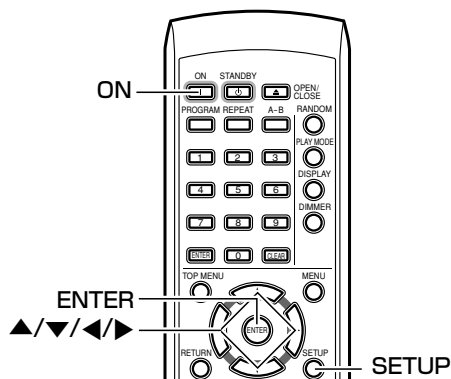
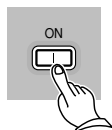
画面下部に操作に対応するリモコンのボタンが表示されます。これらはリモコンの以下のボタンに対応しています。

また、画面下には選択している項目の簡単な説明が表示されますので、操作の参考にしてください。

画面表示	⬅➡⬆⬇	決定	設定	再生▶	画面表示	戻る
リモコンのボタン	◀/▶/▲/▼	エンター ENTER	セットアップ SETUP	プレイ ▶	ディスプレイ DISPLAY	リターン RETURN

1つ前の画面に戻るには

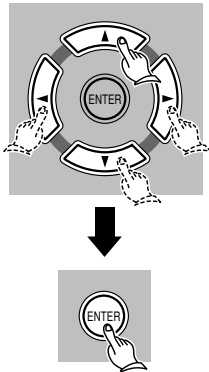
RETURN（リターン）ボタンを押します。

1

ON（オン）ボタンを押して、電源が入った状態にする

ディスクが入っているときはディスクを取り出してください。

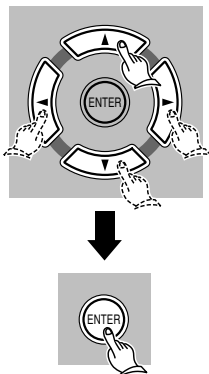
2

SETUPボタンを押して、テレビに設定画面を表示させる

3

▲/▼/◀/▶ボタンで「セットアップナビゲーター」を選び、ENTERボタンを押す

ENTER

セットアップナビゲーターが開始されます。手順*4* 以降の質問に答え、設定を行ってください。

4 DVDに表示される言語を選ぶ

ENTER

▲/▼/◀/▶ボタンで選び、ENTERボタンを押す

日本語：DVDに表示される言語が日本語になります。

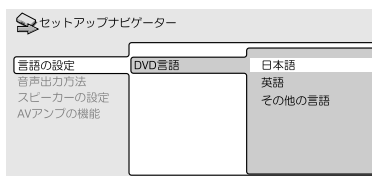
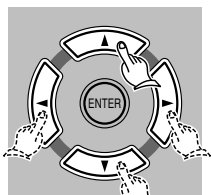
英　語：DVDに表示される言語が英語になります。

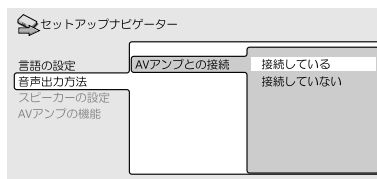
その他の言語：85ページの言語コード表から任意の言語を選びます。詳しくは、84ページをご覧ください。

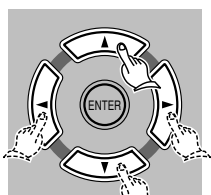
セットアップナビゲーター

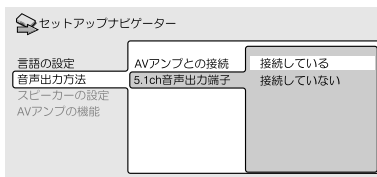
言語の設定
音声出力方法
スピーカーの設定
AVアンプの機能

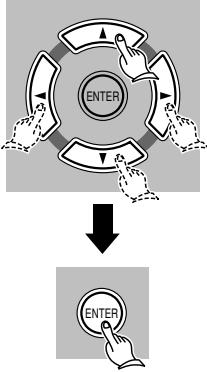
DVD言語

日本語
英語
その他の言語

5　AVアンプに接続されているかどうかを選ぶ

▲/▼/◀/▶ボタンで選び、ENTERボタンを押す

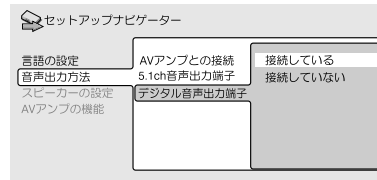
接続している　：「音声出力を5.1ch端子に接続しているかどうかを選ぶ」の項目に進みます。
接続していない：「セットアップナビゲーターを終了する」へ進みます。

- 本機とED-205（プロセッサー）を接続しているときは、「接続している」を選んでください。
- 「接続している」を選んだ場合は、手順***6*** に進みます。
- 「接続していない」を選んだ場合は、手順***15***に進みます。

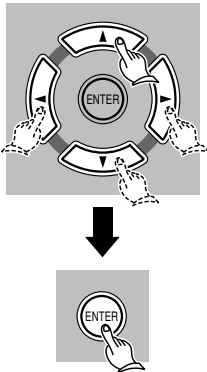
6　音声出力を5.1ch端子に接続しているかどうかを選ぶ

▲/▼/◀/▶ボタンで選び、ENTERボタンを押す

接続している　：本機の音声出力をAVアンプの5.1ch端子に接続しているとき選択します。
接続していない：本機の音声出力をAVアンプの5.1ch端子に接続していないとき選択します。

- 本機とED-205（プロセッサー）を接続しているときは、「接続している」を選んでください。

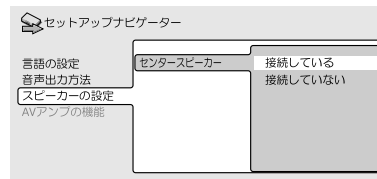
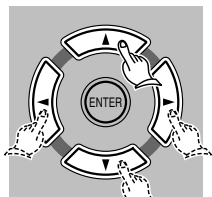
7 デジタル音声出力端子に接続しているかどうかを選ぶ

▲/▼/◀/▶ボタンで選び、ENTER(エンター)ボタンを押す

接続している　：本機の音声出力をデジタル出力端子に接続しているとき選択します。

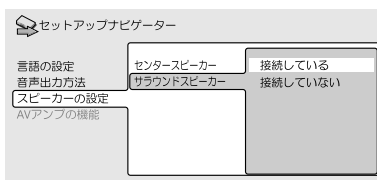
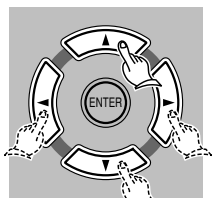
接続していない：本機の音声出力をデジタル出力端子に接続していないとき選択します。

- 5.1ch端子の接続およびデジタル音声出力端子の接続の項で両方共に「接続していない」を選んだ場合は、手順***15*** に進みます。
- 5.1ch端子の接続の項で「接続している」を選んだ場合は、手順***8*** 以降のスピーカーの設定に進みます。それ以外の場合は手順***11*** に進みます。

8 アンプにセンタースピーカーを接続しているかどうかを選ぶ

▲/▼/◀/▶ボタンで選び、ENTERボタンを押す

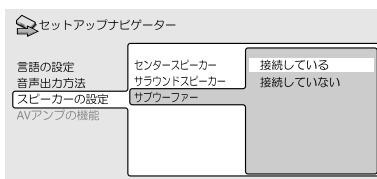
接続している　：アンプにセンタースピーカーを接続しているとき選択します。

接続していない：アンプにセンタースピーカーを接続していないとき選択します。

9 アンプにサラウンドスピーカーを接続しているかどうかを選ぶ

▲/▼/◀/▶ボタンで選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

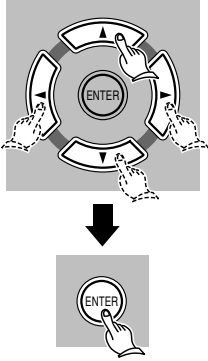
接続している　：アンプにサラウンドスピーカーを接続しているとき選択します。

接続していない：アンプにサラウンドスピーカーを接続していないとき選択します。

10 アンプにサブウーファーを接続しているかどうかを選ぶ

▲/▼/◀/▶ボタンで選び、ENTERボタンを押す

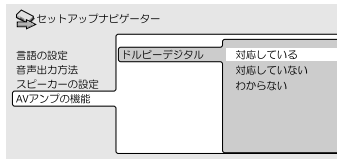
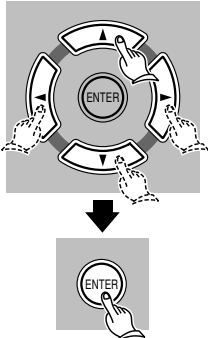
接続している　：アンプにサブウーファーを接続しているとき選択します。

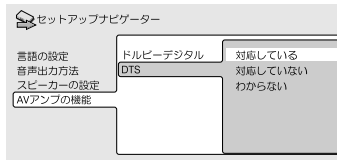
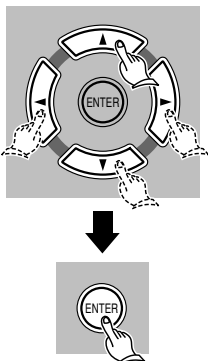
接続していない：アンプにサブウーファーを接続していないとき選択します。

- 手順 ***7*** の「デジタル音声出力の設定」で「接続していない」を選んだ場合は、手順***15*** に進みます。

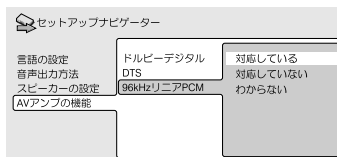
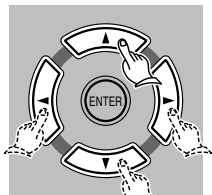
手順 *7*（35ページ）でデジタル音声出力端子に「接続していない」を選んだときは、手順 *11* からの質問は表示されません。手順 *15* に進みます。

11 AVアンプがドルビーデジタルに対応しているかどうかを選ぶ

▲/▼/◀/▶ボタンで選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

対応している　：ドルビーデジタル対応のとき選択します。
対応していない：ドルビーデジタルに対応していないとき選択します。
わからない　　：ドルビーデジタル対応のAVアンプかどうかわからないとき選択します。

- 「わからない」を選ぶと、「対応していない」と同じ設定になります。

12 AVアンプがDTSに対応しているかどうかを選ぶ

▲/▼/◀/▶ボタンで選び、ENTERボタンを押す

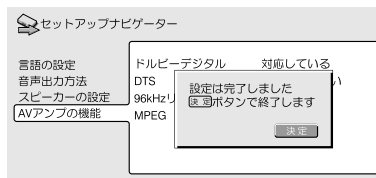
対応している　：DTSに対応しているとき選択します。
対応していない：DTSに対応していないとき選択します。
わからない　　：DTSに対応のAVアンプかどうかわからないとき選択します。

13 AVアンプが96kHzリニアPCM音声に対応しているかどうかを選ぶ

▲/▼/◀/▶ボタンで選び、ENTERボタンを押す

対応している　：96kHzリニアPCM音声に対応しているとき選択します。
対応していない：96kHzリニアPCM音声に対応していないとき選択します。
わからない　　：96kHzリニアPCM音声に対応しているかどうかわからないとき選択します。

14 AVアンプがMPEG(エムペグ)マルチチャンネル音声に対応しているかどうかを選ぶ

▲/▼/◀/▶ボタンで選び、ENTER(エンター)ボタンを押す

対応している　：MPEGに対応しているとき選択します。
対応していない：MPEGに対応していないとき選択します。
わからない　　：MPEG対応のAVアンプかどうかわからないとき選択します。

15 セットアップナビゲーターを終了する

ENTERボタンを押す

セットアップナビゲーターでの設定が完了し、セットアップナビゲーターが終了します。

基本の再生

■ 再生を始める前に

- DVDビデオ、DVDオーデイオ、ビデオCD、スーパーオーディオCD、MP3ディスク、音楽用CD以外は再生しないでください。（☞「再生できるディスクについて」10ページ）
- ディスクを再生するときは、テレビの電源を入れ、テレビの入力を本機を接続した入力に切り換えてください。（音楽用CDの通常再生のみ行うときは、必要ありません。）
- DVDオーディオデイスクには、「ボーナスグループ」とよばれるグループを持つものがあります。このボーナスグループを再生しようとすると、4桁のパスワードの入力を求める画面が表示されます。再生する場合は、ディスクのケースなどに表示してあるパスワードを入力してください。(☞93ページ)
- テレビやモニターによっては再生時の色の濃さ（カラーレベル）がわずかに薄くなったり、色合い（ティント）が変わったりする場合があります。この場合は、テレビやモニターを調節して適正な状態にしてください。

■ DVD DVD-V DVD-A VCD CD スーパーオーディオCD MP3 マークについて

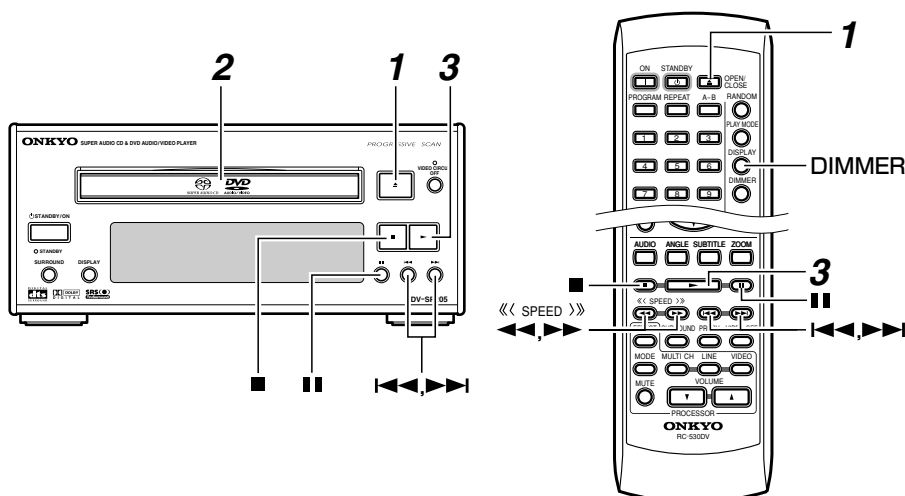
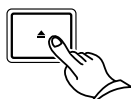
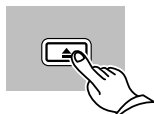
DVD はDVDビデオとDVDオーディオの操作に関する説明です。
DVD-V はDVDビデオの操作に関する説明です。
DVD-A はDVDオーディオの操作に関する説明です。
VCD はビデオCDの操作に関する説明です。
CD は音楽用CDに関する説明です。
スーパーオーディオCD はスーパーオーディオCDに関する説明です。
MP3 はMP3を記録したディスクに関する説明です。

ご注意

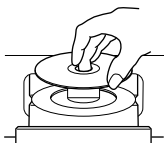
- 再生中は本機を移動したり揺らしたりしないでください。ディスクを傷つけるおそれがあります。ディスクトレイが動いているときは、トレイに触れないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイを上から押さないでください。また、本機で再生可能なディスク以外のものをのせないでください。故障の原因となります。
- 映画などの再生が終わると、多くの場合メニュー画面があらわれます。メニュー画面を長く表示させているとそれがテレビ画面に焼き付いて、画面を傷める場合があります。これを避けるため、再生が終わったら、■(ストップ)ボタンを押してください。
- DVDのなかにはディスクをセットするだけで再生するものもあります。このようなディスクの場合、電源を入れるだけでも再生しますので、本機をスタンバイ状態にする時は、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。

基本の再生

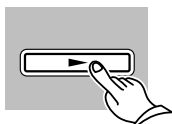
■ ディスクの基本的な再生 DVD VCD CD スーパーオーディオCD MP3

1

本体またはリモコンの▲（オープン/クローズ）ボタンを押して、ディスクトレイを開ける

DV-SP205　　リモコン

2

ディスクをトレイに置く

ディスクのラベル面を上にします。
ディスクには2種類のサイズがあります。トレイのそれぞれのガイド内に収まるように置いてください。

3

本体またはリモコンの▶（プレイ）ボタンを押す

DV-SP205　　リモコン

ディスクトレイが閉まり、再生が始まります。
ディスクによっては、手順***2***の後で▲（オープンクローズ）ボタンを押してディスクトレイを閉じると、自動的に再生が始まります。

- セットしたディスクの種類が表示されます。

テレビにメニュー画面があらわれたときは DVD VCD
「ディスクメニュー、タイトルメニューを操作する」(☞49ページ)を参照してください。

音声が再生されないときは DVD VCD CD スーパーオーディオCD MP3
- 接続と初期設定を再度確認してください。(☞22〜27、78ページ)
- 「ディスクに複数の音声方式が記録されているときは」(☞50ページ)を参照してください。

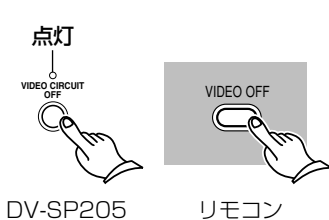
DVDディスクをセットしてもすぐにディスクが出てきてしまうときは DVD
- リージョン番号が一致していないとそのディスクを再生することはできません。本機で再生できるリージョン番号は「2」と「ALL」のみです。(☞11ページ)
- ディスクの表裏が正しくセットされていない。またはディスクに汚れがあったり、傷がついている。DVD-ROMを再生しようとしている。本機で再生できるディスクについては10ページをご覧ください。

映像が再生されないときは DVD VCD
- 本体のVIDEO(ビデオ) CIRCUIT(サーキット) OFF(オフ)ボタン(またはリモコンのVIDEO(ビデオ) OFF(オフ)ボタン)が押されている。ボタンが押されていると、本体のVIDEO CIRCUIT OFFインジケーターと表示部のVIDEO OFFインジケーターが点灯します。再度ボタンを押してインジケーターを消灯させてください。
- プログレッシブ入力に対応していないテレビと接続しているときに、プログレッシブが選択されていると映像が出力されません。再度リモコンのPRGSV(プログレッシブ)ボタンを押してプログレッシブを解除してください。

スーパーオーディオCDをデジタル出力で聞くことができない スーパーオーディオCD
スーパーオーディオCDの音声はアナログで出力されます。アナログ音声出力端子(5.1chまたは2ch)の接続をしてください。(☞26、27ページ)

映像出力をオフにする DVD VCD

映像出力をオフにすることで、より良い音質での再生ができます。

DV-SP205　リモコン

本体のVIDEO(ビデオ) CIRCUIT(サーキット) OFF(オフ)ボタン(またはリモコンのVIDEO(ビデオ) OFF(オフ)ボタン)を押す

テレビ画面の映像が消え、本体のVIDEO CIRCUIT OFFインジケーターと表示部のVIDEO OFFインジケーターが点灯します。
- 映像出力を元に戻すには、再度本体のVIDEO CIRCUIT OFFボタン(またはリモコンのVIDEO OFFボタン)を押して、インジケーターを消灯させます。
- 表示部の GUI インジケーターが点灯しているとき(初期設定画面表示中や音声を切り換えたとき)は、映像が出力されます。

再生を一時停止する DVD VCD CD スーパーオーディオCD MP3

DV-SP205　リモコン

再生中に本体またはリモコンの❚❚（ポーズ）ボタンを押す

再生を再開するには、再度❚❚ボタン（または▶（プレイ）ボタン）を押してください。

スクリーンセーバー画面があらわれたときは

ディスク再生中、一定時間以上一時停止（ポーズ）状態にしておくと、スクリーンセーバーが働きます。（この機能をオフにするとこともできます。☞87ページ）

❚❚（または▶）ボタンを押すと再生画面が表示され、再度❚❚ボタン（または▶ボタン）を押すと再生が始まります。CDなどでテレビをつけていなくても同様です。

再生を停止する DVD VCD CD スーパーオーディオCD MP3

DV-SP205

リモコン

本体またはリモコンの■（ストップ）ボタンを押す

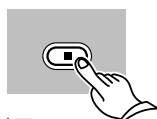
DVDおよびビデオCDでは、本体の表示部に「RESUME（リジューム）」と表示され、停止した場所を記憶します（リジューム機能）。スーパーオーディオCD、CD、MP3およびDVDオーディオでは、この機能は働きません。

停止した場所から再生するには

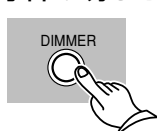
▶ボタンを押してください。

リジューム機能を解除するには

再生停止後、もう一度■ボタンを押してください。また、ディスクを取り出してもリジューム機能は解除されます。

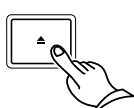
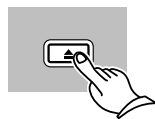
ヒント

再生を止めたところから再生が始まるのは、止めた場所が本機のメモリーに記録されているからですが、以下の場合は、メモリーが初期化されます。

- ディスクトレイを開いたとき
- 『視聴制限』の設定を変えたとき（☞88ページ）や、『画面表示言語』を変えたとき（☞86ページ）

表示部の明るさを変える DVD VCD CD スーパーオーディオCD MP3

DIMMER（ディマー）ボタンを押す

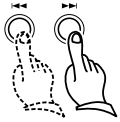
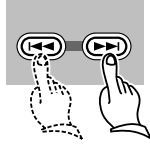
DIMMERボタンを押すたびに、本機の表示部の明るさが3段階に切り換わります。

→ ふつう → やや暗い → 暗い →（ふつうに戻る）

ディスクを取り出す DVD VCD CD スーパーオーディオCD MP3

DV-SP205　リモコン

本体またはリモコンの▲（オープン／クローズ）ボタンを押して、ディスクトレイを開く

トレイが完全に開いたら、デイスクを取り出します。
その後、再度▲ボタンを押してトレイを閉じてください。

見たいチャプター/トラックにスキップする DVD VCD CD スーパーオーディオCD MP3

DV-SP205

リモコン

チャプター/トラックを頭出しします。押した回数だけスキップします。

再生中に見たいチャプター/トラックに進むには

本体またはリモコンの▶▶❙ボタンを押します。

再生中のチャプター/トラックの最初に戻るには

本体またはリモコンの❙◀◀ボタンを1回押します。

再生中に見たいチャプター/トラックに戻るには

再生中のチャプター/トラックの最初で❙◀◀ボタンを押します。

停止中に見たいチャプター/トラックに進むには

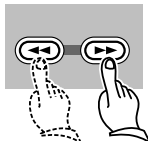
本体またはリモコンの▶▶❙ボタンを押します。

停止中に見たいチャプター/トラックに戻るには

本体またはリモコンの❙◀◀ボタンを押します。

DVDオーディオの見たいグループを選ぶには

停止中に❙◀◀ボタンを押します。
テレビ画面に「サーチ」と「グループ」が表示されます。
表示されている間に❙◀◀ボタンまたは▶▶❙ボタンでグループを選びます。

早送り、早戻しをする DVD VCD CD スーパーオーディオCD MP3

早送りするには

再生中にリモコンの▶▶ボタン(または本体の▶▶|ボタン)を押し続けます。
早送り中は画面に「▶▶1」が点滅します。

早戻しするには

再生中にリモコンの◀◀ボタン(または本体の|◀◀ボタン)を押し続けます。
早戻し中は画面に「◀◀1」が点滅します。

通常の再生に戻すには

見たい/聞きたい場所で指を離す

早送りの速さを変えるには

DVDでは3段階(1→2→3)、DVDオーディオでは2段階(2→3)、ビデオCD/CDでは2段階(1→2)に切り換えることができます。MP3では1段階のみとなります。

再生中にリモコンの▶▶ボタンを押す

押すたびに速さが次のように切り換わります。
(遅い)▶▶1→▶▶2→▶▶3(速い)

早戻しの速さを変えるには

DVDでは3段階(1→2→3)、DVDオーディオでは2段階(2→3)、ビデオCD/CDでは2段階(1→2)に切り換えることができます。

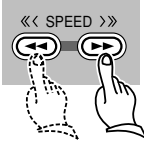
再生中にリモコンの◀◀ボタンを押す

押すたびに速さが次のように切り換わります。
(遅い)◀◀1→◀◀2→◀◀3(速い)

通常の再生に戻すには

▶(プレイ)ボタンを押します。

- 早送り、早戻しの速さはテレビ画面に表示されます。
- CDおよびMP3では早送り、早戻し中に音を聞くことができます。
- DVDビデオ、DVDオーディオ、ビデオCDの早送り、早戻し中は音は出ません。また、DVDビデオの早送り、早戻し中は字幕は表示されません。
- DVDビデオの早送り、早戻しで次のチャプターになると自動的に通常再生に戻るディスクもあります。

画面をコマ送りで見る DVD VCD

一時停止中にSPEED(スピード) ›» ボタンを押す

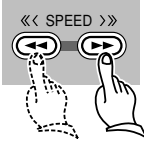
押すたびにコマ送りします。

逆方向にコマ送り再生するには

一時停止中に«‹ SPEEDボタンを押します。
押すたびに逆方向にコマ送りします。
ビデオCDでは逆方向のコマ送り再生はできません。

通常の再生に戻すには

►(プレイ)ボタンを押します。

画像をスローで見る DVD VCD

一時停止中にSPEED ›» ボタンを押し続ける

『1/16』と表示されます。指を離してもスロー再生を続けます。

スロー再生の速さを変えるには

スロー再生中にSPEED ›» ボタンを押します。
押すたびに速さが以下のように切り換わります。
1/16→1/8→1/4→1/2→1/16

逆方向にスロー再生するには

«‹ SPEEDボタンを押し続けます。
ビデオCDでは逆方向のスロー再生はできません。

逆方向のスロー再生の速さを変えるには

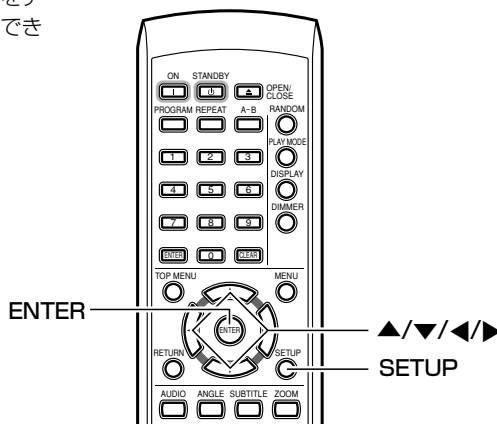
スロー再生中に«‹ SPEEDボタンを押します。
押すたびにスロー1とスロー2が切り換わります。

通常の再生に戻すには

►ボタンを押します。

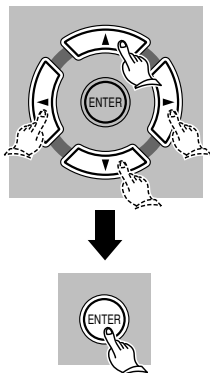
- スロー再生中の速さは、テレビ画面に表示されます。
- スロー再生中に次のチャプターになると自動的に通常再生に戻るディスクもあります。
- DVDでは、停止中に|◀◀ボタンまたは▶▶|ボタンを押すと、タイトルの始めから再生します。
- 静止画、コマ送り、スロー再生中は音声が出力されません。
- 静止画の画像にブレがあるときは、初期設定画面の「静止画像を切り換える」で「フィールド」を選んでください（☞81ページ）。
- ディスクによっては、逆方向のコマ送り再生中、画面が揺れることがあります。
- ディスクによっては、静止画再生、コマ送り再生、スロー再生のできないディスクもあります。その場合は、マークまたはマークが画面に表示されます。

ディスクナビゲーターを使って再生する

ディスクナビゲーターを使うとディスクの内容をテレビ画面で見ながら、再生する曲を選ぶことができます。

DVD VCD CD スーパーオーディオCD MP3

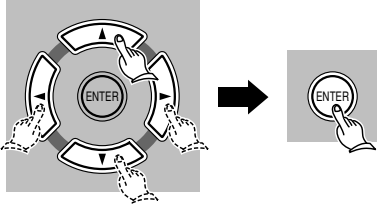
1

ディスクを入れ、停止状態のときにSETUP(セットアップ)ボタンを押し、設定画面を表示する

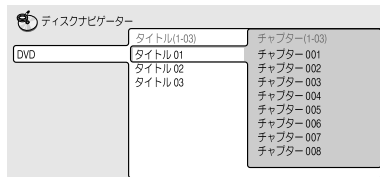
2

ENTER

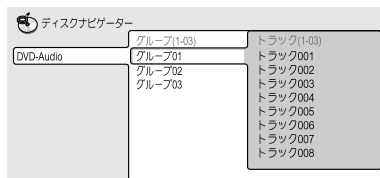
▲/▼/◀/▶ボタンで「ディスクナビゲーター」を選び、ENTER(エンター)ボタンを押す

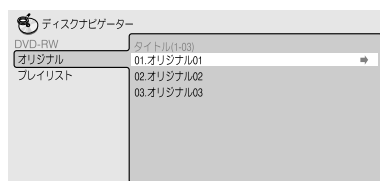
DVD-RW、CD、ビデオCD、MP3、スーパーオーディオCDではMENU(メニュー)ボタンでディスクナビゲーター画面を表示させることもできます。

3

▲/▼/◀/▶ボタンでカーソルをタイトル/グループまたはチャプター/トラックに移動し、ENTER(エンター)ボタンを押す

- 使用しているディスクにより、ディスクナビゲーター画面は異なります。下記を参考に選んでください

DVDビデオのディスクナビゲーター画面

再生したいタイトルまたはタイトルに入っているチャプターを選びます。

DVDオーディオのディスクナビゲーター画面

再生したいグループまたはグループに入っているトラックを選びます。

DVD-RWのディスクナビゲーター画面

現在再生中のエリアの中のトラックを選びます。
- ビデオレコーディングフォーマット（VRモード）のDVD-RWディスクでは、「プレイリスト」または「オリジナル」を選択して再生することができます。

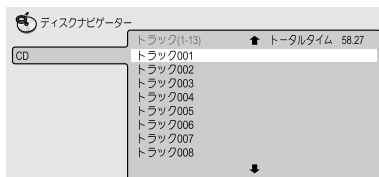
ヒント

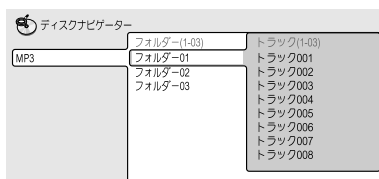
オリジナルとは…
DVDレコーダーで録画して作られたタイトルを「オリジナル」といいます。
プレイリストとは…
オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルを「プレイリスト」といいます。

ご注意

- 再生中に「オリジナル」と「プレイリスト」を切り換えることはできません。ディスクを停止してから切り換えてください。
- 多くのDVD-RWディスクにはプレイリストはありません。

ディスクナビゲーターを使って再生する

スーパーオーディオCD、CD、ビデオCDのディスクナビゲーター画面

再生したいトラックを選びます。

MP3のディスクナビゲーター画面

再生したいフォルダーまたはフォルダーの中のトラックを選びます。

4

ENTERボタンを押す

選んだところから再生が始まります。

ディスクナビゲーターはディスクがセットされていないと働きません。

サーチモードを使用して、好みの場面を指定することができます。(☞63ページ)

ディスクメニュー、タイトルメニューを操作する

ディスクメニュー※について DVD

DVDビデオには、複数の言語や音声方式が含まれている場合があります。多くの場合、このようなDVDビデオは、メニューで言語(ディスクメニュー言語、音声、字幕など)や音声方式を選ぶことができます。ディスクメニューを表示するにはMENU(メニュー)ボタンを押してください。メニューが表示されないときはTOP(トップ) MENU(メニュー)ボタンを押してください。ディスクによってメニューが含まれていない場合もあります。

タイトルメニュー※について DVD VCD

DVDビデオや、PBC（Playback Controlプレイバックコントロール）機能付きのビデオCD（☞11ページ「ビデオCDについて」）は、メニューでタイトルやチャプター（☞13ページ「ディスクに関する用語について」）を選べます。タイトルメニューを表示するにはTOP MENUボタンを押してください。メニューが表示されないときはMENUボタンを押してください。ディスクによってメニューが含まれていない場合もあります。

メニュー画面を出さずに（PBC再生を解除して）再生するときは、停止中に⏮/⏭ボタンまたは数字ボタンを使って再生したいトラックを選びます。

DVDビデオの再生中にテレビ画面にメニューが表示されたときは、▲/▼/◀/▶ボタンで項目や設定を選び、ENTER(エンター)ボタンを押して決定してください。
ビデオCDの再生中にテレビ画面にメニューが表示されたときは、数字ボタンで項目や設定を選んでください。

操作内容はディスクにより異なります。ディスクの指示に従ってください。

※ ディスクにより、ディスクメニューやタイトルメニューに違う名称がつけられている場合があります。
また、メインのメニューにディスクメニューやタイトルメニューが含まれている場合があります。

■ ディスクに複数の音声方式が記録されているときは DVD

ディスクメニューで音声方式を選ぶときは、以下を参考に選んでください。

デジタル端子接続をしたときは

アンプがDTSに対応しているときは→「DTS」または「dts」を選ぶ

アンプがドルビーデジタルに対応しているときは→「ドルビーデジタル」または「Dolby Digital」、「DD 6CH」、「DD 5.1CH」、「DD DOLBY DIGITAL」を選ぶ

アンプがドルビープロロジックに対応しているときは→「ドルビープロロジック」または「Dolby Pro Logic surround」、「DD DOLBY SURROUND」を選ぶ

アンプが2チャンネルステレオタイプのときは→「ステレオ」または「Stereo」を選ぶ

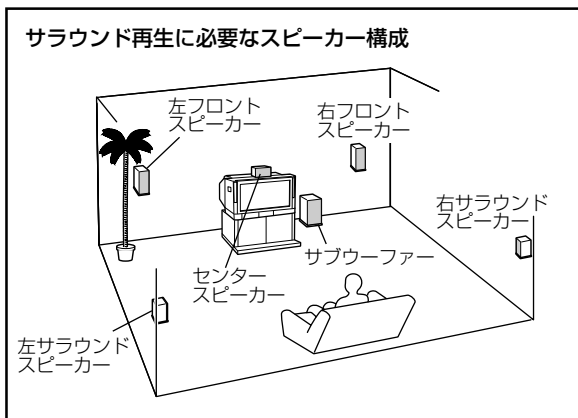
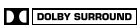
アナログ端子接続をしたときは

アンプが5.1チャンネルに対応しているときは→「DTS」または「dts」、「ドルビーデジタル」または「Dolby Digital」、「DD 6CH」、「DD 5.1CH」、「DD DOLBY DIGITAL」を選ぶ

アンプがドルビープロロジックに対応しているときは→「ドルビープロロジック」または「Dolby Pro Logic surround」、「DD DOLBY SURROUND」を選ぶ

アンプが2チャンネルステレオタイプのときは→「ステレオ」または「Stereo」を選ぶ

音声をテレビのスピーカーから再生するときは→「ステレオ」または「Stereo」を選ぶ

音声方式と音声効果について

DTS、ドルビーデジタルの、5.1チャンネルデジタルサラウンド方式は、5つのチャンネルと低音域効果のチャンネルが独立して記録されており、それぞれのチャンネルを独立して再生することができます。これにより、劇場やコンサートホールの臨場感を再現することができます。

ドルビーデジタルサラウンド

DD DOLBY DIGITAL マークのあるDVDビデオがこの方式で記録されています。

DTSサラウンド

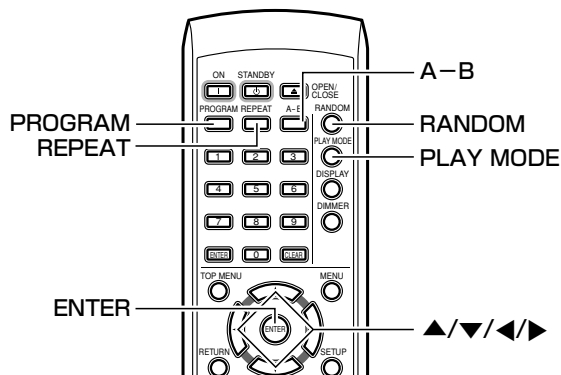
dts マークのあるDVDビデオや音楽CDがこの方式で記録されています。

ドルビープロロジックサラウンド

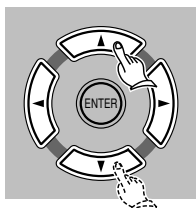
DD DOLBY SURROUND マークのついたDVDビデオがこの音声方式で記録されています。

プレイモードを使ってのいろいろな再生

■ プレイモード画面の表示のしかた

1

PLAY MODEボタンを押して、プレイモード画面を表示させる

- ディスクメニューを表示中はプレイモード画面を表示することができません。

2

▲/▼ボタンで項目を選択し、ENTERボタンを押す

A－Bリピート*：再生中のタイトル/グループ内の指定した範囲をくり返し再生します。

リピート*：タイトル/グループやチャプター/トラックをくり返し再生します。

ランダム*：タイトル/グループやチャプター/トラックを順不同に再生します。

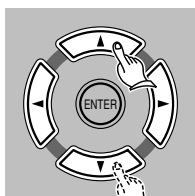
プログラム*：タイトル/グループやチャプター/トラックの順番を変えて再生します。

サーチモード：タイトル/グループ、チャプター/トラックまたは時間を指定して再生します。

＊印は、リモコンのA－Bボタン、REPEATボタン、RANDOMボタン、PROGRAMボタンでも操作できます。

■ A－Bリピート再生（選んだ部分だけをくり返して再生する） DVD VCD CD

プレイモード画面を表示させ、「A－Bリピート」を選択してください。

1

再生中にくり返したい始めの場所で「A（開始箇所）」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

2

くり返したい終りの場所で「B（終了箇所）」を選び、ENTERボタンを押す

ENTERボタンを押すと、自動的に「A（開始箇所）」に戻りA－Bリピート再生が始まります。

ご注意

- スーパーオーディオCD、MP3でのA－Bリピート再生はできません。
- ビデオCDのPBC再生中、メニュー画面を表示中のDVDの場合もA－Bリピート再生をすることはできません。（「PBC再生を解除して再生するときは」☞49ページ）

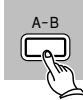
■通常の再生に戻すには

「オフ」を選び、ENTERボタンを押す

- CLEAR（クリア）ボタンを押して通常再生に戻すこともできます。

■ A−Bリピート再生をリモコンのA−Bボタンで操作する DVD VCD CD

1

再生中にくり返したい始めの場所でA−Bボタンを押す

2

くり返したい終りの場所でA−Bボタンを押す

自動的に「A（開始箇所）」に戻り、A−Bリピート再生が始まります。

ご注意

- スーパーオーディオCD、MP3でのA−Bリピート再生はできません。
- ビデオCDのPBC再生中、メニュー画面を表示中のDVDの場合もA−Bリピート再生をすることはできません。（「PBC再生を解除して再生するときは」☞49ページ）

■ 通常の再生に戻すには

CLEAR（クリア）ボタンを押す

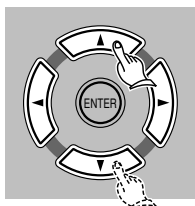
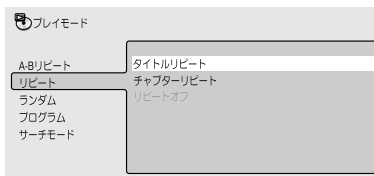
- A−Bボタンを押し、「オフ」を選んで通常再生に戻すこともできます。

プレイモードを使ってのいろいろな再生

■ リピート再生（選んだタイトル/グループ、チャプター/トラックをくり返し再生する）

DVD VCD CD スーパーオーディオCD MP3

プレイモード画面を表示させ、「リピート」を選択してください。

1

再生中にリピート再生の種類を選び、ENTERボタンを押す

選んだ種類のリピート再生が始まります。

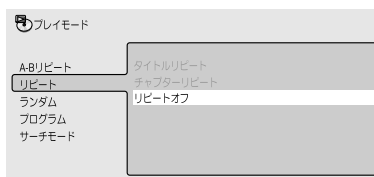
ディスクにより選択できるリピート再生の種類が異なります。下記を参考にリピート再生の種類を選択してください。

DVDビデオ、DVD-RW	： タイトルリピート、チャプターリピート
DVDオーディオ	： グループリピート、トラックリピート
スーパーオーディオCD、CD、ビデオCD	： ディスクリピート、トラックリピート
MP3	： ディスクリピート、フォルダーリピート、トラックリピート

ビデオCDのPBC再生中、メニュー画面を表示中のDVDはリピート再生することはできません。
（「PBC再生を解除して再生するときは」☞49ページ）

- プログラム再生中にリピートモードにすると、プログラムをくり返し再生します。
- リピート再生とランダム再生を同時に行うことはできません。
- リピート再生中にアングルを切り換える(☞67ページ)とリピート再生は解除されます。

■ 通常の再生に戻すには

「リピートオフ」を選び、ENTERボタンを押す

- CLEARボタンを押して通常再生に戻すこともできます。

■ リピート再生をリモコンのREPEAT(リピート)ボタンで操作する DVD VCD CD スーパーオーディオCD MP3

1

再生中にREPEAT(リピート)ボタンを押す

押すごとにリピート再生の種類が切り換わります。

ディスクにより選択できるリピート再生の種類が異なります。下記を参考にリピート再生の種類を選択してください。

DVDビデオ、DVD-RW：タイトルリピート、チャプターリピート
DVDオーディオ：グループリピート、トラックリピート
スーパーオーディオCD、CD、ビデオCD：ディスクリピート、トラックリピート
MP3：ディスクリピート、フォルダーリピート、トラックリピート

ビデオCDのPBC再生中、メニュー画面を表示中のDVDはリピート再生することはできません。
（「PBC再生を解除して再生するときは」☞49ページ）

ヒント

- プログラム再生中にリピートモードにすると、プログラムをくり返し再生します。
- リピート再生とランダム再生を同時に行うことはできません。
- リピート再生中にアングルを切り換える(☞67ページ)とリピート再生は解除されます。

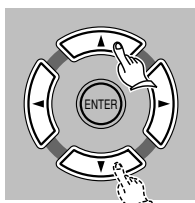
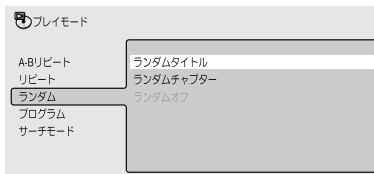
■ 通常の再生に戻すには

CLEAR(クリア)ボタンを押す

- REPEATボタンを押し、「リピートオフ」を選んで通常再生に戻すこともできます。

■ ランダム再生（順不同に再生する） DVD VCD CD MP3

プレイモード画面を表示させ、「ランダム」を選択してください。

1

ランダム再生の種類を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

選んだ種類のランダム再生が始まります。

ディスクにより選択できるランダム再生の種類が異なります。下記を参考にランダム再生の種類を選択してください。

DVDビデオ ： ランダムタイトル（タイトルを順不同に再生します。）
ランダムチャプター（チャプターを順不同に再生します。）
DVDオーディオ ： ランダムグループ（グループを順不同に再生します。）
ランダムトラック（トラックを順不同に再生します。）
MP3、CD、ビデオCD ： オンまたはオフ

ご注意

- スーパーオーディオCD、DVD-RWでのランダム再生はできません。
- ビデオCDのPBC再生中、メニュー画面を表示中のDVDはランダム再生することはできません。（「PBC再生を解除して再生するときは」☞49ページ）

- ランダム再生中に▶▶▌ボタンを押すと、順不同に次のチャプター/トラックを選んで再生します。また、▌◀◀ボタンを押すと、現在再生中のチャプター/トラックの始めから再生し直します。現在再生中のチャプター/トラックより前のチャプター/トラックに戻ることはできません。
- ランダム再生とリピート再生を同時に行うことはできません。

■ 通常の再生に戻すには

「ランダムオフ」を選び、ENTERボタンを押す

- CLEAR（クリア）ボタンを押して通常再生に戻すこともできます。

■ ランダム再生をリモコンのRANDOM（ランダム）ボタンで操作する DVD VCD CD MP3

1

RANDOM（ランダム）ボタンを押す

押すごとにランダム再生の種類が切り換わります。

ディスクにより選択できるランダム再生の種類が異なります。下記を参考にランダム再生の種類を選択してください。

DVDビデオ　：ランダムタイトル（タイトルを順不同に再生します。）
ランダムチャプター（チャプターを順不同に再生します。）

DVDオーディオ　：ランダムグループ（グループを順不同に再生します。）
ランダムトラック（トラックを順不同に再生します。）

MP3、CD、ビデオCD：オンまたはオフ

- スーパーオーディオCD、DVD-RWでのランダム再生はできません。
- ビデオCDのPBC再生中、メニュー画面を表示中のDVDはランダム再生することはできません。（「PBC再生を解除して再生するときは」☞49ページ）

ヒント

- ランダム再生中に▶▶❙ボタンを押すと、順不同に次のチャプター/トラックを選んで再生します。また、❙◀◀ボタンを押すと、現在再生中のチャプター/トラックの始めから再生し直します。現在再生中のチャプター/トラックより前のチャプター/トラックに戻ることはできません。
- ランダム再生とリピート再生を同時に行うことはできません。

■ 通常の再生に戻すには

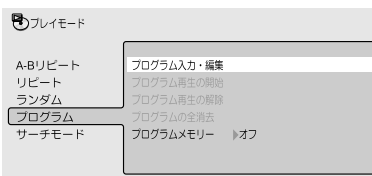
CLEAR（クリア）ボタンを押す

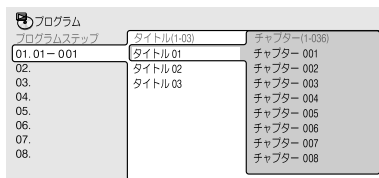
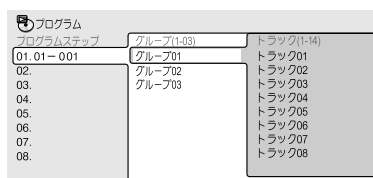
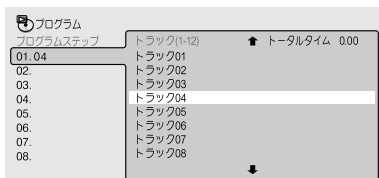
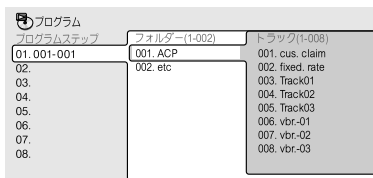
プレイモードを使ってのいろいろな再生

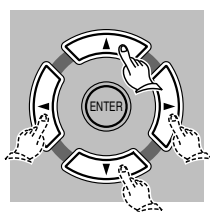
■ プログラム再生（タイトル/チャプター、グループ/トラック、フォルダーなどを希望の順に並べ換えて再生する） DVD VCD CD スーパーオーディオCD MP3

プレイモード画面を表示させ、「プログラム」を選択してください。

1

「プログラム入力・編集」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す。またはリモコンのPROGRAM（プログラム）ボタンを押す

プログラム入力画面が表示されます。
プログラム入力画面はセットしているディスクの種類により異なります。

● DVDビデオの場合

● DVDオーディオの場合

● スーパーオーディオCD、CD、ビデオCDの場合

● MP3の場合

ここではDVDビデオの場合を例にプログラムの設定方法を説明しています。他のディスクの場合も同様の方法で設定します。

2

▲/▼/◀/▶ボタンで希望のタイトルを選び、ENTERボタンを押す

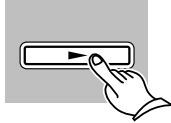
タイトルの中に入っているチャプターを選ぶ場合は、▶ボタンでカーソルをチャプターの項に移動し、▲/▼ボタンで希望のチャプターを選び、ENTERボタンを押します。

● 選んだタイトル及びチャプターがプログラムステップの項に表示されます。

3

手順*2*をくり返し、希望のタイトルまたはチャプターをプログラムする

最大24ステップまでプログラムすることができます。

4

▶ボタンを押してプログラム再生を始める

プログラム再生しないでプログラム画面を終了するには、PLAY MODEボタン、SETUPボタンまたはPROGRAMボタンを押します。
(RETURNボタンを押すと、プログラムが消去されますのでご注意ください。)

- プログラム再生中に▶▶❙ボタンを押すと、次のプログラムステップに移り再生を始めます。
- プログラム再生中(テレビ画面に設定内容を表示していない場合)にCLEARボタンを押すとプログラム再生は取り消され通常の再生に戻ります。停止状態でCLEARボタンを押すと、プログラム内容も消去されます。
- ビデオCDのPBC再生中、メニュー画面を表示中のDVDはプログラム再生できません。
- DVD-RWでのプログラム再生はできません。

■ ステップの間にプログラムを追加するには DVD VCD CD スーパーオーディオCD MP3

プレイモード画面を表示させ、「プログラム」を選択してください。

例：プログラムステップ02の前にタイトル1のチャプター7を追加するには

1

▲/▼ボタンで「プログラム入力・編集」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

すでにプログラムされているプログラム画面が表示されます。

プログラム
プログラムステップ　タイトル(1-03)　チャプター(1-036)
01. 01　タイトル 01　チャプター 001
02.　タイトル 02　チャプター 002
03.　タイトル 03　チャプター 003
04.　チャプター 004
05.　チャプター 005
06.　チャプター 006
07.　チャプター 007
08.　チャプター 008

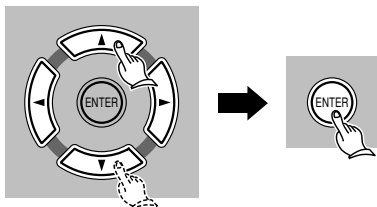
2

▲/▼ボタンでカーソルをプログラムステップ02に合わせる

3

▲/▼ボタンでタイトル1のチャプター7を選び、ENTERボタンを押す

プログラムステップ02にタイトル1のチャプター7が追加されます。もともとプログラムステップ02にあったプログラムは追加したプログラムの後ろに移動します。

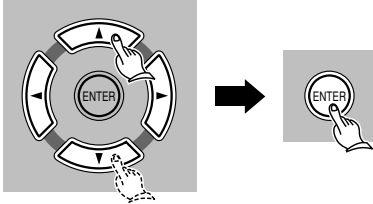
■ プログラムをプログラムステップの最後に追加するには

上記「ステップの間にプログラムを追加するには」の手順*1*を行った後、▲/▼ボタンでカーソルを最後のプログラムの後に移動し、希望のタイトル/チャプターを選び、ENTERボタンを押す

選んだタイトル/チャプターがプログラムの最後に追加されます。

■ プログラムを消去するには DVD VCD CD スーパーオーディオCD MP3

プレイモード画面を表示させ、「プログラム」を選択してください。

例：プログラムステップ02を消去する

1

▲/▼ボタンで「プログラム入力・編集」を選び、ENTERボタンを押す

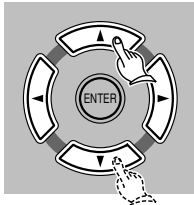
すでにプログラムされているプログラム画面が表示されます。

プログラム

プログラムステップ	タイトル(1-03)	チャプター(1-036)
01. 01	タイトル 01	チャプター 001
02.	タイトル 02	チャプター 002
03.	タイトル 03	チャプター 003
04.		チャプター 004
05.		チャプター 005
06.		チャプター 006
07.		チャプター 007
08.		チャプター 008

2

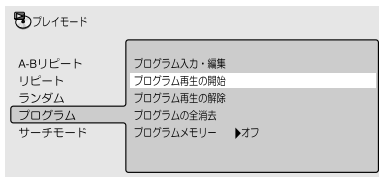
▲/▼ボタンでカーソルをプログラムステップ02に合わせる

3

CLEARボタンを押す

プログラムステップ02のプログラムが消去され、その後にあったプログラムが1つ前にくり上がります。

- プログラム画面を表示させないで再生するには、PLAY MODEボタンまたはSETUPボタンを押して画面を消してください。
- プログラム中にプログラムを変更したい場合は、RETURNボタンを押します。1つ前のプログラム画面に戻ります。

■ プログラムメニューのその他の機能

プレイモード画面を表示させ、「プログラム」を選択してください。

プログラム入力・編集
プログラム再生(☞58ページ)参照

プログラム再生の開始
プログラム再生を始めます。

プログラム再生の解除
通常の再生に戻ります。
プログラム内容はそのまま残ります。

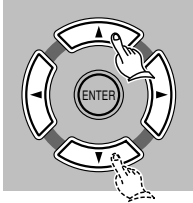
プログラムの全消去
プログラムされている内容をすべて消去します。

プログラムメモリー（DVDビデオのみ）
「オン」のときはディスクがセットされていれば、プログラム内容を記憶します。解除するときは、「オフ」にします。

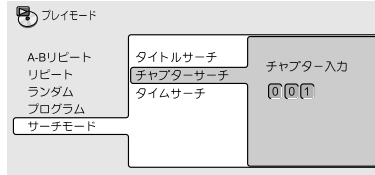
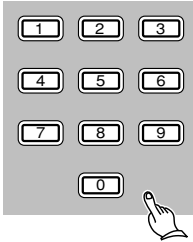
- ディスクを取り出してもプログラムした内容を記憶しておくことができます。プログラムメモリーしたディスクを再生すると、自動的にプログラムされている順に再生を開始します。
- 最大24枚まで記憶させることができます。24枚を超えると、古い記憶から消去されます。

■ サーチモード（見たい場面などを探して再生する） DVD VCD CD スーパーオーディオCD MP3

プレイモード画面を表示させ、「サーチモード」を選択してください。

1

▲/▼ボタンでサーチモードの種類を選ぶ

使用しているディスクによりサーチできる種類が異なります。

タイトルサーチ　：タイトルを指定して再生します。（DVDビデオ）
チャプターサーチ：チャプターを指定して再生します。（DVDビデオ）
トラックサーチ　：トラックを指定して再生します。
（DVDオーディオ、ビデオCD、スーパーオーディオCD、音楽用CD、MP3）
タイムサーチ　：時間を指定して再生します。（DVDビデオ、ビデオCD）
フォルダーサーチ：フォルダーを指定して再生します。（MP3）
グループサーチ　：グループを指定して再生します。（DVDオーディオ）

2

数字ボタンで再生したいタイトル、グループ、チャプター、フォルダー、トラックまたは時間を入力する

3

ENTER（エンター）ボタンを押す

指定したタイトル、グループ、チャプター、フォルダー、トラックまたは時間から再生が始まります。

ご注意

- タイムサーチはDVDビデオ、ビデオCDのみに働きます。
- 再生中のみタイムサーチ機能を使うことができます。
- ビデオCDのPBC再生中は、タイムサーチできません。
- ディスクメニューから見たい場面を探すことができるディスクもあります。（☞50ページ）

字幕言語、音声言語、音声チャンネルを切り換える

■ 字幕言語を切り換える DVD-V

複数の言語で字幕が記録されているDVDでは、表示する字幕を変更することができます。

1

再生中にSUBTITLE（サブタイトル）ボタンをくり返し押して、希望の字幕言語を選ぶ

字幕　1　日本語

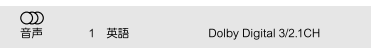
- DVDビデオの中にはディスクメニューからサブタイトルを選ぶディスクもあります。このような場合は、TOP（トップ） MENU（メニュー）ボタンを押してください。
- 字幕言語については初期設定「字幕言語を設定する」(☞82ページ）をご覧ください。
- 右の画面が表示されている間に、▲/▼ボタンで希望の字幕言語を選び、ENTER（エンター）ボタンを押して決定することもできます。

■ DVDビデオの音声を切り換える DVD-V

複数の言語で音声が記録されているDVDでは、再生する音声言語を切り換えることができます。

1

再生中にAUDIO（オーディオ）ボタンをくり返し押して、希望の音声言語を選ぶ

音声　1　英語　Dolby Digital 3/2.1CH

- DVDビデオの中にはディスクメニューから音声言語を選ぶディスクもあります。このような場合は、TOP（トップ） MENU（メニュー）ボタンを押してください。
- 音声言語については「音声言語を設定する」(☞82ページ）をご覧ください。
- 右の画面が表示されている間に、▲/▼ボタンで希望の字幕言語を選び、ENTERボタンを押して決定することもできます。

■ DVD-RWの音声チャンネルを切り換える

モノラル音声がL/Rに記録されているDVD-RWでは、L(左)、R(右)、L+R（左+右）に音声チャンネルを切り換えることができます。

再生中にAUDIO（オーディオ）ボタンをくり返し押して、L(左)、R(右)、L+R（左+右）を選ぶ

■ DVDオーディオの音声チャンネルを切り換える DVD-A

複数の音声チャンネルが記録されているDVDオーディオでは、再生する音声チャンネルを切り換えることができます。

再生中にAUDIOボタンをくり返し押して、画面に表示されている中から希望の音声チャンネルを選ぶ

- DVDオーディオの中にはディスクメニューから音声チャンネルを選ぶディスクもあります。このような場合は、TOP（トップ） MENU（メニュー）ボタンを押してください。
- 音声チャンネルについては「音声言語を設定する」(☞82ページ）をご覧ください。

■ CD、MP3、ビデオCDの音声チャンネルを切り換える VCD CD MP3

L(左)、R(右)、L+R（ステレオ）が記録されているCD、MP3、ビデオCDでは、L(左)、R(右)、L+R（ステレオ）に音声チャンネルを切り換えることができます。

- CDでは再生中にのみ音声チャンネル切り換えることができます。

AUDIOボタンをくり返し押して、L(左)、R(右)、L+R（ステレオ）を選ぶ

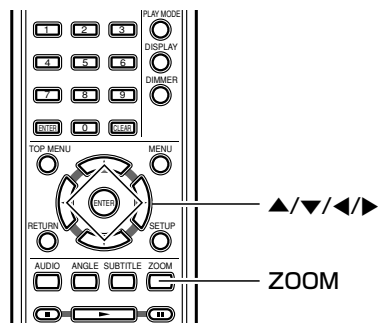
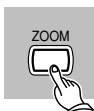
音声　ステレオ

DV-SP205(64-77)(SN29343466)　65　03.2.19, 1:39 PM
ブラック

ズーム機能を使う

■ 画面をズーム（拡大）するには DVD VCD

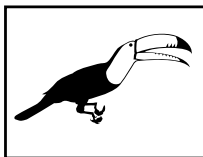
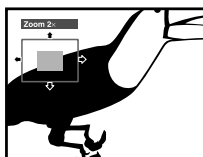
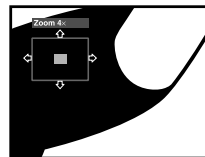
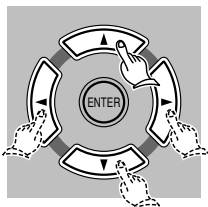
DVDビデオ、DVDオーディオ、ビデオCDでは、一時停止中に好みの部分をズーム（拡大）することができます。

1

一時停止中にZOOM（ズーム）ボタンを押して、画面をズーム（拡大）する

ボタンを押すたびに下記のように切り換わります。

→ 2×（2倍）→ 4×（4倍）→ 標準 →

- 再生中にZOOMボタンを押すと、一時停止状態になります。

標準

2×（2倍）

4×（4倍）

2

▲/▼/◀/▶ボタンでカーソルを好みの場所に移動する

- 画面上部に黒い帯が出た場合は、もう一度ZOOMボタンを押してください。
- ズーム画面でのコマ送りをすることもできます。（ズーム画面のスロー再生はできません。）

ご注意

- ズーム機能は映像出力がインターレースのときのみ働きます。プログレッシブになっているときはPRGSV（プログレッシブ）ボタンでプログレッシブを解除してください。
- ディスクによっては画質が悪くなる場合がありますが、故障ではありません。

通常再生に戻すには

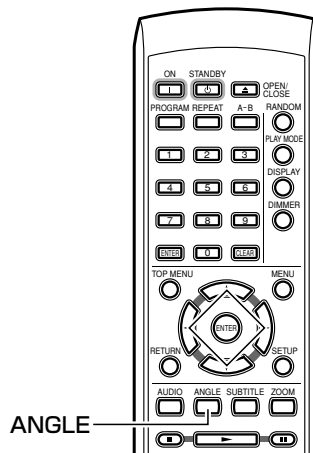
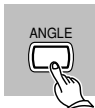
▶（プレイ）ボタンを押します。

カメラアングルを切り換える

■ カメラアングルを切り換えるには DVD

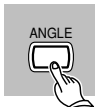
複数の方向（アングル）から映した映像を収録したDVDは、再生中にアングルを切り換えることができます。複数のアングルが収録されたDVDのジャケットには🎥マークが付いています。

ANGLE

1

🎥マークが表示されたら、ANGLE（アングル）ボタンを押す

複数のアングルが収録されている場所にくると、🎥マークがテレビ画面に表示されます。

🎥 アングル	現在/総数 2/4

2

さらにANGLEボタンを押して、お好みのアングルを選ぶ

押すたびに、アングルが切り換わります。

テレビ画面上の🎥マークを消すには

🎥マークを表示させたくないときは、初期設定画面の「アングルマーク表示」を「オフ」にします（☞86ページ）。

- ディスクによっては🎥マークが表示されてもアングルを切り換えることができないものがあります。
- 一時停止中にアングルを切り換えると、一時停止は解除されます。
- 一部のDVDでは、ディスクのメニュー画面でもアングルを切り換えることができます。

ディスクの情報を見る

■ 再生中にディスクの情報を見る DVD VCD CD スーパーオーディオCD MP3

DVDビデオのタイトル/チャプター情報、DVDオーディオのグループ/トラック情報、スーパーオーディオCD/ビデオCD/CDのトラック情報、またはMP3のフォルダー/トラック情報を見ることができます。停止中にはトータル情報が表示され、再生中にはより細かなディスク情報が見られます。表示される情報の内容はディスクの種類（DVD、スーパーオーディオCD、ビデオCD、 CD、およびMP3）によって異なります。

再生中にDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押す

ボタンを押すごとに以下のようなディスク情報が表示されます。

DVDビデオの情報を見る

再生	▶ DVD			
	現在 / 総数	経過時間	残り時間	総時間
タイトル	1/3	2.23	138.36	138.59
音声 1 英語 Dolby Digital 3/2.1CH	字幕 1 日本語		アングル 1	

再生	▶ DVD			
	現在 / 総数	経過時間	残り時間	総時間
チャプター	2/36	0.06	1.40	1.46
# 転送レート : ▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮				6.0Mbps

ポーズ	▮▮ DVD			
	現在 / 総数	経過時間	残り時間	総時間
チャプター	2/36	0.06 15	1.40	1.46
転送レート : ▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮				6.0Mbps

DVDオーディオの情報を見る

再生	▶ DVD-Audio			
	現在 / 総数	経過時間	残り時間	総時間
トラック	1/14	3.20	2.41	6.01
音声 1 PPCM 96kHz 24bit 3/2CH	字幕 - -		アングル 1	

再生	▶ DVD -Audio			
	現在 / 総数	経過時間	残り時間	総時間
グループ	1/3	3.21	53.20	56.41
転送レート : ▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮				9.5Mbps

一時停止	▮▮ DVD-Audio			
	現在 / 総数	経過時間	残り時間	総時間
トラック	1/14	3.20	2.41	6.01
音声 1	字幕 - -		アングル 1	

スーパーオーディオCDの情報を見る

再生	▶ SACD			
	現在 / 総数	経過時間	残り時間	総時間
トラック	1/9	0.22	3.38	4.00

再生	▶ SACD			
	現在 / 総数	経過時間	残り時間	総時間
トラック	1/9	0.22	3.38	4.00
音声	3/2.1CH			

再生	▶ SACD		
	経過時間	残り時間	総時間
ディスク	0.24	40.07	40.31

CD、ビデオCDの情報を見る

再生	▶ VCD		
	経過時間	残り時間	総時間
ディスク	0.23	58.51	57.14

再生	▶ VCD			
	現在 / 総数	経過時間	残り時間	総時間
トラック	2/16	0.23	4.20	4.43

MP3の情報を見る

再生	▶ MP3			
	現在 / 総数	経過時間	残り時間	総時間
トラック	1/17	0.18	12.42	13.00
トラックネーム Outernational				

再生	▶ MP3
	現在 / 総数
フォルダー	2/7
フォルダーネーム ACP	

システム接続時の操作について

■ MDやCDRに録音する CD

本機からMDレコーダーやCDレコーダーへはシグナルシンクロ録音での録音ができます。
オンキヨー製INTEC205シリーズのMDレコーダー（MD-105TX/105X）やCDレコーダー（CDR-205X/205TX）とRIケーブル、オーディオ用ピンコードを接続していてもCD DUBBING（ダビング）や、シンクロ録音はできません。
※他社製品の録音機器への録音については、他社製品の録音機器の取扱説明書をご覧ください。

シグナルシンクロ録音

1

本機にCDをセットする
（DVDの音源をデジタル信号のまま録音することはできません）

2

録音機器を準備する
録音機器の●REC（レック）（録音）ボタンを押し、録音待機状態にします。

3

再度●REC（レック）（録音）ボタンを押して、シグナルシンクロ録音待機状態にする
「Signal（シグナル） Wait（ウエイト）」表示が点滅します。

4

本機の再生を始める
録音したいトラックを再生します。
本機の信号が録音機器に入ると自動的に録音が始まります。

録音を終了するには

MDレコーダーで録音する場合や、CDレコーダーでアナログ録音する場合は、本機の再生が終わってしばらくすると自動的に録音が終了します。
CDレコーダーでデジタル録音する場合や、本機の再生が終わってからすぐに録音を終了するには、再生終了後に録音機器の■（停止）ボタンを押します。

ご注意

- デジタル入力録音をするときは、本機のデジタル出力を「オン」に設定してください。（☞79ページ）
- アナログ入力録音をするときは、本機の音声出力モードを「2チャンネル」に設定してください。（☞96ページ）

システム接続時の操作について

■ スピーカーレベルの調整について

本機とR-805TX、ED-205を接続しているときは、スピーカーレベルの調整はED-205側で行ってください。スピーカーレベルの調整のしかたについては、ED-205の取扱説明書12、13ページ「サラウンドを楽しむ前に」の項をご覧ください。
また、本機の初期設定画面の「初期設定」→「スピーカー」→「チャンネルレベル」は「固定」にしておいてください。（☞99ページ）（お買い上げ時の設定は「固定」です。）

■ タイマー演奏する CD

R-805TX（またはA-905TXとT-405TXの組み合わせ）とシステム接続すると、タイマー演奏ができます。タイマーのセット方法は、R-805TXまたはT-405TXの取扱説明書をご覧ください。

1 音楽用CDをセットする

2 R-805TXまたはT-405TXのタイマーを設定する

- 本機は必ず常時通電しているコンセントに接続してください。A-905TX背面の電源コンセントに接続するときは、A-905TXの主電源スイッチ（POWER）を切らないでください。
- タイマー演奏には音楽用CDをお使いください。DVDビデオやビデオCDでは、正しく再生できない場合があります。
- DVDビデオ、ビデオCD、MP3では、正しくタイマー演奏できないことがあります。
- R-805TXのエナジーセーブが働いているときは、タイマーは働きません。

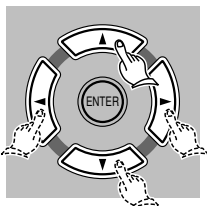
音声の設定

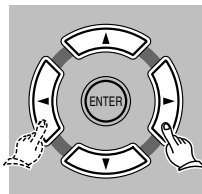
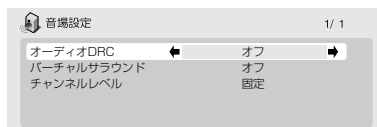
■ ダイナミックレンジを調整する（オーディオDRC）

オーディオDRC（ダイナミックレンジコントロール）を切り換えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生することができます。例えば、映画の台詞などが聞きづらいときや、深夜に映画を見るようなときに効果があります。

- オーディオDRCはドルビーデジタル音声にのみ働きます。

SETUP（セットアップ）ボタンを押して、設定画面を表示させる

2

▲/▼/◀/▶ボタンで「音場設定」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

3

◀/▶ボタンで「オン」または「オフ」を選び、ENTERボタンを押す

オン ：爆発音などの大音量を抑え、台詞などが聞きやすくなります。
オフ ：オーディオDRCを解除します。

ヒント

- オーディオDRCはデジタル音声出力端子から出力される音声にも効果があります。ただし、デジタル音声出力の「デジタル出力」(☞79ページ)を「オン」に設定して、さらに「ドルビーデジタル出力」(☞79ページ)を「DDDigital>PCM」に設定してください。
- オーディオDRCの効果はご使用になっているスピーカーやAVアンプなどの設定によって変わります。

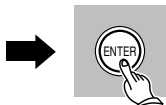
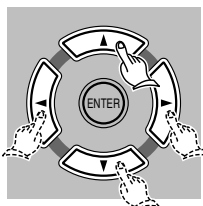
音声の設定

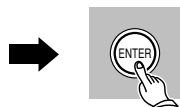
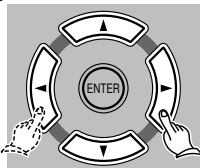
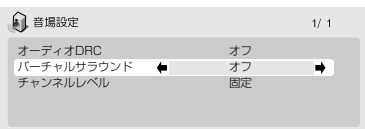
■ バーチャルサラウンドを使う（仮想立体音場）

バーチャルサラウンドとは2つの前面スピーカーのみで臨場感のあるサラウンド効果を楽しむことができる機能です。特にドルビーデジタル音声を再生しているときは、SRS社のSRS TruSurround技術により、より広がりのある立体音場（3Dサラウンド）が実現されます。

1

SETUPボタンを押して、設定画面を表示させる

2

▲/▼/◀/▶ボタンで「音場設定」を選び、ENTERボタンを押す

3

◀/▶ボタンで「(●)V/TruSurround」または「オフ」を選び、ENTERボタンを押す

本体またはリモコンのSURROUNDボタンで操作する

SURROUNDボタンを押して、「(●)V/TruSurround」または「オフ」を選びます。

(●)V/TruSurround：立体音場になります。
オフ：通常の再生になります。（お買い上げ時の設定）

ご注意

「(●)V/TruSurround」を選んでいても効果のないディスクを再生しているときは、この機能は働きません。表示部の（●）インジケーターは点灯しません。

ご注意

- 音声出力モードを「2チャンネル」に設定してください。（☞96ページ）
- DVDオーディオ、スーパーオーディオCD、MP3、CDまたはPCM96kHz音声には効果がありません。
- ディスクによってはサラウンド効果の少ないものもあります。
- 本機から録音機器に録音するときに「(●)V/TruSurround」を選ぶと、バーチャルサラウンド効果のある音声で録音できます。

■ スピーカーの出力レベルを調整する（チャンネルレベル）

本機のANALOG（アナログ） OUTPUT（アウトプット） 5.1CH（チャンネル）端子にAVアンプを接続しているときに設定します。

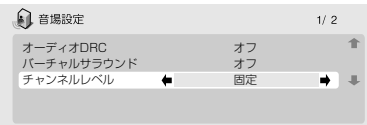
1

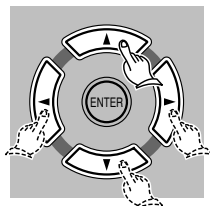
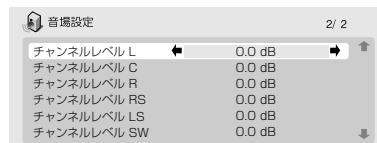
SETUP（セットアップ）ボタンを押して、設定画面を表示させる

2

▲/▼/◀/▶ボタンで「音場設定」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

3

◀/▶ボタンでチャンネルレベルの「固定」または「可変」を選び、ENTERボタンを押す

固定 ：スピーカーの出力レベルが固定されます。（お買い上げ時の設定）
可変 ：スピーカーの出力レベルを調整できます。

ここで「可変」を選んだ場合は、▼ボタンを押して次の手順に進みます。

▲/▼ボタンで設定するスピーカーを選び、◀/▶ボタンで出力レベルを調整する

● チャンネルレベルは－6dB～6dBの範囲で0.5dB単位で変更することができます。

5

ENTER（エンター）ボタンを押す

チャンネルレベルの設定が終了し、音場設定画面が消えます。

ヒント

● 設定画面では、スピーカーの種類を次のように表示しています。
L：フロント（左）C：センター　R：フロント（右）　RS：サラウンド（右）
LS：サラウンド（左）SW：サブウーファー

ご注意

●「スピーカー設定」で「オフ」を選んでいるときは、スピーカーのチャンネルレベルを設定することはできません。
●「固定」の場合は、すべてのチャンネルが＋6dBに固定されます。そのため、「可変」で設定したチャンネルレベルは、ほとんどの場合「固定」のチャンネルレベルよりも出力レベルが小さくなります。

映像の設定

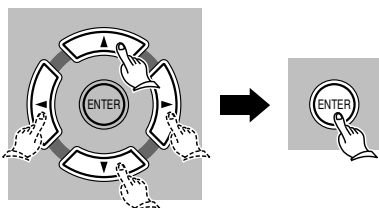
■ 画質の調整

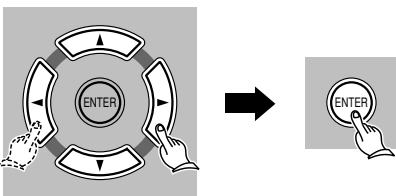
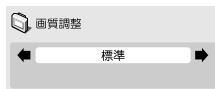
映像（映画、アニメなど）に合わせた画質を選ぶことができます。また画質をお好みに調整して記憶することもできます。

あらかじめ設定されている画質を選ぶ

1

SETUP（セットアップ）ボタンを押して、設定画面を表示させる

2

▲/▼/◀/▶ボタンで「画質調整」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

3

◀ / ▶ ボタンで好みの画質を選び、ENTERボタンを押す

標準 ：ディスクに記録されているそのままの画質です。
インターレースメモリー1または2 ：インターレースメモリーで設定した画質です。
プログレッシブメモリー1または2 ：プログレッシブメモリーで設定した画質です。

4

ENTERボタンを押す

画質調整が終了し、画質調整画面が消えます。

ディスクやテレビ（モニター）によっては、効果がはっきりしないことがあります。

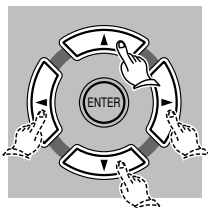
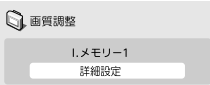
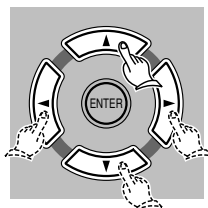
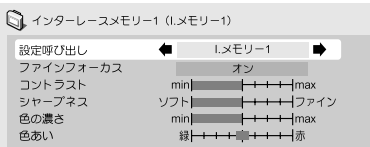
■ 画質を調整する（インターレース出力の場合）

映像出力がインターレースに設定されている場合の画質の調整です。

リモコンのPRGSVボタンを押して、映像出力のインターレースとプログレッシブを切り換えることができます。

好みの画質に調整する

1 **前ページの「あらかじめ設定されている画質を選ぶ」の手順*1*、*2*を操作する**

2

◀/▶ボタンで「インターレースメモリー1または2」を選び、▼ボタンで「詳細設定」を選択し、ENTERボタンを押す

3

▲/▼ボタンで調整する項目を選び、◀/▶ボタンでレベルを調整する

- DISPLAYボタンを押すと、項目が1行表示になります。押すたびに全画面表示と1行表示が切り換わります。
- 「設定呼び出し」を選び、プリセットナンバーを変更することもできます。

ファインフォーカス：「オン」に設定するとくっきりとした高解像度の映像になります。

コントラスト： 最も明るい部分と最も暗い部分の明るさの比率を調整します。

シャープネス： 中域の周波数に対して画像の鮮明度を調整します。「ファインフォーカス」を「オフ」に設定しているときには効果ありません。

色の濃さ：色の濃さを調整します。

色あい：緑色と赤色のバランスを調整します。
（本機がVIDEO OUTPUT端子またはS VIDEO OUTPUT端子に接続されているときのみに効果があります。）

4

ENTERボタンを押す

画質調整が終了し、画質調整画面が消えます。

- 必ずENTERボタンを押してください。ENTERボタンを押さないと設定が記憶されません。

DV-SP205(64-77)(SN29343466) 76 03.2.19, 1:40 PM
ブラック

■ 画質を調整する（プログレッシブ出力の場合）

映像出力がプログレッシブに設定されている場合の画質の調整です。

リモコンのPRGSV（プログレッシブ）ボタンを押して、映像出力のインターレースとプログレッシブを切り換えることができます。

好みの画質に調整する

1 前ページの「好みの画質に調整する」の手順*2*で「プログレッシブメモリー1または2」を選択し、▼ボタンで「詳細設定」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

2

▲/▼ボタンで調整する項目を選び、◀/▶ボタンでレベルを調整する

- DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押すと、項目が1行表示になります。押すたびに全画面表示と1行表示が切り換わります。
- 「設定呼び出し」を選び、プリセットナンバーを変更することもできます。

ピュアシネマ： DVDの再生に最適な設定にします。通常は「オート」にします。映像が不自然な場合は「オン」または「オフ」に切り換えてください。

シャープネス： 中域の周波数に対して画像の鮮明度を調整します。

コントラスト： 最も明るい部分と最も暗い部分の明るさの比率を調整します。

ブライトネス： 総合的な明るさを調整します。

色の濃さ： 色の濃さを調整します。

色あい： 緑色と赤色のバランスを調整します。

3

ENTERボタンを押す

画質設定が終了し、設定画面が消えます。

- 必ずENTERボタンを押してください。ENTERボタンを押さないと設定が記憶されません。

DVDビデオの映像信号には「ビデオ素材」といわれる映像情報を30コマ/秒で記録した信号と「フィルム素材」といわれる映像情報を24コマ/秒で記録した信号の2種類があります。「ピュアシネマ」モードは、そのような24コマ/秒で記録された映像情報を60コマ/秒のプログレッシブ画面に変換する際に、ディスクに記録された処理情報をもとにオリジナルの映画フィルムに忠実な走査線の構成をします。それにより原画に近い鮮明な映像を楽しむことができます。

初期設定

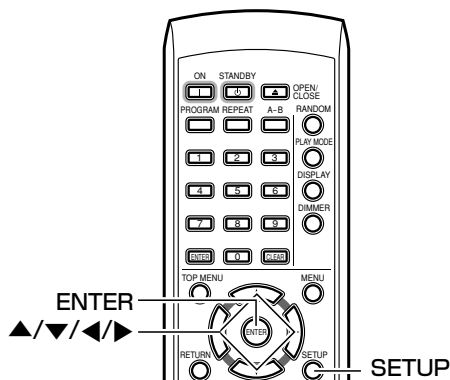
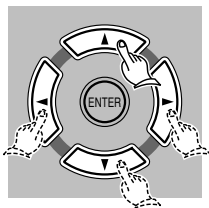
■ 初期設定画面の操作のしかた

初期設定画面では、言語、音声出力などをお好みの設定にすることができます。

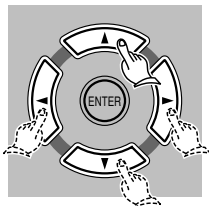
- 設定画面で変更できない項目は灰色で表示されます。
- 停止状態で操作してください。

1 SETUPボタンを押して、設定画面を表示させる

SETUP

音場設定
画質調整
プレイモード
ディスクナビゲーター
初期設定
セットアップナビゲーター

2 ▲/▼/◀/▶ボタンで「初期設定」を選び、ENTERボタンを押す

ENTER

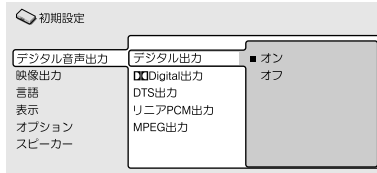
音場設定
画質調整
プレイモード
ディスクナビゲーター
初期設定
セットアップナビゲーター

3 ▲/▼/◀/▶ボタンで左側の設定項目を選び、右側の項目で設定し、ENTERボタンを押す

ENTER

■ デジタル音声出力の設定をする

本機に接続したAVアンプが対応しているデジタル信号の種類を選択することができます。お手持ちのAVアンプの取扱説明書もあわせてお読みください。初期設定画面の操作のしかたについては78ページをご覧ください。

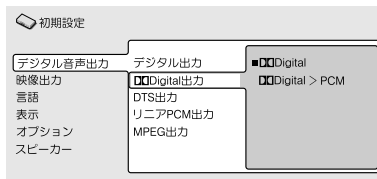
デジタル出力

接続したAVアンプがデジタル出力に対応しているときは、設定を「オン」にします。

オン：
本機後面のデジタル出力端子から音声を出力します。（お買い上げ時の設定）

オフ：
本機後面のデジタル出力端子からは音声は出力されません。

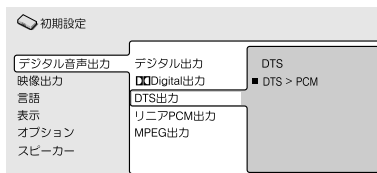
ご注意　スーパーオーディオCDではデジタル音声を出力することはできません。
DVDオーディオディスクによっては、音声出力モード（☞96ページ）を「2チャンネル」にすると2chにダウンミックスされたデジタル音声が出力されます。

ドルビーデジタル出力

接続したAVアンプがドルビーデジタルに対応していない場合は、設定を「Dolby Digital>PCM」にします。

Dolby Digital（ドルビーデジタル）：
ドルビーデジタルに対応しているAVアンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。（お買い上げ時の設定）

Dolby Digital>PCM：
Dolby Digital信号をリニアPCM信号に変換して出力します。ドルビーデジタルに対応していないAVアンプと接続したときに選びます。

DTS出力

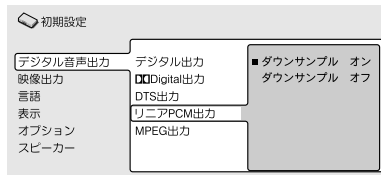
接続したAVアンプがDTS対応のときは、設定を「DTS」にします。

DTS：
DTS対応AVアンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。

DTS>PCM：
DTS信号をリニアPCM信号に変換して出力します。DTSに対応していないAVアンプと接続したときに選びます。（お買い上げ時の設定）

ご注意

- DTSに対応していないAVアンプに接続しているときに「DTS」を選ぶとノイズが発生することがあります。
- DTS CDでは、設定に関わらず常にDTS信号が出力されます。

リニアPCM出力

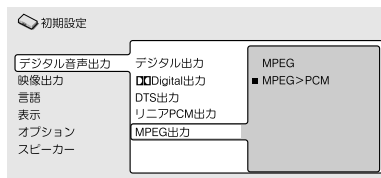
接続したAVアンプがリニアPCMに対応しているときは、設定を「ダウンサンプル オフ」にします。

ダウンサンプル オン：
各系統の音声周波数を48/44.1kHzにダウンサンプリングして出力します。96kHzに対応していないAVアンプと接続したときに選びます。（お買い上げ時の設定）

ダウンサンプル オフ：
96kHz対応AVアンプと接続したときに選びます。

ご注意

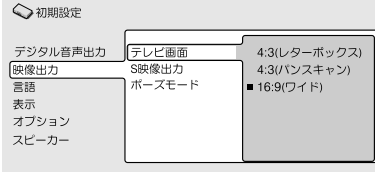
- ディスクによっては、「ダウンサンプル オフ」を選択していても48/44.1kHzに強制的に変換されたり、デジタル出力されないことがあります。
- DVDオーディオの192/176.4kHzサンプリング音声のときに、「ダウンサンプル オフ」を選択していてもデジタル出力は強制的に96/88.2kHzにダウンサンプルされます。

MPEG（エムペグ）出力

接続したAVアンプがMPEGマルチチャンネル対応のときは、設定を「MPEG」にします。

MPEG：
MPEGマルチチャンネルに対応しているAVアンプと接続したときに選びます。

MPEG＞PCM：
MPEG信号をリニアPCM信号に変換して出力します。MPEGに対応していないAVアンプと接続したときに選びます。（お買い上げ時の設定）

■ 映像出力の設定をする

テレビにあわせて映像の縦横比を選ぶ

本機に接続したテレビにあわせて設定します。ワイドテレビの場合は「16:9(ワイド)」に設定します。DVDの映画の多くは、ワイドテレビに対応しており、画面の比率(一般にアスペクト比と呼ばれています)が横16:縦9で記録されていますので、DVDを従来サイズのテレビで見ると、映像が横4:縦3となり縦長になってしまいます。このような見えかたをなくすために、従来サイズのテレビをお使いのときは、「4:3(レターボックス)」、または「4:3(パンスキャン)」に設定してください。この設定を再生中に変更することはできません。

4:3(レターボックス):

従来サイズのテレビと接続し、レターボックス方式で見たいときに選択します。

4:3(パンスキャン):

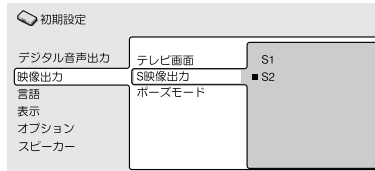
従来サイズのテレビと接続し、パンスキャン方式で見たいときに選択します。

16:9(ワイド):(お買い上げ時の設定)

ワイドテレビと接続したとき選択します。

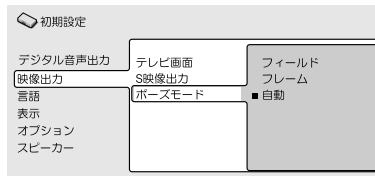
アスペクトの切り換えができるか、できないかはディスクによって異なります。
詳しくはディスクのジャケットなどで確認してください。

S映像出力を切り換える

S映像出力端子から出力される映像信号を切り換えることができます。本機とテレビをS映像端子でつないでいるとき、映像を横方向に引き伸ばしてしまうことがあります。このようなときは「S1」を選択してください。

S1:
S1映像信号が出力されます。

S2:
S2映像信号が出力されます。(お買い上げ時の設定)

静止画像を切り換える

DVDを一時停止したときの画像のブレをなくし、画像を鮮明に見ることができます。ディスクによっては「フィールド」を選択しても画質が鮮明にならないことがあります。

フィールド:
静止画状態のとき、画像のブレをなくします。

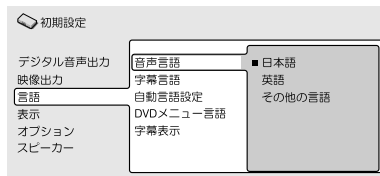
フレーム:
通常モードです。

自動:
フィールドとフレームを自動的に切り換えます。(お買い上げ時の設定)

■ 言語の設定をする

DVDの中には1枚のディスクに複数の字幕や音声を収録し、お客様が目的に合わせて好きなように選べる機能を持っているものがあります。ここでは初期設定画面の「言語」にあるさまざまな言語と字幕に関する設定を行います。初期設定画面の操作のしかたについては78ページをご覧ください。

音声言語を設定する

音声言語を選びます。

日本語：
音声言語が日本語になります。(お買い上げ時の設定)

英語：
音声言語が英語になります。

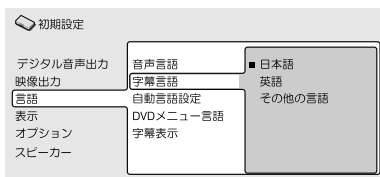
その他の言語：
136言語の中から任意の音声を選びます。詳しくは84ページの「字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で「その他の言語」を選んだとき」をご覧ください。

ご注意

- ディスクによっては、ディスクで決められている音声の言語になることがあります。
- ディスクによっては、音声の言語をディスクメニューで選択するものもあります。この場合はTOP MENU（トップ メニュー）ボタンを押して、ディスクメニューを表示させてから、音声の言語を選択してください。

再生中にAUDIO（オーディオ）ボタンで切り換えることもできます。ただし、設定内容を変更し記憶することはできません。

字幕言語を設定する

表示する字幕言語を選びます。

日本語：
日本語の字幕を表示します。(お買い上げ時の設定)

英語：
英語の字幕を表示します。

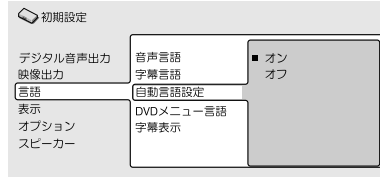
その他の言語：
136言語の中から任意の音声を選びます。詳しくは84ページの「字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で「その他の言語」を選んだとき」をご覧ください。

ご注意

- ディスクによっては、ディスクで決められている字幕の言語になることがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語をディスクメニューで選択するものもあります。この場合はTOP MENUボタンを押して、ディスクメニューを表示させてから、字幕の言語を選択してください。

DV-SP205(78-100)(SN29343466)　82　03.2.19, 1:41 PM
ブラック

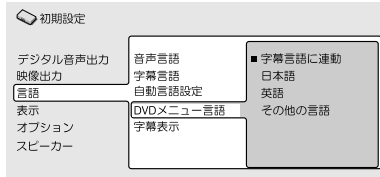
音声と字幕を自動的に設定する

音声と字幕を自動設定にするか、または初期設定で設定した音声/字幕にするかを選びます。

オン：
「音声言語」と「字幕言語」が同じとき、および字幕表示がオンのとき有効となります。一般の洋画DVDでは音声はオリジナル言語、字幕は日本語が選択され、邦画DVDでは音声は日本語、字幕はオフになります。ただし、ディスクによってはこのように動作しないものもあります。(お買い上げ時の設定)

オフ：
再生中の音声のオート設定が解除され、「音声言語」と「字幕言語」で設定している音声と字幕になります。

音声と字幕言語を再生中にAUDIO（オーディオ）ボタンまたはSUBTITLE（サブタイトル）ボタンで切り換えることもできます。

DVDのメニュー言語を設定する

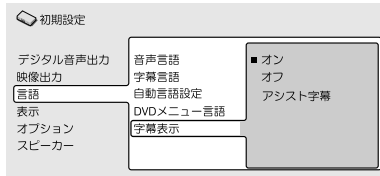
DVDの中にはメニューを持っているものがあります。そのメニューを表示するときの言語を選びます。

字幕言語に連動：
「字幕言語」で選択されている言語でメニュー画面が表示されます。（お買い上げ時の設定）

日本語：
日本語でメニュー画面が表示されます。

英語：
英語でメニュー画面が表示されます。

その他の言語：
136言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは84ページの「字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で「その他の言語」を選んだとき」をご覧ください。

字幕表示をオン/オフする

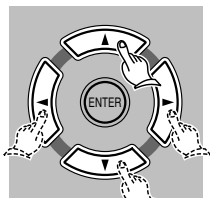
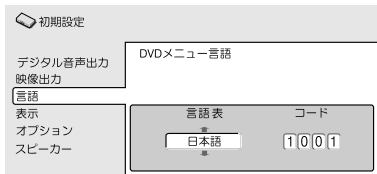
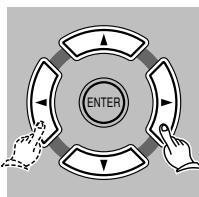
字幕を表示する、字幕を表示しない、またはアシスト字幕を表示するのいずれかを選びます。

オン：
字幕を表示します。（お買い上げ時の設定）

オフ：
字幕を表示しません。ただし、DVDの中には強制的に字幕を表示するものがあります。

アシスト字幕：
「アシスト字幕」は例えば、耳の不自由な方のために場面の状況を説明する字幕です。この項目を選ぶと、アシスト字幕を表示します。ただし、アシスト字幕はディスクに収録されている場合のみ表示します。

■ 字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語で「その他の言語」を選んだとき

85ページの言語コード表を見ながら操作します。DVDに記録されていない言語を設定したときは、記録されているいずれかのメニュー画面が表示されます。

1

「その他の言語」を選んで、ENTER（エンター）ボタンを押す

2

◀/▶ボタンで「言語表」または「コード」を選び、ENTERボタンを押す

「コード」で言語を選ぶとき

以下のいずれかの操作をします。

例　フランス語を選ぶ場合

- 数字ボタンの0、6、1、8を押す
- 1桁ごとに▲/▼ボタンを押して数字を選択する（◀/▶ボタンを押して桁を移動します）

「言語表」で言語を選ぶとき

例　フランス語を選ぶ場合

- ▲ボタンを2回押す

3

ENTERボタンを押す

言語コード表

言語名(言語コード)	入力コード
Japanese (ja)	1001
English (en)	0514
French (fr)	0618
German (de)	0405
Italian (it)	0920
Spanish (es)	0519
Chinese (zh)	2608
Dutch (nl)	1412
Portuguese (pt)	1620
Swedish (sv)	1922
Russian (ru)	1821
Korean (ko)	1115
Greek (el)	0512
Afar (aa)	0101
Abkhazian (ab)	0102
Afrikaans (af)	0106
Amharic (am)	0113
Arabic (ar)	0118
Assamese (as)	0119
Aymara (ay)	0125
Azerbaijani (az)	0126
Bashkir (ba)	0201
Byelorussian (be)	0205
Bulgarian (bg)	0207
Bihari (bh)	0208
Bislama (bi)	0209
Bengali (bn)	0214
Tibetan (bo)	0215
Breton (br)	0218
Catalan (ca)	0301
Corsican (co)	0315
Czech (cs)	0319
Welsh (cy)	0325
Danish (da)	0401
Bhutani (dz)	0426
Esperanto (eo)	0515
Estonian (et)	0520
Basque (eu)	0521
Persian (fa)	0601
Finnish (fi)	0609
Fiji (fj)	0610
Faroese (fo)	0615
Frisian (fy)	0625
Irish (ga)	0701
Scots-Gaelic (gd)	0704
Galician (gl)	0712
Guarani (gn)	0714

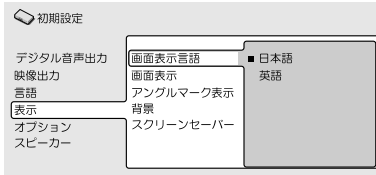
言語名(言語コード)	入力コード
Gujarati (gu)	0721
Hausa (ha)	0801
Hindi (hi)	0809
Croatian (hr)	0818
Hungarian (hu)	0821
Armenian (hy)	0825
Interlingua (ia)	0901
Interlingue (ie)	0905
Inupiak (ik)	0911
Indonesian (in)	0914
Icelandic (is)	0919
Hebrew (iw)	0923
Yiddish (ji)	1009
Javanese (jw)	1023
Georgian (ka)	1101
Kazakh (kk)	1111
Greenlandic (kl)	1112
Cambodian (km)	1113
Kannada (kn)	1114
Kashmiri (ks)	1119
Kurdish (ku)	1121
Kirghiz (ky)	1125
Latin (la)	1201
Lingala (ln)	1214
Laothian (lo)	1215
Lithuanian (lt)	1220
Latvian (lv)	1222
Malagasy (mg)	1307
Maori (mi)	1309
Macedonian (mk)	1311
Malayalam (ml)	1312
Mongolian (mn)	1314
Moldavian (mo)	1315
Marathi (mr)	1318
Malay (ms)	1319
Maltese (mt)	1320
Burmese (my)	1325
Nauru (na)	1401
Nepali (ne)	1405
Norwegian (no)	1415
Occitan (oc)	1503
Oromo (om)	1513
Oriya (or)	1518
Panjabi (pa)	1601
Polish (pl)	1612
Pashto, Pushto (ps)	1619
Quechua (qu)	1721

言語名(言語コード)	入力コード
Rhaeto-Romance (rm)	1813
Kirundi (rn)	1814
Romanian (ro)	1815
Kinyarwanda (rw)	1823
Sanskrit (sa)	1901
Sindhi (sd)	1904
Sangho (sg)	1907
Serbo-Croatian (sh)	1908
Sinhalese (si)	1909
Slovak (sk)	1911
Slovenian (sl)	1912
Samoan (sm)	1913
Shona (sn)	1914
Somali (so)	1915
Albanian (sq)	1917
Serbian (sr)	1918
Siswati (ss)	1919
Sesotho (st)	1920
Sundanese (su)	1921
Swahili (sw)	1923
Tamil (ta)	2001
Telugu (te)	2005
Tajik (tg)	2007
Thai (th)	2008
Tigrinya (ti)	2009
Turkmen (tk)	2011
Tagalog (tl)	2012
Setswana (tn)	2014
Tonga (to)	2015
Turkish (tr)	2018
Tsonga (ts)	2019
Tatar (tt)	2020
Twi (tw)	2023
Ukrainian (uk)	2111
Urdu (ur)	2118
Uzbek (uz)	2126
Vietnamese (vi)	2209
Volapük (vo)	2215
Wolof (wo)	2315
Xhosa (xh)	2408
Yoruba (yo)	2515
Zulu (zu)	2621

初期設定

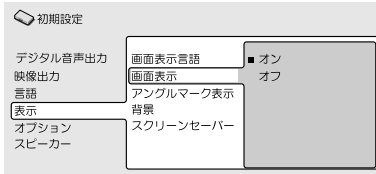
■ 画面表示の設定

画面に表示される言語を切り換える

画面に表示される言語を日本語と英語に切り換えることができます。

日本語：
画面に表示される言語が日本語になります。（お買い上げ時の設定）

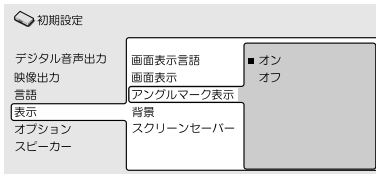
英語：
画面に表示される言語が英語になります。

画面に操作表示を「出す」「出さない」を切り換える

画面に「再生」「停止」などの表示を「出す」「出さない」を切り換えることができます。

オン：
画面に操作表示を出します。（お買い上げ時の設定）

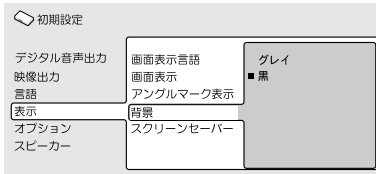
オフ：
画面に操作表示を出しません。

アングルマーク（）を表示する

再生中に画面に表示されるマークを表示させたくないとき設定を変更します。

オン：
画面にマークを表示します。（お買い上げ時の設定）

オフ：
画面にマークを表示しません。

背景を選ぶ

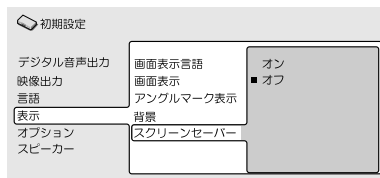
ディスクが停止しているときの画面の背景色を選びます。

グレイ：
灰色の背景色を表示します。（お買い上げ時の設定）

黒：
黒色の背景色を表示します。

ご注意

「グレイ」を選んだとき、テレビによっては画面にちらつきが出る場合があります。そのときは「黒」を選んでください。

スクリーンセーバーを設定する

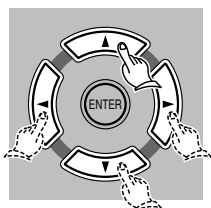
スクリーンセーバーは、一時停止中など同じ画像が長時間表示されるときの画像の焼き付き(残像現象)を防ぐための機能です。約5分同じ画像が表示されるとスクリーンセーバー機能が働きます。

オン：
スクリーンセーバー機能が働きます。(お買い上げ時の設定)

オフ：
スクリーンセーバー機能が働きません。

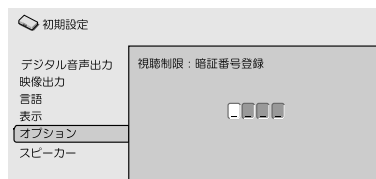
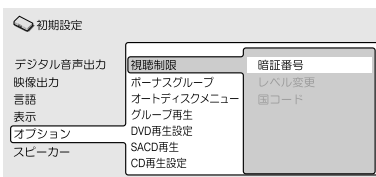
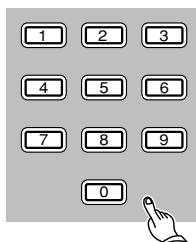
初期設定

■ 視聴制限をする（パレンタルロック）

暴力シーンなどを含むDVDビデオの中には、視聴制限のレベルを設けたものがあります（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます）。本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。例えば、本機のレベルを6に設定しておくと、レベル7のディスクは再生することができません。レベル7のディスクを再生するためには、あらかじめレベルを7以上に設定しておく必要があります。この視聴制限は国ごとに異なる規制レベルにしたがって働く機能です。国コードをあらかじめ設定しておくと、この「国ごとに異なる規制」が可能になります。初期設定画面の操作のしかたについては78ページをご覧ください。

暗証番号を登録する

▲/▼/◀/▶ボタンで「オプション」→「視聴制限」→「暗証番号」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

最初に暗証番号を登録します。暗証番号を登録していないと「レベル」、および「国コード」を選択することはできません。

「暗証番号登録」の画面が表示されます。

2

暗証番号を4桁で入力する

以下のいずれかの操作をします。

- **数字ボタンを押す**
- **▲/▼ボタンで1ケタごとに数字を選ぶ（◀/▶ボタンでケタを移動します）**

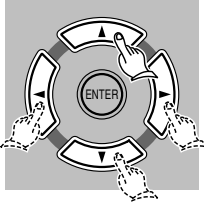
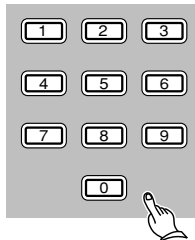
3

ENTERボタンを押す

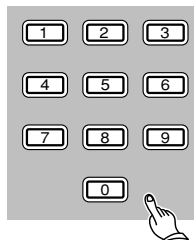
初期設定画面表示に戻ります。

- 暗証番号はメモしておくことをおすすめします。
- 暗証番号を忘れてしまったときは、お買い上げ時の設定に戻して（☞100ページ）、再度設定してください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生します。

暗証番号を変更するには

1 「暗証番号変更」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

暗証番号入力の画面が表示されます。

2 すでに登録している暗証番号を4桁で入力する

3 ENTERボタンを押す

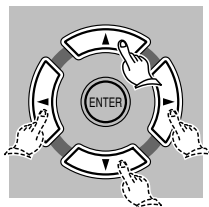
暗証番号変更の画面が表示されます。

4 新しい暗証番号を4桁で入力する

視聴制限のレベルが設定されます。

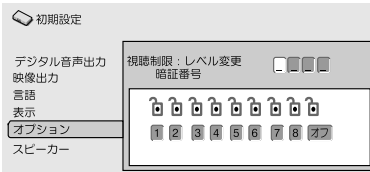
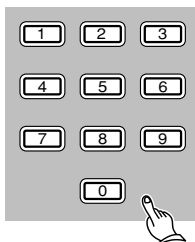
5 ENTERボタンを押す

暗証番号が変更されます。

レベルを変更する

1

「レベル」を選び、ENTERボタンを押す

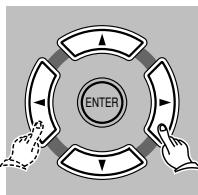
「暗証番号入力」の画面が表示されます。

2

すでに登録している暗証番号を4桁で入力する

3

ENTERボタンを押す

視聴制限レベルの設定画面が表示されます。お買い上げ時は「オフ」に設定されています。

4

◀/▶ボタンでレベルを選び、ENTERボタンを押す

視聴制限のレベルが設定されます。

視聴制限できるDVDを再生するには

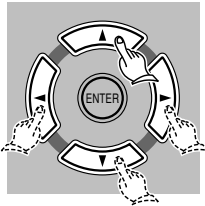
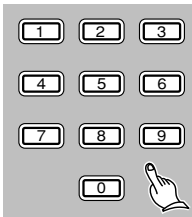
視聴制限されたディスクを再生すると暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。暗証番号を入力しないと再生することができません。以下の手順で操作します。

1 数字ボタンを押して、4桁の暗証番号を入力する

2 ENTERボタンを押す

国コードを変更する

次ページの国コード表を見ながら操作します。

1 「国コード」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

「暗証番号入力」の画面が表示されます。

2 すでに登録している暗証番号を4桁で入力する

3 ENTERボタンを押す

国コード設定画面が表示されます。

4 「国コード表」、または「コード」を選ぶ

（「コード」で国コードを選ぶとき）

以下のいずれかの操作をします。

例　日本を選ぶ場合

- 数字ボタンの1、0、1、6を押す
- ▲/▼ボタンを押して数字を選択する（◀/▶ボタンを押してケタを移動する）

（「国コード表」で国コードを選ぶとき）

例　日本を選ぶ場合

▼ボタンで「jp」を選ぶ

5 ENTERボタンを押す

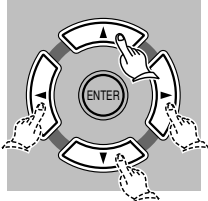
国コード表

	入力コード	国コード
アメリカ	2119	us
アルゼンチン	0118	ar
イギリス	0702	gb
イタリア	0920	it
インド	0914	in
インドネシア	0904	id
オーストラリア	0121	au
オーストリア	0120	at
オランダ	1412	nl
カナダ	0301	ca
韓国	1118	kr
シンガポール	1907	sg
スイス	0308	ch
スウェーデン	1905	se
スペイン	0519	es
タイ	2008	th
台湾	2023	tw
中国	0314	cn

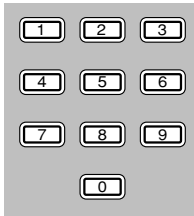
	入力コード	国コード
チリ	0312	cl
デンマーク	0411	dk
ドイツ	0405	de
日本	1016	jp
ニュージーランド	1426	nz
ノルウェー	1415	no
パキスタン	1611	pk
フィリピン	1608	ph
フィンランド	0609	fi
ブラジル	0218	br
フランス	0618	fr
ベルギー	0205	be
ポルトガル	1620	pt
香港	0811	hk
マレーシア	1325	my
メキシコ	1324	mx
ロシア	1821	ru

■ ボーナスグループ再生

DVDオーディオの中には、「ボーナスグループ」と呼ばれるグループを持つものがあります。このボーナスグループを再生しようしすると、4桁のキーナンバーの入力を求める画面が表示されます。キーナンバーは、ディスクのジャケットやパッケージでご確認ください。
再生するために、この設定であらかじめキーナンバーを入力しておくことができます。

1

▲/▼/◀/▶ボタンで「オプション」→「ボーナスグループ」を選び、ENTER(エンター)ボタンを押す

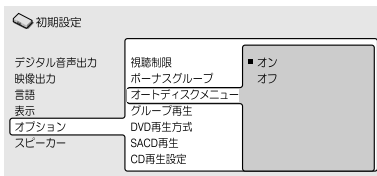
ENTER

2

数字ボタンで4桁の「キーナンバー」を入力し、ENTERボタンを押す

ご注意

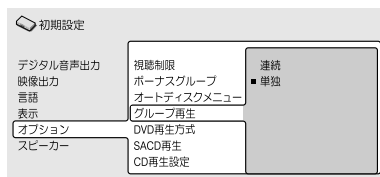
ディスクを取り出したり、電源を切ると、入力されたキーナンバーの記憶が消去されます。ボーナスグループを再生するときは、もう一度キーナンバーを入力してください。

■ オートディスクメニュー

ディスクをセットした後、自動的にメニュー画面を表示しないようにできます。

オン：
ディスクをセットするとメニュー画面が自動的に表示されます。
(お買い上げ時の設定)

オフ：
ディスクをセットしてもメニュー画面は表示されません。

■ グループ再生

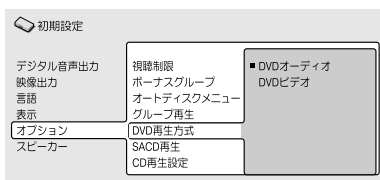
DVDオーディオのすべてのグループを続けて再生するか、1つのグループのみ再生するかを設定することができます。

連続：
すべてのグループを続けて再生します。

単独：
選択したグループのみ再生します。
（お買い上げ時の設定）

ヒント

- ディスクのメニュー画面からも再生したいグループだけを選択することができます。
- 再生したいグループを選ぶには、停止中に|◀◀ボタンを押します。テレビ画面に「サーチ」と「グループ」が表示されます。表示されている間に|◀◀ボタンまたは▶▶|ボタンでグループを選びます。
- 「単独」を選択しているとき、ディスクのメニュー画面からすべてのグループを再生する項目を選択しても、1つのグループのみを再生することがあります。
- 「グループ再生」の設定で「単独」を選択しているとき、|◀◀/▶▶|ボタンまたは◀◀/▶▶ボタンを使って、他のグループをまたいで早戻し/早送り、または頭出しすることはできません。グループサーチでグループを選択してください。（☞63ページ）
- 「連続」を選択していても、ディスクのメニュー画面から再生を始めたときは、すべてのグループを再生することができません。このようなときは、ディスクを停止してから再生を始めてください。

■ DVD再生方式

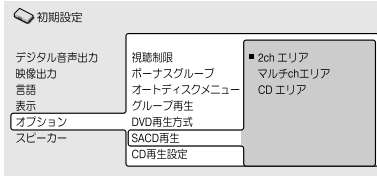
DVDオーディオには、DVDビデオのコンテンツが含まれているディスクがあります。本機は優先的にDVDオーディオを再生しますが、DVDビデオのコンテンツを再生したい場合に設定します。

DVDオーディオ：
DVDオーディオを再生するときに選択します。
（お買い上げ時の設定）

DVDビデオ：
DVDビデオのコンテンツを再生するときに選択します。

ご注意

「DVDビデオ」を選択していても、ディスクトレイを開けたり、電源を切ると「DVDオーディオ」（お買い上げ時の設定）に戻ります。

■ スーパーオーディオCD再生

スーパーオーディオCDは、2チャンネルと5.1チャンネルのエリアが別々になっています。ハイブリッドスーパーオーディオCDはスーパーオーディオCD層とCD層の2層構造になっています。ここではスーパーオーディオCDの再生するエリアを切り換えます。

2ch（チャンネル）エリア：
2chエリアを再生します。（お買い上げ時の設定）

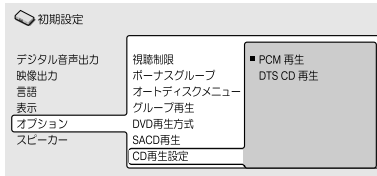
マルチch（チャンネル）エリア：
マルチチャンネルエリアを再生します。

CDエリア：
CD層を再生します。

ご注意

音声出力モードの設定で「2チャンネル」を選んでいるときは、マルチチャンネル音声は2チャンネルにダウンミックスされて出力されます。

■ CD再生設定

一般の音楽用CDを聞くときと、DTS CDを聞くときの設定を切り換えます。

PCM再生：
一般の音楽用CDを聞くときに選びます。
（お買い上げ時の設定）

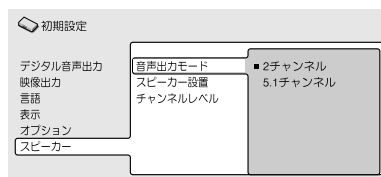
DTS CD再生：
DTS CDを聞くときに選びます。

ご注意

- 「DTS CD再生」に設定して一般の音楽CDを聴くと、音声出力端子からは音が出ません。
- 「PCM再生」に設定してDTS CDを再生すると、最初にノイズが出る場合があります。

■ スピーカーの設定を変更する

この設定はセットアップナビゲーター（☞32ページ）でも変更することができます。

音声出力モード設定

2チャンネル：
テレビなどのステレオ音声入力端子と本機の音声出力（2ch）端子を接続したときに選びます。（お買い上げ時の設定）

5.1チャンネル：
AVアンプの5.1チャンネルアナログ音声入力端子などと本機の音声出力（5.1ch）端子を接続したときに選びます。

「2チャンネル」を選択しているときは、ドルビーデジタル、DTSまたはMPEG（エムペグ）のマルチチャンネル音声は2チャンネル音声にダウンミックスして出力されます。

ご注意

- DVDオーディオでは「5.1チャンネル」を選択しているとデジタル音声が出力されません。
- DVDオーディオにはダウンミックスを禁止しているディスクがあります。そのときは、「2チャンネル」を選択していてもダウンミックスされません。また、ダウンミックスを禁止しているディスクではデジタル音声は出力されません。
- バーチャルサラウンド（☞72ページ）は、「2チャンネル」を選択しているときのみ効果があります。

■ 本機の設定と出力される音声

下表は、本機の音声出力モードの設定（☞96ページ）とデジタル音声出力の設定（☞79ページ）により、どのような音声が出力されるかを示します。

再生するディスクと音声フォーマット		音声出力モードの設定	出力されるアナログ音声*1		出力されるデジタル音声
			フロントL/R	サラウンドL/R センター、LFE	
DVD	ドルビーデジタル	2チャンネル	2チャンネルダウンミックス	−	2チャンネルダウンミックス*2 ドルビーデジタル*3
		5.1チャンネル	フロントL/R	サラウンドL/R センター,LFE	
	リニアPCM	2チャンネルまたは5.1チャンネル	L／R	−	L／R
	DTS	2チャンネル	2チャンネルダウンミックス	−	2チャンネルダウンミックス*4 DTS*5
		5.1チャンネル	フロントL/R	サラウンドL/R センター,LFE	
	DVDオーディオ	2チャンネル	2チャンネルダウンミックス*6	−	2チャンネルダウンミックス*7
		5.1チャンネル	フロントL/R	サラウンドL/R センター,LFE	−
	DVD-RW	2チャンネルまたは5.1チャンネル	L／R*8	−	L／R*2 ドルビーデジタルまたはPCM*3
スーパーオーディオCD		2チャンネル	2チャンネルダウンミックス	−	−
		5.1チャンネル	フロントL/R	サラウンドL/R センター,LFE	
CD		2チャンネルまたは5.1チャンネル	L／R	−	L／R
DTS CD		2チャンネル	2チャンネルダウンミックス	−	DTS
		5.1チャンネル	フロントL/R	サラウンドL/R センター,LFE	
ビデオCD		2チャンネルまたは5.1チャンネル	L／R	−	L／R

−は、音声が出力されないことを示しています。

*1 音声出力モードの設定（☞96ページ）を「2チャンネル」にしているときは、本機のANALOG OUTPUT5.1CH端子のFRONT L,R端子からステレオ音声が出力されます。

*2 ドルビーデジタル出力の設定（☞79ページ）を、「Dolby Digital>PCM」にしているときに出力されます。

*3 ドルビーデジタル出力の設定（☞79ページ）を、「Dolby Digital」にしているときに出力されます。

*4 DTS出力の設定（☞79ページ）を、「DTS>PCM」にしているときに出力されます。

*5 DTS出力の設定（☞79ページ）を、「DTS」にしているときに出力されます。

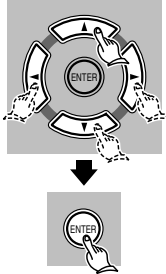
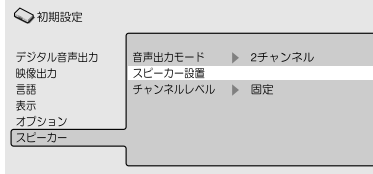
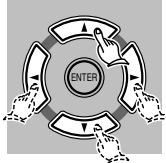
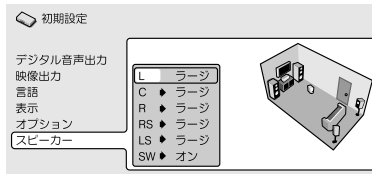
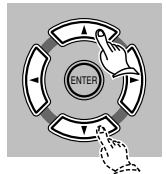
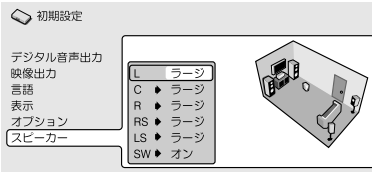
*6 ダウンミックス（5.1チャンネル音声を2チャンネル音声に変換すること）を禁止しているディスクでは、音声出力モードの設定（☞96ページ）を、「2チャンネル」にしても、5.1チャンネル音声で出力されます。

*7 ダウンミックスを禁止しているディスクでは、デジタル音声は出力されません。

*8 モノラル音声のときは、L/Rから同じ音声が出力されます。

■ スピーカーの大きさを設定する

この設定はセットアップナビゲーター（☞32ページ）でも行うことができます。
本機をAVアンプの5.1chアナログ出力端子に接続しているときのみ設定を変更することができます。デジタル出力端子と接続しているときは、設定を変更することはできません。

1

▲/▼/◀/▶ボタンで「スピーカー」→「スピーカー設置」を選び、ENTER（エンター）ボタンを押す

2

▲/▼ボタンで設定したいスピーカーを選び、▶ボタンを押す

3

▲/▼ボタンでスピーカーの「大きさ」または「接続の有無」を選ぶ

ラージ：
大きいスピーカーに接続しているときに選びます。
（目安として口径12cm以上）（お買い上げ時の設定）
スモール：
小さいスピーカーに接続しているときに選びます。
（目安として口径12cm未満）
オフ：
接続していないときに選びます。
オン：
サブウーファー（SW）を接続しているときに選びます。
（SWでは「オン」「オフ」を設定します。）

手順***2***、***3*** をくり返して、各スピーカーの設定をします。

4

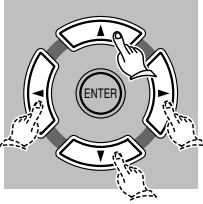
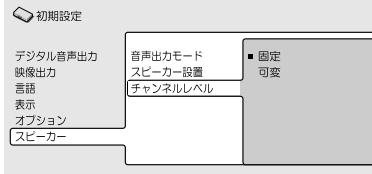
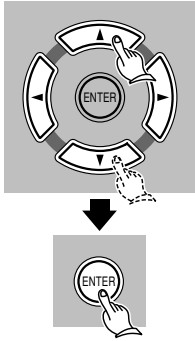
ENTERボタンを押す

「スピーカー設置」の画面が消えます。

ご注意
- DVDオーディオまたはDTSソースを聞いているときは、C（センター）、LS（サラウンド左）、RS（サラウンド右）は自動的に「ラージ」に設定されます。
- DVDオーディオを聞いているときに、C、LS、RSを「オフ」に設定すると、音声は自動的にステレオにダウンミックスされます。

■ スピーカーのチャンネルレベルを設定する

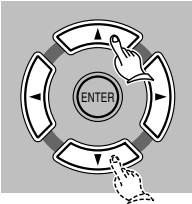
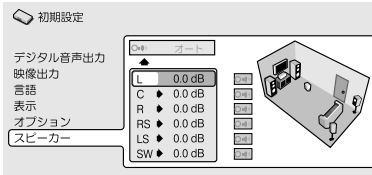
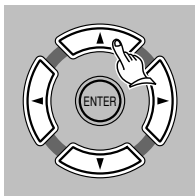
本機をAVアンプやプロセッサーの5.1chアナログ出力端子に接続しているときのみ設定を変更することができます。
接続しているAVアンプやプロセッサー側でスピーカーレベルの調整ができないときに、以下の手順で設定してください。
デジタル出力端子と接続しているときは、設定を変更することはできません。

1

▲/▼/◀/▶ボタンで「スピーカー」→「チャンネルレベル」を選び、▶ボタンを押す

2

▲/▼ボタンで「固定」または「可変」を選び、ENTER(エンター)ボタンを押す

固定：
出力レベルが0.0dBに固定されます。（お買い上げ時の設定）

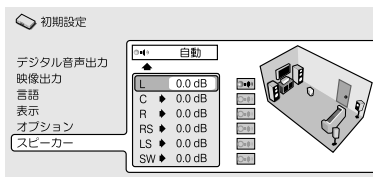
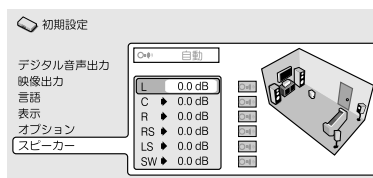
可変：
出力レベルを0.5dB単位で、−6dB〜+6dBの範囲で調整することができます。

「可変」を選んだ場合は、手順***3***に進みます。

3

▲/▼ボタンでチャンネルレベルを調整したいスピーカーを選ぶ

テストトーンを自動で出力するには…

「L」の位置で▲ボタンを押し、「オート」を選ぶ
- 自動的に「L」→「C」→「R」→「RS」→「LS」の順でテストトーンが出力されます。「SW」からは出力されません。

▲/▼ボタンを押し、各スピーカーのチャンネルレベルを調整する
- お聞きになっている位置で各スピーカーのテストトーンが同じ大きさになるように調整してください。

テストトーンを手動で出力するには…

1. ▶ボタンでカーソルを右へ移動する

2. ▲/▼ボタンで出力レベルを調整する
3. ▶ボタンでカーソルを右へ移動する
   選択しているスピーカーからテストトーンが出力されます。

4. 1～3をくり返して、他のスピーカーの出力レベルを調整する
   お聞きになっている位置で各スピーカーのテストトーンが同じ大きさになるように調整してください。

4

ENTER（エンター）ボタンを押す

「チャンネルレベル」の画面が消えます。

ご注意

- スピーカーの設置で「オフ」を選択しているスピーカーの出力レベルは設定できません。
- 「音声出力モード」の設定で「2チャンネル」を選択しているとき、およびディスクトレイが開いているときはテストトーンは出力されません。
- テストトーンを自動で出力しているときは、サブウーファー（SW）からは音が出ません。

■ 設定した内容を全てお買い上げ時の状態に戻すには

1 **本機をスタンバイ状態にする**

電源が入っているときは、STANDBY/ON（スタンバイ/オン）ボタンを押して、スタンバイ状態にします。

2 **■（ストップ）ボタンを押しながら、STANDBY/ON（スタンバイ/オン）ボタンを押す**

- 設定した内容がすべてお買い上げ時の状態に戻ります。

ご注意

この操作を行うと、設定していた内容はすべて消去されます。操作を行う前には十分ご注意ください。

主な仕様

■一般仕様

電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	12W
質量	2.4kg
外形寸法	205（幅）× 91（高さ）× 334（奥行き）mm

■本体部

信号方式	日米標準NTSCカラーテレビジョン方式
使用レーザー	半導体レーザー　波長650nm/780nm
音声周波数特性(デジタル音声)	DVDリニア音声：48kHz サンプリング4Hz〜22kHz 96kHz サンプリング4Hz〜44kHz オーディオCD　：4Hz〜20kHz スーパーオーディオCD：4Hz〜96kHz
信号対雑音比(SN比)(デジタル音声)	100dB以上
ダイナミックレンジ(デジタル音声)	96dB以上
全高調波ひずみ率(デジタル音声)	0.01%以下
ワウ・フラッタ	測定限界［±0.001%（W. PEAK)］以下
使用条件	温度：5℃〜35℃、動作姿勢：水平

■端子部

映像出力	1.0V(p-p)、75Ω、同期負、ピンジャック×1
S映像出力	(Y)1.0V(p-p)、75Ω、同期負、ミニDIN4ピン×1 (C)0.286V(p-p)、75Ω
D2/D1出力	(Y)1.0V(p-p)、75Ω (PC/CB)、(PR/CR)0.7V(p-p)、75Ω、D端子×1
音声出力(光デジタル音声)	−22.5dBm×3
音声出力(2チャンネルアナログ音声)	2.0 V(rms)、470Ω、ピンジャック(L、R)×1
音声出力(5.1チャンネルアナログ音声)	2.0 V(rms)、470Ω、ピンジャック×6 (FLONT L/R、SURROUND L/R、CENTER、SUBWOOFER)

※ 仕様および外観は予告なく変更することがあります。

用語集

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率。通常のテレビでは、4：3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっています。

インターレース
映像の1フレーム（コマ）を2つの画像を続けて表示し、人間の目の残像効果で1枚の画像に見せている方式。1秒を30フレームで構成している。

拡張子
OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号。ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。

スクリーンセーバー
同じ静止画を長時間再生し続けると画面に焼きつき現象が出ることがあります。
これを避けるため、本機ではスクリーンセーバー機能を持っています。基本的には画面の輝度を落とせば同様の効果が得られますが、他のDVDプレーヤーのスクリーンセーバーでは一定時間操作しないと自動的に画面を暗くするもののほか、常に動画を表示して、画面の一カ所に強い光線（明るい色）が集中しないようにするものもあります。

スーパーオーディオCD
CDの規格をベースに、多くのデータが記録された高音質規格です。スーパーオーディオCDには、1層ディスク、2層ディスク、ハイブリッドディスクの3種類があります。
ハイブリッドディスクはスーパーオーディオCDとCDの両方の構造を持ち合わせています。

ダイナミックレンジ
信号を正しく変換する最大のレベルと雑音等、機器の性質で制限させる最小レベルの差。

パレンタル（視聴制限）
国ごとの規正レベルに合わせて視聴制限に対応したディスクの再生を制限する、というDVDプレーヤーの機能のひとつ。制限のしかたはDVDビデオによって異なり、全く再生できない場合や過激な場面をとばしたり、別の場面に差し替えて再生する場合などがあります。

光デジタル出力
音声信号をデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたもの。

ビットストリーム
ドルビーデジタルやDTS（ディーティーエス）フォーマットのデジタルデータ。

ビデオCD
MDと同等の音質とVHS並みの画質で動画再生が楽しめるディスク。デジタル信号の圧縮技術（MPEG1（エムペグ1）方式）により最大74分のデジタル画像と音声が連続再生できます。ビデオCDにはメニュー画面で見たい場面を選んだり、静止画を再生できる“プレイバックコントロール（PBC（ピービーシー））”対応のディスクがあります。

ビットレート（Bit Rate）
DVDビデオに圧縮して記憶されている画像の1秒あたりの情報量を示す値。
単位はMbps（Mega（メガ） bit（ビット） per（パー） second（セカンド））で、1Mbpsは1秒あたりの情報量が1,000,000ビットであることを表します。
この値が大きいほど画像の情報量は多くなりますが、必ずしも画質とは直接関係しません。

プログレッシブ
映像の1フレーム（コマ）を1つの画像で表示する方式。プログレッシブは1秒を60フレームで構成するため、大画面でも静止画や文字などが多い場面、激しい動きのある場面でも画面のちらつきが気にならない高品質な画像を再現できる。

マルチアングル
DVDビデオの機能のひとつで、同じ場面が視点を変えて複数のアングル（カメラの位置）で記録されていることです。

リジューム機能
DVDビデオ、ビデオCD再生中に■（ストップ）ボタンを押した位置を記憶し、▶（プレイ）ボタンを押すと停止した部分から再生をはじめる機能。

リニアPCM
DVDの音声デジタル記録の1つで、圧縮をしていない記録方式。CDと同じ記録方式ですが、サンプリング周波数が48kHz、96kHz（CDは44.1kHz）で記録されており、CDの音質を上回ります。

CD-R（Compact Disc-Recordable）
一度だけ記録できるCD規格で、記録部の書き換えは不可能。記録されたメディアは、CD-ROMドライブやCDプレーヤーで読み出せます。

CD-RW（Compact Disc-ReWritable）
書き換え可能なCD規格のこと。記録されたメディアは、基本的にはCD-ROMドライブやCDプレーヤーで読み出すことが可能ですが、反射率が低いため読めないドライブやプレーヤーもあります。

DVDビデオ
CDと同じ直径で、最大8時間までの動画が記録できるディスク。

片面一層で4.7GB（Giga Byte）とCDの7倍の情報が記録でき、片面2層で8.5GB、両面1層では9.4GB、両面2層では17GBが記録できます。画像の記録はデジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG2」（エムペグ2）を採用し、映像データを約1/40（平均）に圧縮して記録します。また画像の状態に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されています。音声情報はPCMの他、ドルビーデジタルを用いて記録でき、より臨場感のある音声が楽しめます。
またマルチアングル、マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみかたができます。

DVDオーディオ
DVDビデオ規格をベースに、音質を特化したディスクです。音質を良くするために、192kHZサンプリングに対応しています。

DVD-R（Digital Versatile Disc-Recordable）
一度だけ記録でき、追記可能なDVDフォーマット。

DVD-RW（Digital Versatile Disc-ReWritable）
書き換え可能なDVDフォーマット。

LFE
ドルビーデジタルやDTSの低周波数効果音のこと。一般にディスクなどの信号に入っているとサブウーファーが効果的に働きます。

MPEG（Moving Picture Experts Group）
動画音声圧縮方法の国際標準。ビデオＣＤはMPEG-1で、DVDはMPEG-2で記録されています。

MPEG-1オーディオ
サンプリング周波数32、44.1、48kHzのモノラルもしくは2chの信号を符号化の対象としている。符号化はその複雑度に応じてレイヤー1、2、3から構成されている。レイヤー2はビデオCDで広く採用され、レイヤー3はMP3という通称でインターネットにおける圧縮オーディオ配信や半導体メモリープレーヤーで採用されている。

MPEG-2オーディオ
MPEG-1オーディオを3チャンネル以上のマルチチャンネルオーディオ、マルチ音声言語対応した規格と、16、22.05、24kHzという低いサンプリング周波数に対応するように拡張した2つからなる。符号化はＭＰＥＧ-１と同じ構成ですがMPEG-2オーディオはDVDの圧縮オーディオ方式の1つ。

MP3（MPEG Audio Layer-3）
映像データ圧縮方式として知られているMPEG-1で利用され、現在パソコンの世界では最も普及している音声圧縮方式。CDに近い音質を保ったまま、データ量を1/11程度に圧縮することができます。

PBC（プレイバックコントロール）
ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号。
PBC対応ビデオCDに記録されているメニュー画面（選択画面）を使って、簡単な対話型ソフトや、検索機能を持ったソフトなどを楽しめます。

困ったときは

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もありますので、他機の取扱説明書も参照しながら合わせてご確認ください。

電　源

参照ページ

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。 P30
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、5秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。

ディスクの再生

ディスクの再生ができない

- ディスクはディスクトレイに正しくセットされていますか？
ディスクの再生面を下にしてディスクトレイに置いているか確認してください。 P40
- ディスクは汚れていないか確認してください。 P14
- 本機で再生できるディスクかどうか確認してください。 P10
- 「Wrong Region No」と表示される場合は、リージョン番号が本機に合っていませんので再生できません。 P11
- パレンタルロックが働いている場合は、パレンタルロックの解除、またはレベル変更を行ってください。 P88
- 結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。

ディスクの再生順序通りに再生できない

- リピート再生、プログラム再生、ランダム再生等の特別な再生モードを解除してください。 P51～62

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDの再生

再生時に雑音が入ったり、音飛びする/ディスクを認識せず「NO DISC」の表示が出る/1曲目を再生しない/頭出しに通常よりも時間がかかる/曲の途中から再生する/再生できない箇所がある/再生の途中で停止する/誤表示する

- 再生しているディスクは複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDです。コピーコントロール機能のついた音楽用CDの中には、CD規格に合致していないものがあります。それらは、特殊ディスクのため、本機で再生できない場合があります。

各種設定

設定内容が消える

- 電源が入っているときに、停電や電源プラグが抜かれて電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。
電源プラグは必ず本体のSTANDBY/ON、またはリモコンのSTANDBYを押して、表示部の「—OFF—」表示が消えてから抜いてください。

設定が変更できない

- 再生中は変更できない項目がありますので、その場合は停止してから変更してください。

映　像

画面が縦または横に伸びている

- 「テレビ画面」の設定がテレビと合っていない。「初期設定」で設定してください。 P81
- 本機とテレビをS映像端子で接続している場合は、テレビ側の処理信号により映像が横方向に伸びてしまうことがあります。このときは「S映像出力」の設定を「S1」に設定してください。 P81

再生画像が時々乱れる

- ディスクが汚れていないか確認してください。
- 早送り、早戻しをすると画像が多少乱れることがあります。これは本機の故障ではありません。
- 一部のプログレッシブ対応テレビは本機と完全な互換がとれていないため、画像に乱れが生じる場合があります。
プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は、本機のプログレッシブを解除し、テレビ側のプログレッシブ機能をお使いください。

再生画像の明るさが一定しない。または、再生画像にノイズが入る

- 本機をビデオデッキ経由でテレビに接続している場合は、コピー防止機能が働きますので、直接テレビに接続してください。 P21
- テレビやモニターによっては再生時の色の濃さ（カラーレベル）がわずかに薄くなったり、色合い（ティント）が変わったりする場合があります。この場合は、テレビやモニターを調節して、適切な状態にしてください。

映像がテレビ画面にあらわれない
- 接続したテレビ、またはアンプの入力設定が正しいか確認してください。
- VIDEO CIRCUIT OFF機能が働いている。VIDEO CIRCUIT OFFボタンを押して、解除してください。 P41
- 停止中や一時停止など同じ画面が長時間表示される場合は、スクリーンセーバー機能が働きます。
  この場合、▶ボタンを押して解除してください。 P31
- 初期設定の背景色を黒に設定しているときは、停止中映像が出ていないように見えることがあります。
  その場合は、背景色をグレイに設定してください。 P86
- テレビのD1端子へ接続している場合は、プログレッシブを解除してください。 P21

音　声

再生しているディスクの音声が出てこない(アナログ接続、デジタル接続共通)
- 接続コードがしっかり差し込まれているか確認してください。 P21〜27
- 接続した機器の入力端子を間違えていないか確認してください。 P21〜27
- 接続した機器の入力設定を間違えていないか確認してください。
- 一時停止、スロー再生、早送り、早戻しでは音が出ませんので、▶ボタンを押して通常再生に戻してください。
- テレビまたはアンプ等のボリュームが最小になっていないか確認してください。
- 音声出力の設定が接続機器と合っていない。「セットアップナビゲーター」で設定してください。 P32

再生しているディスクの音声が出てこない（デジタル接続）
- 初期設定でデジタル出力がオフになっている。 P79
- 接続している機器が対応していない音声方式を再生している。 P50
- 接続している機器が96kHzPCM出力に対応していない場合は、初期設定で「ダウンサンプル オン」を選択
  してください。 P80
- DVDオーディオ、スーパーオーディオCDの5.1チャンネル音声はデジタル出力されません。アナログ接続を行っ
  てください。 P25〜27

音声がモノラル出力になっている
- ビデオCD、CD、MP3ファイルを記録したディスクを再生時、AUDIOボタンを押して1/L(左)、2/R(右)に設定した
  場合はモノラル出力となります。ステレオに戻す場合は、AUDIOボタンを押して、ステレオに設定してください。
  （注）映像の画面出力として状態が表示されますので、テレビを接続して確認してください。 P65

MP3の再生

MP3ファイルを記録したディスクが再生できない
- 記録したディスクがISO9960に準拠しているか確認してください。 P12
- MP3ファイルを記録したディスクがファイナライズされていることを確認してください。 P12

ディスクに記録されているトラック(MP3ファイル)を選択できない
- 「.mp3」または「.MP3」以外の拡張子がついていると認識できませんので、拡張子を変更してください。 P12
- 本機では251以上のフォルダーまたはトラックを認識できません。 P12

DVDオーディオの再生

DVDオーディオのマルチチャンネル音声が再生できない
- AVアンプと5.1チャンネル接続されていない。5.1チャンネル接続をしてください。 P25〜27

DVDオーディオのグループを切り換えられない
- サーチモードまたは⏮/⏭ボタンで切り換えてください。 P43, P63

DVDオーディオの全てのグループを続けて再生できない
- グループ再生が「単独」に設定されている。「連続」にしてください。 P94

DVDオーディオの中に収録されているDVDビデオが再生できない
- DVD再生方式が「DVDオーディオ」に設定されている。「DVDビデオ」にしてください。 P94

スーパーオーディオCDの再生

ハイブリッドディスクのマルチチャンネルエリアが再生できない
- 「スーパーオーディオCD再生」を「マルチチャンネルエリア」に設定してください。 P95

デジタル音声で出力されない
- スーパーオーディオCDの音声はデジタル出力されません。アナログ接続を行ってください。 P25〜P27

DV-SP205(101-116)(SN29343466) 105 03.2.19, 1:43 PM
ブラック

困ったときは

リ モ コ ン

本体のボタンは働くが、リモコンのボタンが働かない

• 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。	P16
• リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？リモコンと本体の間に障害物がありませんか？	P16
• 本体のリモコン受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？	P16
• オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、正常に機能しないことがあります。	P16

MDやCD-Rへの録音

INTEC205シリーズの組み合わせで使用しているとき、MDやCD-RへのCDダビングができない

• 録音は、シグナルシンクロ録音で行ってください。	P69

そ の 他

希望する言語で、字幕、音声が出力されない

• 設定した言語がディスクに記録されていない。	
• 音声と字幕の自動設定を「オン」に設定していると、洋画DVDでは音声がオリジナル、字幕は日本語、邦画DVDでは音声が日本語、字幕はオフになります。（一部のディスクを除く）	P83

「ディスクによる禁止」マークが画面に出る

• 選択した動作をディスクが禁止しています。	P11

「プレーヤーによる禁止」マークが画面に出る

• 選択した動作を本機が禁止しています。	P11

システム機能が効かない

• RIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。（RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません）	P28

バーチャルサラウンドが働かない

• バーチャルサラウンド機能を「V/TruSurround」に設定してください。	P72

設定画面で「V/TruSurround」を選んでいるのに、働かない

• ディスクによっては、効果のないものがあります。	

• 本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて、約5秒後にあらためて電源プラグを差し込んでください。

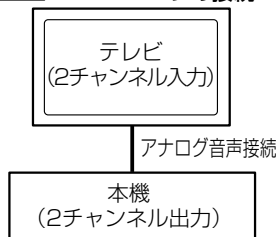
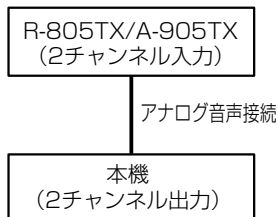
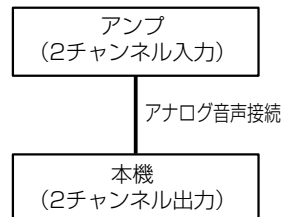
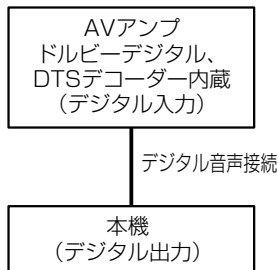
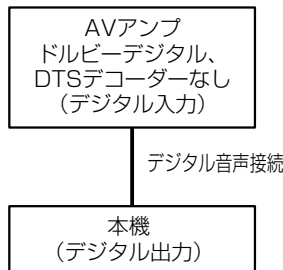
• 本機が誤動作する場合は、STANDBY/ONボタンを押して本機をスタンバイ状態にした後、■ボタンを押しながらSTANDBY/ONボタンを押してください。この操作を行うと設定した内容は全て消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。（☞100ページ）

• 製品の故障により正常に録音・録画できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりません。大事な録音をするときは、あらかじめ正しく録音・録画できることを確認の上、録音・録画を行ってください。

本機で再生できる音声と必要な設定

スーパーオーディオＣＤ、ＤＶＤオーディオ、ＤＶＤビデオには数種類の音声フォーマットが収録されていますが、本機と接続しているAVアンプやプロセッサーの種類により、再生できる音声が異なります。本機とお手持ちの機器との接続で、どのような音声が再生できるのかを確認したいとき、また「ディスクが再生できない」とき、「希望する音声が出ない」ときにも、この項をお読みください。

はじめに、本機とお手持ちの機器との音声接続が、下記接続 A～G のどのタイプかご確認ください。

その後、以降のページで、接続のタイプごとに、再生可能な音声と、再生するために必要な本機の設定をご確認ください。

本機で再生できる音声と必要な設定

■スーパーオーディオCDを再生する

スーパーオーディオCDに収録されている音声フォーマットは、マルチチャンネルとステレオの2種類あります。再生時、ディスクに記載の収録フォーマットをご確認ください。

[Stereo]：2チャンネル（ステレオ）で収録されています。

☞「ステレオ音声を再生する」の項をご覧ください

[Stereo Multi-ch]：2チャンネル（ステレオ）と 5.1チャンネル（マルチチャンネル）で収録されています。

☞「マルチチャンネル音声を再生する」の項をご覧ください

また、[Hybrid] マークのついたディスクはハイブリッドディスクといい、スーパーオーディオCDの音声フォーマットの他にCD音声が収録（CD層）されたもので、通常のCDプレーヤーでも再生できます。

☞「CD音声を再生する」の項をご覧ください

マルチチャンネル音声を再生する（[Stereo Multi-ch]）

接続をご確認ください。 [B] また [D] のとき再生できます。

スーパーオーディオCDの再生（SACD再生）の設定を「マルチチャンネルエリア」にしてください。(☞95ページ)

- スーパーオーディオCDの音声は、アナログ端子からのみ出力されます
- 正しく接続、設定をしているのに、5.1チャンネル音声が出ないときは各スピーカーの大きさが「ラージ」または「スモール」（サブウーファーは「オン」）になっていることをご確認ください。(☞99ページ)

ご注意

[B] または [D] 以外の接続のとき、マルチチャンネル音声を再生すると、5.1チャンネル音声を2チャンネルにダウンミックスして再生します。

ステレオ音声を再生する（[Stereo]）

接続をご確認ください。接続 [A][B][C][D][E] いずれかのとき再生できます。

スーパーオーディオCDの再生（SACD再生）の設定を「2チャンネルエリア」にしてください。（☞95ページ）

- スーパーオーディオCDの音声は、アナログ端子からのみ出力されます。
- [Stereo Multi-ch] のディスクは、2チャンネル音声で再生できます。

CD音声を再生する（[Hybrid]）

接続をご確認ください。

接続 [A][B][C][D][E] いずれかのときCD音声をアナログ2チャンネルで再生できます。

接続 [F][G] の場合は、CD音声をデジタル2チャンネルで楽しめます。

スーパーオーディオCDの再生（SACD再生）の設定を「CDエリア」にしてください。（☞95ページ）

■ DVDオーディオを再生する

DVDオーディオには、マルチチャンネルに対応したディスクがあります。

DVDオーディオをマルチチャンネルで再生する

接続 B D のとき再生できます。

- 音声出力モードは、「5.1チャンネル」に設定してください。（☞96ページ）
- DVDオーディオのマルチチャンネル音声は、アナログ端子からのみ出力されます。

- 接続 A C E のときは、2チャンネル（アナログ音声）での再生になります。
- 音声出力モードは、「2チャンネル」に設定してください。（☞96ページ）
- ディスクによってはダウンミックス出力を禁止しているものがあります。

- 接続 F G のときは、2チャンネル（デジタル音声）での再生になります。
- デジタル出力は、「オン」に設定してください。（☞79ページ）
- ディスクによっては、ダウンサンプルされてデジタル出力されます。
- ディスクによってはデジタル出力を禁止しているものがあります。
- DVDオーディオのマルチチャンネル音声は、アナログ端子からのみ出力されます。

下記機能に対応したDVDオーディオの再生については、各記載ページをご覧ください。

グループに対応したディスク

グループを切り換えるには
サーチモード（☞63ページ）または|◀◀/▶▶|ボタン（☞43ページ）で切り換えます。
１つのグループのみ再生するには
グループ再生を「単独」に設定します。(☞94ページ）
すべてのグループを続けて再生するには
グループ再生を「連続」に設定します。(☞94ページ）

ＤVDビデオが収録されているディスク

収録されているDVDビデオを再生することができます。(☞94ページ）

ボーナスグループに対応したディスク

ボーナスグループのキーナンバーをあらかじめ入力しておくことができます。(☞93ページ）

自動的にメニューを表示する

メニューを自動的に表示するかどうかを設定できます。(☞93ページ）

■ DVDビデオを再生する

本機は、ドルビーデジタル、DTSフォーマットの音声を再生できます。
☞「ドルビーデジタル、DTSを再生する」の項をご覧ください
本機は、MPEGフォーマットの音声を再生できます。
☞「MPEGマルチチャンネルを再生する」の項をご覧ください
本機は、96kHzPCM音声を再生できます。
☞「96kHzPCMを再生する」の項をご覧ください

ドルビーデジタル、DTS を再生する

● 5.1チャンネル（アナログ）の音声で再生する
接続をご確認ください。 B D のとき再生できます。
音声出力モードを、「5.1チャンネル」に設定してください。（☞96ページ）

● 2チャンネル（アナログ）の音声で再生する
接続をご確認ください。接続 A C E のとき再生できます。
音声出力モードを、「2チャンネル」に設定してください。（☞96ページ）
2本のスピーカーでも、バーチャルサラウンド機能でサラウンド効果を楽しむことができます。（☞72ページ）

● 5.1チャンネル（デジタル）の音声で再生する
接続をご確認ください。接続 F のとき再生できます。
デジタル出力を「オン」に設定してください。（☞79ページ）
ドルビーデジタルの場合は、DolbyDigital出力を「DolbyDigital」に設定してください。（☞79ページ）DTSの場合は、DTS出力を「DTS]に設定してください。（☞79ページ）

● 2チャンネル（デジタル）の音声で再生する
接続をご確認ください。接続 G のとき再生できます。
デジタル出力を「オン」に設定してください。（☞79ページ）
ドルビーデジタルの場合は、DolbyDigital出力を「DolbyDigital＞PCM」に設定してください。
(☞79ページ)
DTSの場合は、DTS出力を「DTS＞PCM」に設定してください。（☞79ページ）

■ MPEG（エムペグ）マルチチャンネルを再生する

●2チャンネル（アナログ）の音声で再生する
接続をご確認ください。接続 A B C D E のとき再生できます。
音声出力モードを、「2チャンネル」に設定してください。（☞96ページ）

●5.1チャンネル（デジタル）の音声で再生する
接続をご確認ください。接続 F のとき再生できます。
デジタル出力を「オン」に設定してください。（☞79ページ）
MPEG出力を「MPEG」に設定してください。（☞80ページ）

●2チャンネル（デジタル）の音声で再生する
接続をご確認ください。接続 G のとき再生できます。
デジタル出力を「オン」に設定してください。（☞79ページ）
MPEG出力を「MPEG＞PCM」に設定してください（☞80ページ）

■ 96kHzPCMを再生する

●2チャンネル（アナログ）の音声で再生する
接続をご確認ください。接続 A B C D E のとき再生できます。
音声出力モードを、「2チャンネル」に設定してください。（☞96ページ）

●2チャンネル（デジタル）96kHzの音声で再生する
接続をご確認ください。接続 F のとき再生できます。
デジタル出力を「オン」に設定してください。（☞79ページ）
お手持ちのアンプが、96ｋHzPCMに対応しているときは、リニアPCM出力を「ダウンサンプルオフ」に設定してください。お手持ちのアンプが、96kHzPCMに対応していないときは、リニアPCM出力を「ダウンサンプルオン」に設定してください。（☞80ページ）

●2チャンネル（デジタル）の音声で再生する
接続をご確認ください。接続 G のとき再生できます。
リニアPCM出力を「ダウンサンプルオン」に設定してください。（☞80ページ）
デジタル出力を「オン」に設定してください。（☞79ページ）

DV-SP205(101-116)(SN29343466) 111 03.2.19, 1:43 PM
ブラック

本機で再生できる音声と必要な設定

■ CDを録音機器に録音する

録音手順などの詳細は、録音機器側の取扱説明書をご覧ください

CDをデジタル録音する

本機と録音機器をデジタル端子で接続してください。

デジタル出力を「オン」に設定してください。（☞79ページ）

- スーパーオーディオCDのデジタル録音は、CD層のみ可能です。

録音したいディスクがハイブリッドディスク **Hybrid** であることをご確認ください。

- その他のフォーマットの音声はデジタル録音できませんので、アナログ録音してください。

アナログ録音する

本機と録音機器をアナログ端子で接続してください。

音声出力モードを、「2チャンネル」に設定してください。（☞96ページ）

オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内

オンキヨー製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理については、お買い求めの販売店へご依頼ください。万一お困りの場合には、下記の窓口へご相談くださるようお願いいたします。

お客様ご相談窓口	**カスタマーセンター** 受付 9:30〜17:30 （土日祝、弊社休日除く） ■**カタログのご請求、製品についてのご相談** ＊e-mail： ホームシアター/オーディオ製品→customer@onkyo.co.jp マルチメディア製品 →mmcadmin@onkyo.co.jp ＊TEL ：ナビダイヤル 0570-01-8111（全国どこからでも市内料金で通話いただけます） または072-831-8111（携帯電話、PHSから）へどうぞ。 ＊FAX：072-831-8124 ＊ハガキ： 〒572-8540 大阪府寝屋川市日新町2-1 オンキヨー株式会社 カスタマーセンター行

オンキヨー製品情報、ユーザー登録ホームページへ→http://www.onkyo.co.jp

快適なオーディオライフをお手伝い。ネットショップへ→http://www.e-onkyo.com

修理窓口 修理のご依頼は取扱説明書の「困ったときは」の項目をご確認のうえご依頼ください。転居されたり、贈物でいただいたものの故障でお困りの場合は、下記へご相談ください。

北海道地区
札幌サービスステーション
TEL 011-747-6612 FAX 011-747-6619
〒001-0028 札幌市北区北28条西5-1-28
トーシン北28条ビル

青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島地区
仙台サービスステーション
TEL 022-297-0177 FAX 022-257-7330
〒984-0051 仙台市若林区新寺4-9-5
第二丸昌ビル 1F

栃木・群馬・埼玉・新潟地区
大宮サービスステーション
TEL 048-651-8612 FAX 048-651-9137
〒330-0034 さいたま市土呂町2-17-3
グランドステータス土呂 1F

千葉・茨城地区
千葉サービスステーション
TEL 043-296-3915 FAX 043-273-6444
〒262-0033 千葉市花見川区幕張本郷5-2-11

東京（23区）地区
東京サービスセンター
TEL 03-3861-8121 FAX 03-3861-8124
〒111-0054 東京都台東区鳥越1-2-3 ハマスエビル

東京（23区を除く）・山梨・長野地区
八王子サービスステーション
TEL 0426-32-8030 FAX 0426-36-9312
〒192-0914 東京都八王子市片倉町358番地

神奈川地区
横浜サービスステーション
TEL 045-322-9342 FAX 045-312-6603
〒220-0072 横浜市西区浅間町1-13 共益ビル5F

岐阜・静岡・愛知・三重地区
名古屋サービスステーション
TEL 052-772-1229 FAX 052-772-1331
〒465-0013 名古屋市名東区社口1丁目1001番

富山・石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山地区
大阪サービスセンター
TEL 072-831-8080 FAX 072-831-8124
〒572-8540 寝屋川市日新町2-1

鳥取・島根・岡山・広島・山口（下関を除く）地区
広島サービスステーション
TEL 082-262-3315 FAX 082-262-6571
〒732-0057 広島市東区二葉の里2-8-28

徳島・香川・愛媛・高知地区
高松サービスステーション
TEL 087-868-5662 FAX 087-868-5672
〒760-0079 高松市松縄町44-8 西原ビル1F

山口（下関）・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄地区
福岡サービスステーション
TEL 092-418-1357 FAX 092-418-1358
〒812-0006 福岡市博多区上牟田3-8-19
みなみビル202

オンキヨーサービス認定店
（オンキヨー製品の修理を依託しているサービス認定店です。）

静岡サービス認定店
TEL 0543-46-6502 FAX 0543-46-7091
〒424-0063 静岡県清水市能島171-15

北陸サービス認定店
TEL 0776-27-1868 FAX 0776-27-1768
〒910-0001 福井県福井市大願寺3-5-9

岡山サービス認定店
TEL 086-274-5840 FAX 086-274-5840
〒703-8271 岡山県岡山市円山13

高知サービス認定店
TEL 088-883-5642 FAX 086-883-9851
〒780-0056 高知県高知市北本町3-10-39

熊本サービス認定店
TEL 096-364-1475 FAX 096-364-1475
〒862-0970 熊本県熊本市渡鹿7-15-18

沖縄サービス認定店
TEL 098-876-9195 FAX 098-876-9195
〒901-2104 沖縄県浦添市当山558番地の8
キャッスルサイド浦添102号

2003年 2 月現在 お客様相談窓口、修理窓口の名称、住所、電話番号は変更になることがございますのでご了承ください。

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または当社サービスステーションにご依頼ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

当社では、本機の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、または当社サービスステーションにご相談ください。

修理を依頼される時は、下の事項を販売店または当社サービスステーションまでお知らせください。

- ▶ お 名 前
- ▶ お 電 話 番 号
- ▶ ご 住 所
- ▶ 製 品 名　DV-SP205
- ▶ で き る だ け 詳 し い 故 障 状 況

ご購入されたときにご記入ください。
サービスを依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： 年 月 日
ご購入店名：
Tel. ( )
メモ：

ONKYO

オンキヨー株式会社
本社 大阪府寝屋川市日新町2-1 〒572-8540

http://www.onkyo.co.jp/

製品の故障や修理についてのお問い合わせ先：
お買い上げの販売店もしくは、「オンキヨーご相談窓口·修理窓口のご案内」記載の最寄りのサービスステーションへお申し出ください。
●東京サービスセンター ☎ 03(3861)8121 ●大阪サービスセンター ☎ 072(831)8080

SN 29343466
Printed in Japan
G0302-1